

**令和3年度
那須町公共交通に関する
現況調査結果**

令和4年3月

那 須 町

目 次

1. 地域概況.....	5
1.1 地域の現状と将来動向.....	5
1.1.1 人口推移.....	5
1.1.2 人口分布.....	7
1.1.3 65歳以上人口分布.....	8
1.1.4 施設分布.....	9
1.1.5 国勢調査による通勤・通学流動.....	10
1.2 地域旅客運送サービスの現状.....	12
1.2.1 道路網と鉄道網.....	12
1.2.2 公共交通網（バス路線・タクシーなど）.....	14
1.2.3 鉄道の利用実態.....	18
1.2.4 町民バスの利用実態.....	19
1.2.5 デマンド型乗合交通の利用実態.....	31
1.2.6 公共交通に関する財政負担額.....	48
1.2.7 公共交通空白地域.....	49
1.2.8 福祉タクシー券の配布・利用実績.....	51
1.2.9 スクールバス.....	61
1.2.10 高齢者サロン.....	64
2. 上位関連計画.....	67
2.1 第7次那須町振興計画.....	68
2.2 まち・ひと・しごと創生・那須町総合戦略.....	69
2.3 那須町都市計画マスタープラン.....	70
2.4 八溝山周辺地域定住自立圏共生ビジョン.....	71
2.5 那須地域定住自立圏共生ビジョン.....	72
2.6 那須地域定住自立圏地域公共交通網形成計画.....	73
2.7 第4期那須町地域福祉計画・地域福祉活動計画.....	74
2.8 第2次那須町環境基本計画（改訂版）.....	75
2.9 那須町観光振興基本計画.....	76
3. 既定計画の検証.....	77

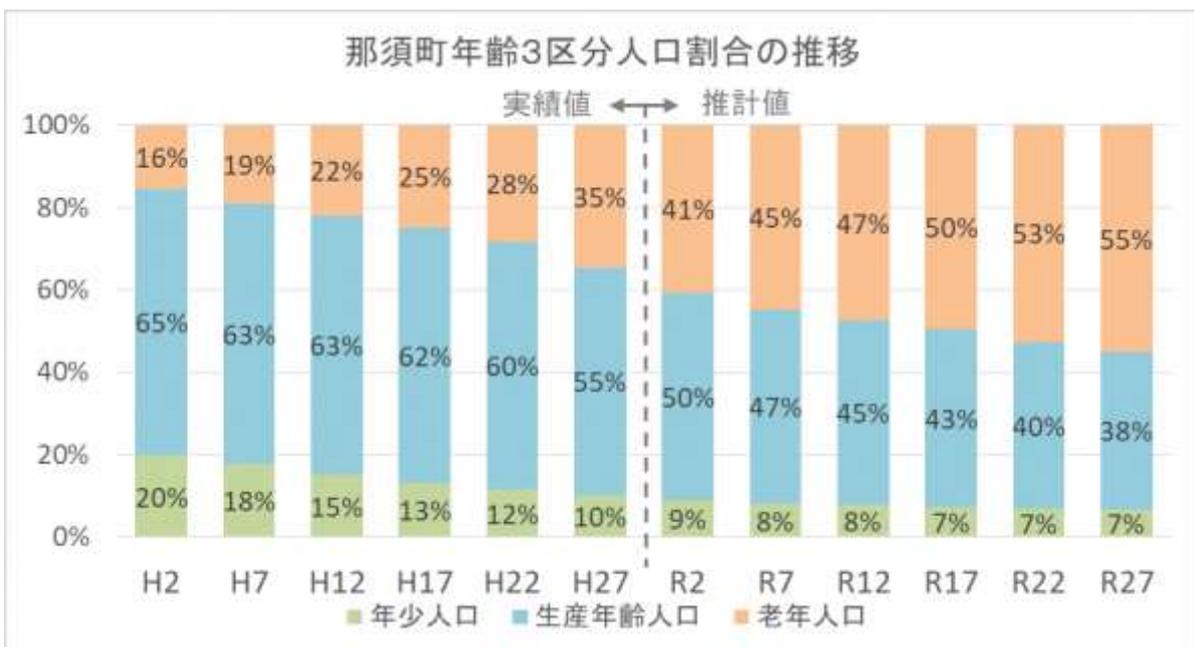
1. 地域概況

1.1 地域の現状と将来動向

1.1.1 人口推移

本町の人口は、令和27年（2045年）の予測値が15,241人と、平成27年（2015年）の実績値24,876人と比べて約10,000人（約40%）減少する予測となっています。

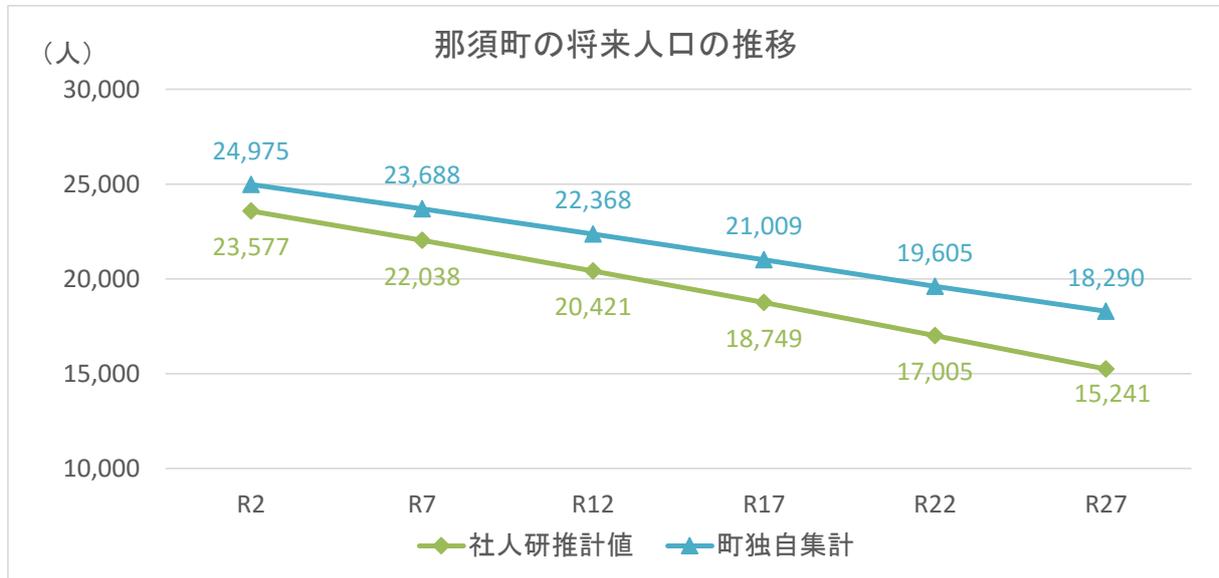
また、令和27年（2045年）の高齢化率が約55%、年少人口の割合は7%と、さらなる少子高齢化の進展が予測されています。



データ：国勢調査、国立社会保障・人口問題研究所（2018年推計）より作成

■人口の将来展望

那須町人口ビジョンでは、合計特殊出生率や純移動率の改善によって、令和27年（2045年）に人口規模 18,290 人の維持を長期的目標に掲げています。



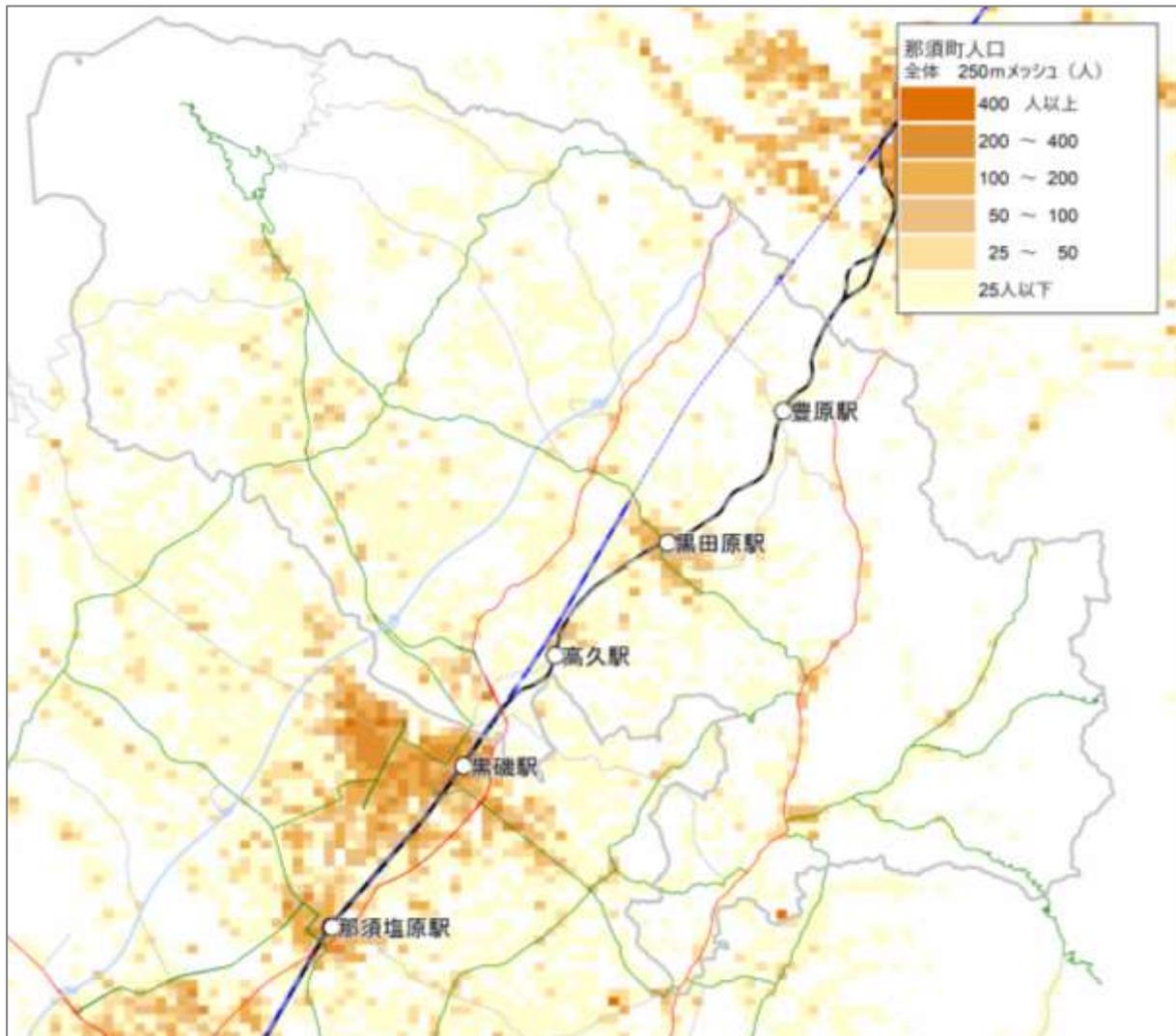
出典：那須町人口ビジョン（令和2年10月）より作成

※社人研：国立社会保障・人口問題研究所（2018年推計）

1.1.2 人口分布

本町全体の人口密度は64.5人/km²（令和2年国勢調査）となっています。

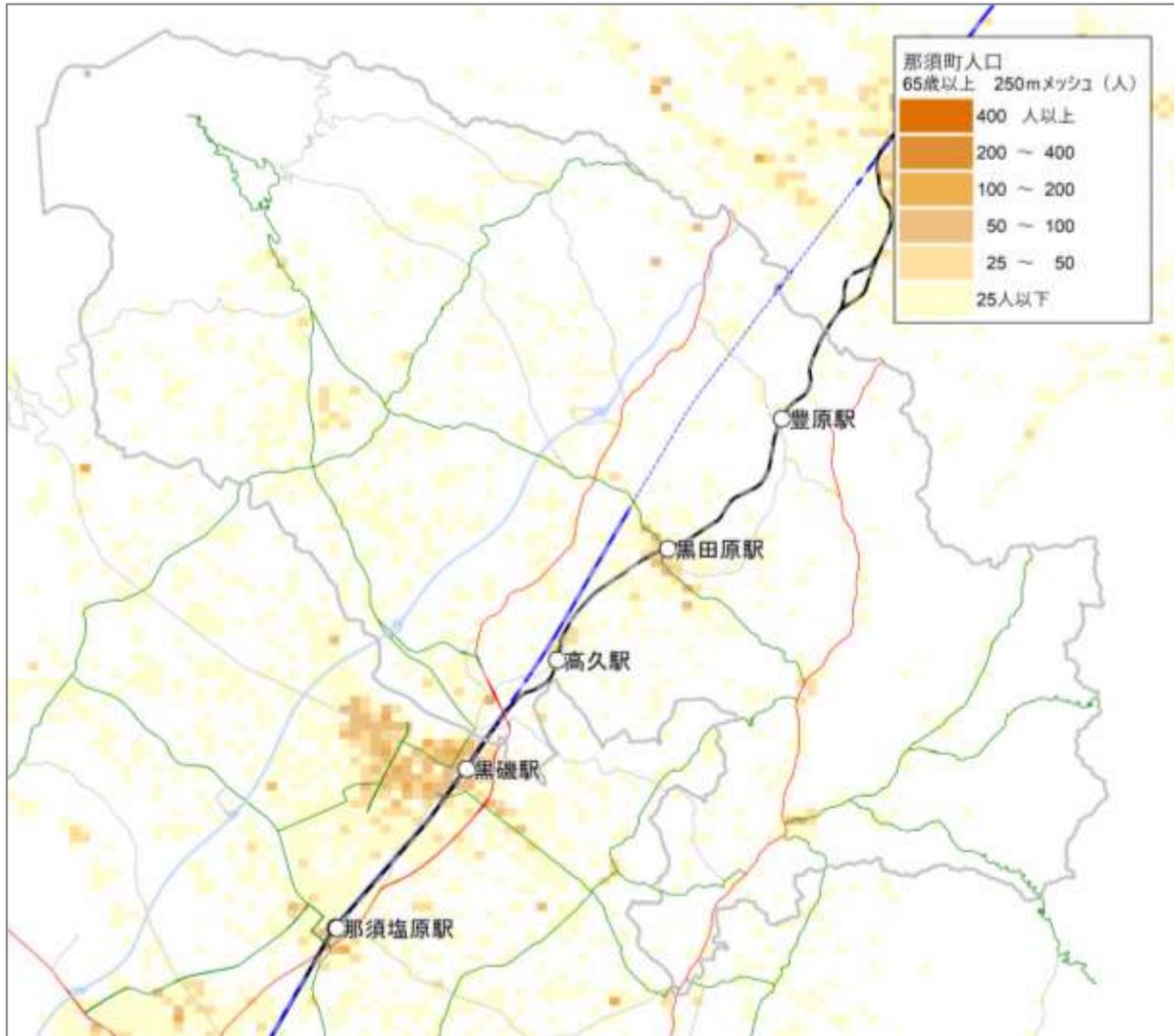
黒田原駅周辺の地域では人口が集中していますが、人口集中地区に該当する地域はみられません。



データ：平成27年国勢調査（250mメッシュ）より作成

1.1.3 65歳以上人口分布

人口分布と同様に、黒田原駅周辺を中心に65歳以上人口が集中している地区がみられます。

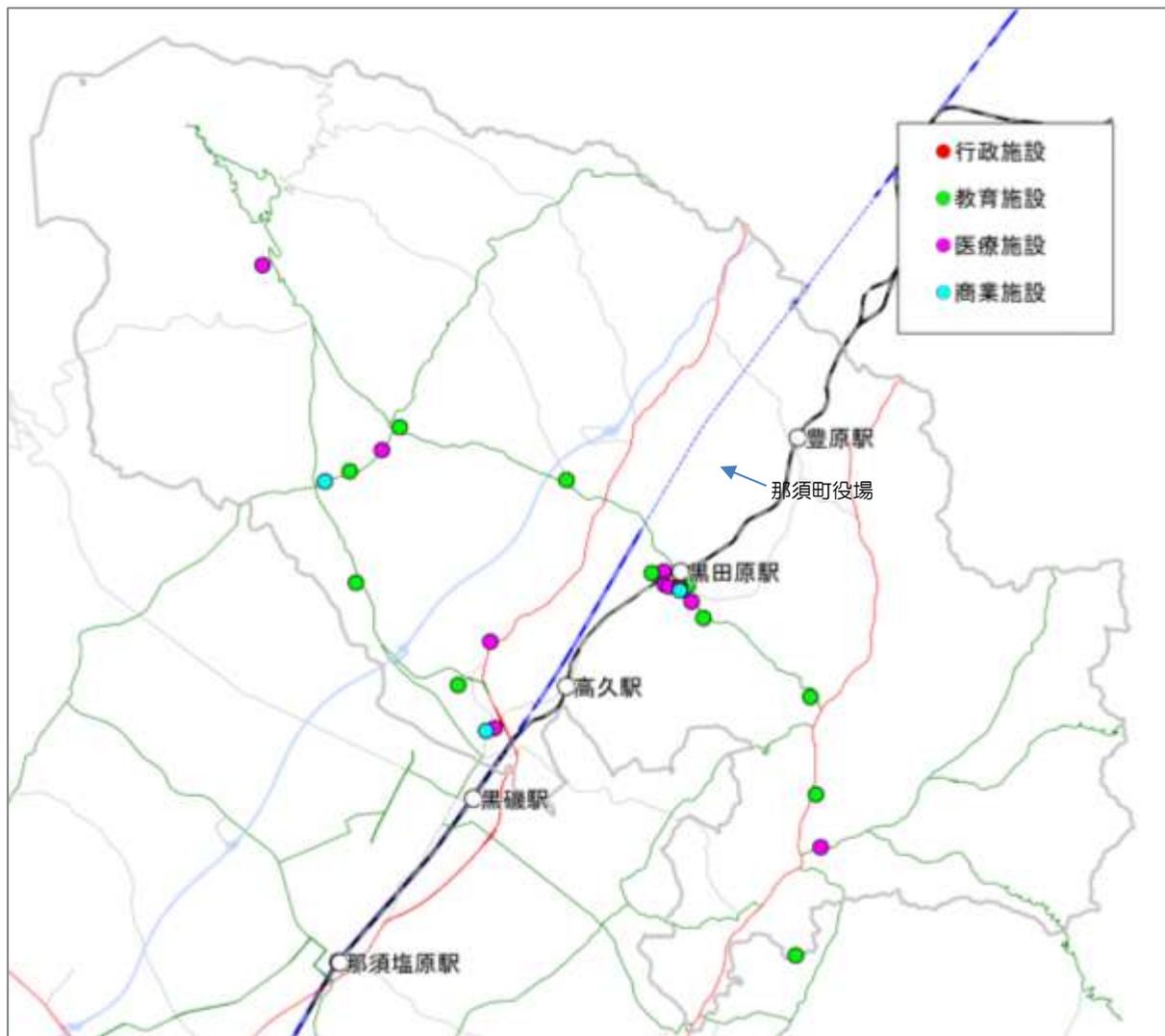


出典：平成27年国勢調査（250mメッシュ）より作成

1.1.4 施設分布

本町の各種施設は、黒田原駅周辺に立地しています。

町北部や南部には、医療施設や商業施設が立地していない地区があります。



施設分類	主な施設
行政施設	那須町役場
教育施設	小学校：東陽小学校、学びの森小学校など6箇所 中学校：那須中学校、那須中央中学校 高等学校：那須高校、幸福の科学学園（中高一貫）
医療施設	那須高原病院、田崎医院など
商業施設	スーパーダイユー、ザ・ビッグ

1.1.5 国勢調査による通勤・通学流動

(1) 通勤・通学

1) 通勤流動

前回（平成27年）国勢調査の結果となりますが、通勤流動は以下のとおりです。

■常住地集計結果

- ・内々（那須町居住者が那須町内で就業）：63.9%
- ・内外（那須町居住者が県内他市町村で就業）：29.0%
- ・内外（那須町居住者が県外で就業）：4.8%

■従業地集計結果

- ・内々（那須町就業者のうち那須町内居住者）：55.6%
- ・内外（那須町就業者のうち県内他市町村居住者）：36.4%
- ・内外（那須町就業者のうち県外居住者）：6.0%

■那須町常住地集計

	15歳以上就業者	割合
当地に常住する就業者	11,802	-
自市町村で従業	7,540	63.9%
他市区町村で従業	4,042	34.2%
県内	3,423	29.0%
宇都宮市	132	1.1%
足利市	2	0.0%
佐野市	1	0.0%
鹿沼市	5	0.0%
日光市	4	0.0%
小山市	14	0.1%
真岡市	1	0.0%
大田原市	657	5.6%
矢板市	51	0.4%
那須塩原市	2,477	21.0%
さくら市	23	0.2%
那須烏山市	12	0.1%
下野市	3	0.0%
市貝町	1	0.0%
芳賀町	12	0.1%
壬生町	2	0.0%
塩谷町	6	0.1%
高根沢町	3	0.0%
那珂川町	17	0.1%
他県	570	4.8%
岩手県	4	0.0%
宮城県	4	0.0%
福島県	397	3.4%
茨城県	8	0.1%
群馬県	5	0.0%
埼玉県	23	0.2%
千葉県	10	0.1%
東京都	104	0.9%
神奈川県	10	0.1%
新潟県	1	0.0%
静岡県	2	0.0%
兵庫県	1	0.0%
大分県	1	0.0%

■那須町従業地集計

	15歳以上就業者	割合
当地で常住する者	13,562	-
自市町村に常住	7,540	55.6%
他市区町村に常住	5,753	42.4%
県内	4,935	36.4%
宇都宮市	74	0.5%
足利市	1	0.0%
栃木市	6	0.0%
佐野市	1	0.0%
鹿沼市	3	0.0%
日光市	21	0.2%
小山市	4	0.0%
真岡市	1	0.0%
大田原市	648	4.8%
矢板市	74	0.5%
那須塩原市	4,012	29.6%
さくら市	22	0.2%
那須烏山市	15	0.1%
下野市	2	0.0%
市貝町	1	0.0%
芳賀町	2	0.0%
壬生町	1	0.0%
塩谷町	7	0.1%
高根沢町	12	0.1%
那珂川町	28	0.2%
他県	818	6.0%
北海道	1	0.0%
青森県	2	0.0%
岩手県	4	0.0%
宮城県	3	0.0%
秋田県	1	0.0%
山形県	2	0.0%
福島県	671	4.9%
茨城県	13	0.1%
群馬県	9	0.1%
埼玉県	36	0.3%
千葉県	13	0.1%
東京都	32	0.2%
神奈川県	19	0.1%
新潟県	3	0.0%
山梨県	1	0.0%
長野県	1	0.0%
岐阜県	1	0.0%
滋賀県	3	0.0%
大阪府	1	0.0%
奈良県	1	0.0%
福岡県	1	0.0%

出典：平成27年国勢調査（常住地、従業地・通学地集計データ）より作成

2) 通学流動

前回（平成 27 年）国勢調査の結果となりますが、通勤流動は以下のとおりです。

■常住地集計結果

- ・内々（那須町居住者が那須町内に通学）：46.8%
- ・内外（那須町居住者が県内他市町村に通学）：46.8%
- ・内外（那須町居住者が県外に通学）：4.8%

■通学地集計結果

- ・内々（那須町通学者のうち那須町内居住者）：67.6%
- ・内外（那須町通学者のうち県内他市町村居住者）：23.2%
- ・内外（那須町通学者のうち県外居住者）：6.9%

	15歳以上通学者	割合
当地に常住する通学者	1,220	-
<u>自市町村で通学</u>	571	46.8%
<u>他市区町村で通学</u>	631	51.7%
<u>県内</u>	571	46.8%
宇都宮市	108	8.9%
足利市	1	0.1%
栃木市	2	0.2%
佐野市	1	0.1%
日光市	1	0.1%
小山市	15	1.2%
<u>大田原市</u>	119	9.8%
矢板市	50	4.1%
<u>那須塩原市</u>	262	21.5%
さくら市	5	0.4%
塩谷町	5	0.4%
那珂川町	2	0.2%
<u>他県</u>	58	4.8%
宮城県	1	0.1%
福島県	22	1.8%
茨城県	3	0.2%
埼玉県	7	0.6%
千葉県	3	0.2%
東京都	14	1.1%
神奈川県	5	0.4%
山梨県	1	0.1%
新潟県	1	0.1%
奈良県	1	0.1%

	15歳以上通学者	割合
当地で通学する者	845	-
<u>自市町村に常住</u>	571	67.6%
<u>他市区町村に常住</u>	254	30.1%
<u>県内</u>	196	23.2%
宇都宮市	5	0.6%
<u>大田原市</u>	17	2.0%
矢板市	2	0.2%
<u>那須塩原市</u>	166	19.6%
さくら市	1	0.1%
塩谷町	5	0.6%
<u>他県</u>	58	6.9%
北海道	1	0.1%
青森県	1	0.1%
秋田県	1	0.1%
<u>福島県</u>	5	0.6%
茨城県	2	0.2%
埼玉県	6	0.7%
千葉県	5	0.6%
東京都	14	1.7%
神奈川県	8	0.9%
新潟県	1	0.1%
富山県	1	0.1%
長野県	1	0.1%
愛知県	1	0.1%
滋賀県	1	0.1%
京都府	1	0.1%
大阪府	3	0.4%
奈良県	1	0.1%
和歌山県	1	0.1%
岡山県	1	0.1%
広島県	1	0.1%
徳島県	1	0.1%
福岡県	1	0.1%

出典：平成 27 年国勢調査（常住地、従業地・通学地集計データ）より作成

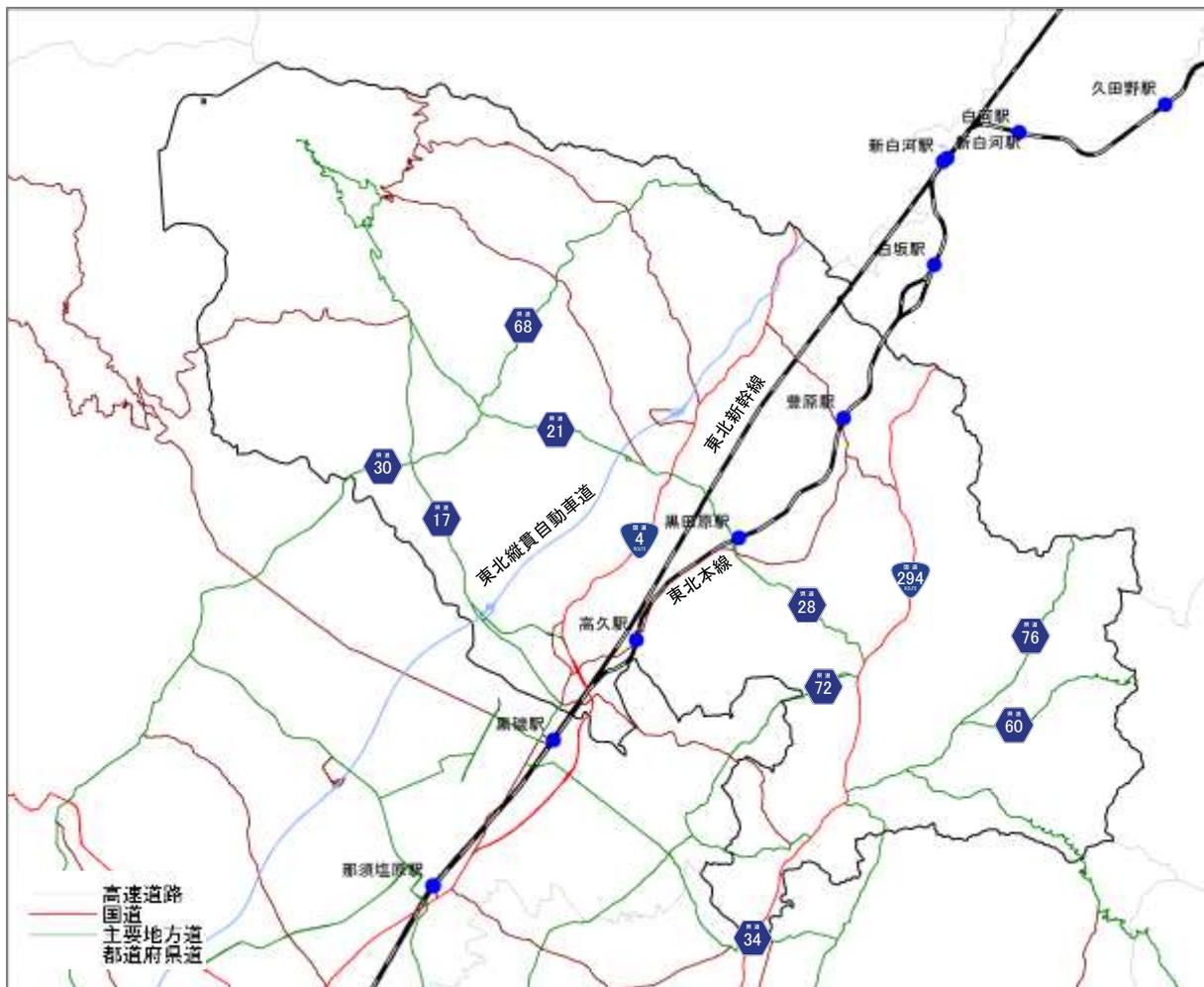
1.2 地域旅客運送サービスの現状

1.2.1 道路網と鉄道網

本町の道路網は、東北縦貫自動車道、一般国道4号・一般国道294号、県道17号那須高原線・県道21号湯本漆塚線・県道28号大子那須線等で形成されています。東北縦貫自動車道には那須IC及び那須高原スマートICが設けられており、東京圏や東北圏、県都宇都宮との広域的な交流を担っています。

鉄道網としては、JR東北本線が町内を横断しています。黒田原駅・高久駅・豊原駅の3駅が設けられており、首都圏からの那須観光の玄関口となっている那須塩原駅や町外の商業施設や病院に近接する黒磯駅・新白河駅等への移動需要を担っています。

なお、町内3駅とも構内には跨線橋が設けられていますが、エレベーター等は設置されておられません。



那須町の主要駅である黒田原駅では、上下線ともに概ね 1 時間に 1 本が運行されています。

黒田原駅の時刻表（※令和 3 年 10 月時点）

時	時刻表（平日・土休日共通）	
	黒磯・宇都宮方面（上り）	郡山・福島方面（下り）
5時	39	49
6時	35	22
7時	18・54	14
8時	52	04
9時	—	17
10時	07	32
11時	08	33
12時	09	34
13時	14	39
14時	15	40
15時	19	31
16時	48	25
17時	29	15
18時	46	22
19時	34	39
20時	42	51
21時	37	—
22時	—	05
23時	—	—

1.2.2 公共交通網（バス路線・タクシーなど）

本町のバス路線網は、民間路線バス2路線（那須線及び伊王野線）、町民バス（自家用有償旅客運送）2路線により形成されています。また、東京・新宿～那須・塩原間に高速バスが運行されています（ただし令和3年10月時点では一部の便のみが運行中）。なお、那須高原地域には令和3年5月まで観光協会観光周遊シャトルバス「きゅーびー号」が運行されていましたが、令和3年11月時点では運行休止となっています。

町内に営業所を置くタクシー事業者は1社のみですが、町が計画主体となり町内全域（JR東北本線を境に北部地域と南部地域に区分）を対象にデマンド型乗合交通を運行しています。このデマンド型乗合交通は、自宅近くのゴミステーション等を基本的にきめ細かく設置した「自宅側停留所」と黒田原駅周辺及び広谷地周辺に設置した「目的地側停留所」との間を運行しており、北部運行区域（黒田原行）は月曜・水曜・金曜日に、南部運行区域は火曜・木曜・土曜日に、北部運行区域（広谷地行）は月曜～土曜日に運行し、それぞれ1日5往復運行しています。



■バス路線の運行本数

町内の民間路線バスについて、町外的那須塩原駅・黒磯駅と那須湯本地区を結ぶ那須線は6時から19時台の間、概ね1時間に1本以上の運行本数が確保され、観光客需要に対応しています。一方で黒田原駅と伊王野地区を結ぶ伊王野線は運行本数が1日に4本で、10時台～13時台の間は運行されていません。

【民間路線バスの時間帯別運行本数】※令和3年10月時点

①那須線

時間帯	運行本数			
	黒磯駅・那須塩原駅方面（上り）		那須湯本方面（下り）	
	平日	土休日	平日	土休日
5時台			1	1
6時台	1	1	2	2
7時台	2	2	1	1
8時台	1	1	2	2
9時台	1	1	2	2
10時台	1	1	1	1
11時台	1	1	1	1
12時台	1	1	1	1
13時台	1	1	1	1
14時台	1	1	2	2
15時台	3	3	1	1
16時台	2	2	1	1
17時台	1	1	1	1
18時台	1	1		
19時台			1	1
20時台	1	1		
合計	18	18	18	18

②伊王野線

時間帯	運行本数（平日・土休日共通）	
	黒田原駅方面（上り）	上町方面（下り）
5時台		
6時台		
7時台	1	
8時台		1
9時台	1	
10時台		
11時台		
12時台		
13時台		
14時台		1
15時台	1	
16時台	1	1
17時台		1
合計	4	4

町民バスについて、町内南部地域を運行する追分・黒磯駅線、町内北部地域を運行する湯本線ともに、運行本数が1日に4本と少ない状況にあります。

【町民バスの時間帯別運行本数】※令和3年10月時点

①追分・黒磯駅線

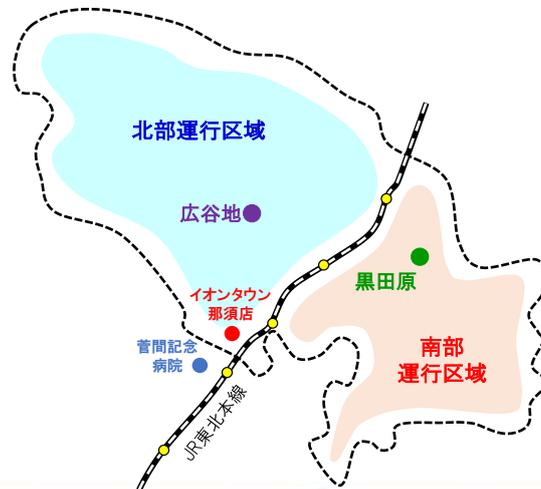
時間帯	運行本数（平日・土休日共通）	
	黒磯駅方面	追分方面
5時台		
6時台	1	
7時台		1
8時台		
9時台	1	
10時台		
11時台		1
12時台	1	
13時台		
14時台		1
15時台		
16時台	1	
17時台		1
18時台		
19時台		
合計	4	4

②湯本線

時間帯	運行本数（平日・土休日共通）	
	イオンタウン那須方面	いこいの家方面
5時台		
6時台		
7時台	1	
8時台		
9時台		1
10時台	1	
11時台		
12時台		1
13時台		
14時台	1	
15時台		1
16時台		
17時台	1	1
18時台		
19時台		
合計	4	4

■デマンド型乗合交通の運行本数

デマンド型乗合交通は黒田原行・広谷地行ともに1日5便運行（※事前予約があった場合のみ）されています。運賃は一般（高校生以上）500円、小中学生・60歳以上300円（幼児・障害者・生活保護受給者は無料）です。



○黒田原・イオンタウン行き(北部:月水金、南部:火木土)

●目的地側停留所

※特内の4ヵ所は1日2便運行

●運行時間

自宅側		目的地側停留所				自宅側	
行きの便		目的地側停留所				帰りの便	
		到着予定時刻		出発時刻			
黒田原駅	イオンタウン那須	菅間記念病院(38)	菅間記念病院(坂)	イオンタウン那須	黒田原駅	帰宅時は希望により自宅までお送りします。	
8:20	8:50	9:00			8:20		
10:00	10:20	10:30			10:40		
12:40			12:10	12:20	12:40		
14:50			14:20	14:30	14:50		
16:40					16:50		

○広谷地行き(北部:月~土)

●目的地側停留所

●運行時間

自宅側		道の駅・那須高厚友愛の森		自宅側	
行きの便		道の駅・那須高厚友愛の森		帰りの便	
		到着予定時刻	出発時刻		
自宅側停留所に設定された出発日安時刻(1日5便)		7:10	8:30	帰宅時は希望により自宅までお送りします。	
		8:30	11:20		
		10:20	13:30		
		12:40	15:20		
		15:00	16:20		

菅間記念病院の利用は60歳以上の方、介助者、身体障害者等手帳所持者、生活保護受給者及び那須町地域活動支援センターに通所している方に限ります。

※網掛け部分は火曜、木曜、土曜の運行となります。(月曜、水曜、金曜は第2便から第4便までの3便の運行です)

※令和3年10月時点

■タクシーの状況

町内に営業所を置く唯一のタクシー会社である黒田原タクシーは、車両8台（乗務員8人）にて営業を行っています。（令和3年11月時点）。

1.2.3 鉄道の利用実態

(1) 鉄道駅の乗車人員の推移

黒田原駅の令和元年度の乗車人員は16万1千人で、1日当りの乗車人員は441人です。定期券利用者が大半を占めています。

町外的那須塩原駅と黒磯駅は黒田原駅に比べ乗車人員が格段に多く、また観光客の利用が多いことから普通（定期外）利用者数の割合が高いのが特徴です。特に那須塩原駅では、定期券利用者よりも普通利用者の割合が高くなっています。

■ 駅別旅客乗車人員（単位：千人）

年度	種別	駅名		
		那須塩原	黒磯	黒田原
H25	合計	1,860	883	199
	普通	1,037	247	25
	定期	824	636	174
H26	合計	1,850	837	199
	普通	1,026	241	24
	定期	824	596	162
H27	合計	1,889	832	192
	普通	1,042	238	25
	定期	848	594	167
H28	合計	1,894	832	186
	普通	1,046	234	24
	定期	848	597	161
H29	合計	1,908	868	182
	普通	1,063	231	24
	定期	845	637	158
H30	合計	1,946	853	169
	普通	1,096	220	22
	定期	850	633	146
R01	合計	1,937	848	161
	普通	1,096	214	20
	定期	850	633	141

※旅客乗車人員は、千人未満四捨五入のため、内訳と総数が一致しないことがあります。

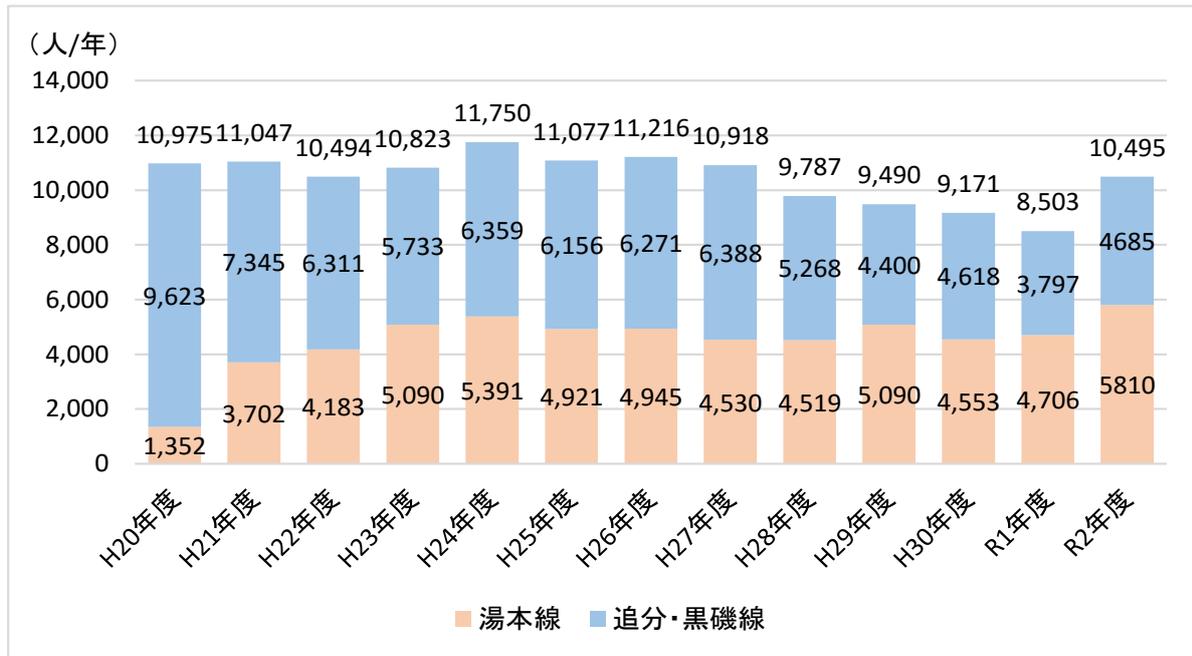
出典：栃木県統計年鑑

1.2.4 町民バスの利用実態

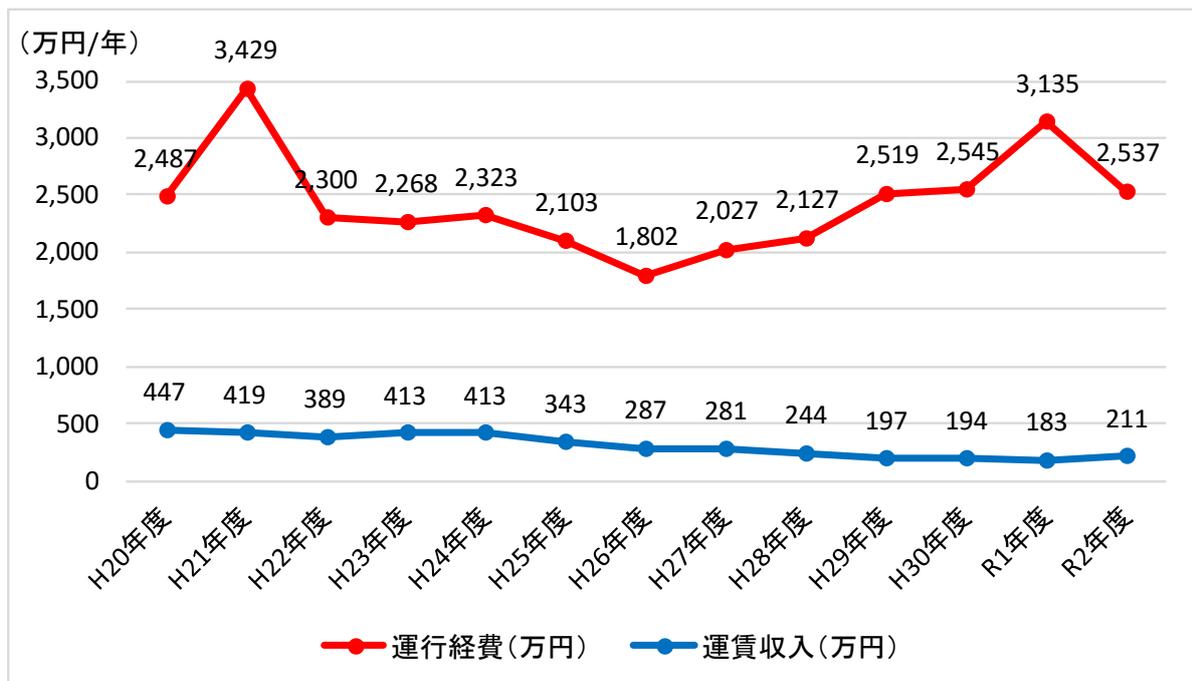
(1) 利用者数及び運行収支の推移

令和2年4月の再編（増便、延伸、高校生運賃改正）後、利用者数が増加しています。再編後、利用者数の増加に伴い運賃収入が増加しています。

■年度別利用者数



■年度別運行収支



※令和元年度の運行経費には備品購入費（新車両2台および運賃箱2台：695万円）を含む

(2) 便別・月別・曜日別利用者数

追分・黒磯駅線り方向（黒磯駅行き）の利用者数は前年比 135%に増加しています。両路線とも下りに対し上りの利用者数が多く、その傾向は追分・黒磯駅線においてより顕著となっている（R2年度の「上り/下り」：追分・黒磯駅線 1.64、湯本線 1.15）。

月別利用者数は、両路線とも6月以降は前年同月を上回っています。

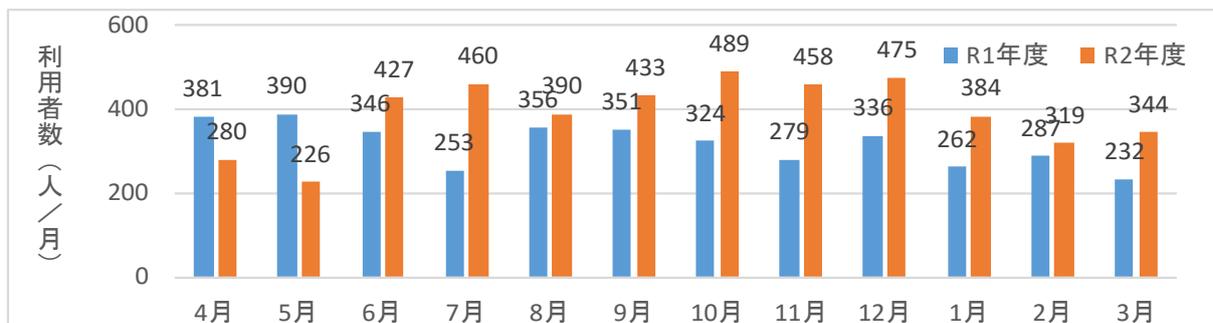
追分・黒磯駅線は平日（特に上り方向）の利用者数が増加し、土日は減少しています。

■便別利用者数

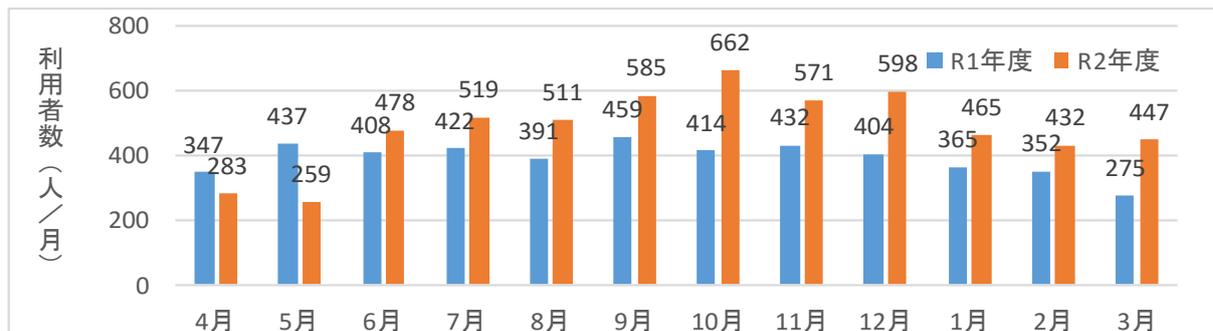
路線 年度	追分・黒磯線									湯本線								
	R1			R2			R2/R1			R1			R2			R2/R1		
便	上り	下り	合計	上り	下り	合計	上り	下り	合計	上り	下り	合計	上り	下り	合計	上り	下り	合計
1便	1,012	484	1,012	1,471	125	1,596	145%	134%	272%	1,609	1,008	2,617	1,811	914	2,725	113%	91%	104%
2便	910	708	1,618	543	588	1,131	60%	83%	70%	519	891	1,410	564	658	1,222	101%	83%	90%
4便	230	453	683	230	411	641	100%	91%	94%	356	323	679	206	390	596	58%	121%	88%
合計	2,152	1,645	3,797	2,912	1,773	4,685	135%	108%	123%	2,484	2,222	4,706	3,107	2,703	5,810	125%	122%	123%

■月別利用者数

○追分・黒磯線



○湯本線



■曜日別利用者数

路線 年度	追分・黒磯線									湯本線								
	R1			R2			R2/R1			R1			R2			R2/R1		
曜日	上り	下り	合計	上り	下り	合計	上り	下り	合計	上り	下り	合計	上り	下り	合計	上り	下り	合計
月	294	233	527	501	274	775	170%	118%	147%	342	269	611	466	386	852	136%	143%	139%
火	382	276	658	470	243	713	123%	88%	108%	404	360	764	517	431	948	128%	120%	124%
水	383	276	659	529	328	857	138%	119%	130%	370	337	707	502	381	883	136%	113%	125%
木	290	238	528	434	241	675	150%	101%	128%	424	372	796	472	431	903	111%	116%	113%
金	351	253	604	578	377	955	165%	149%	158%	381	342	723	486	386	872	128%	113%	121%
土	241	212	453	233	183	416	97%	86%	92%	333	304	637	408	405	813	123%	133%	128%
日	211	157	368	167	127	294	79%	81%	80%	230	238	468	256	283	539	111%	119%	115%
合計	2,152	1,645	3,797	2,912	1,773	4,685	135%	108%	123%	2,484	2,222	4,706	3,107	2,703	5,810	125%	122%	123%

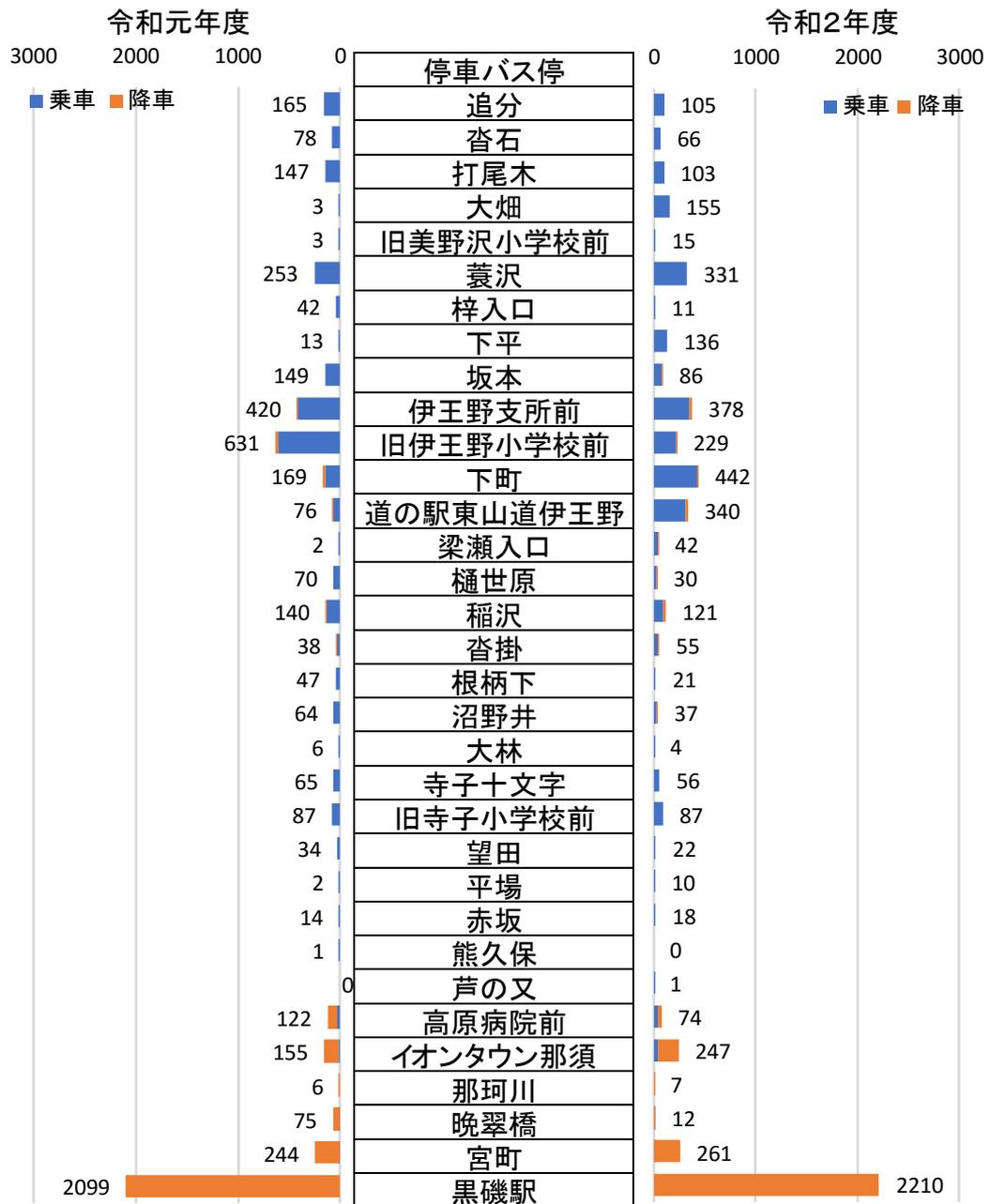
(3) 路線・方向別利用者数

1) 追分・黒磯駅線

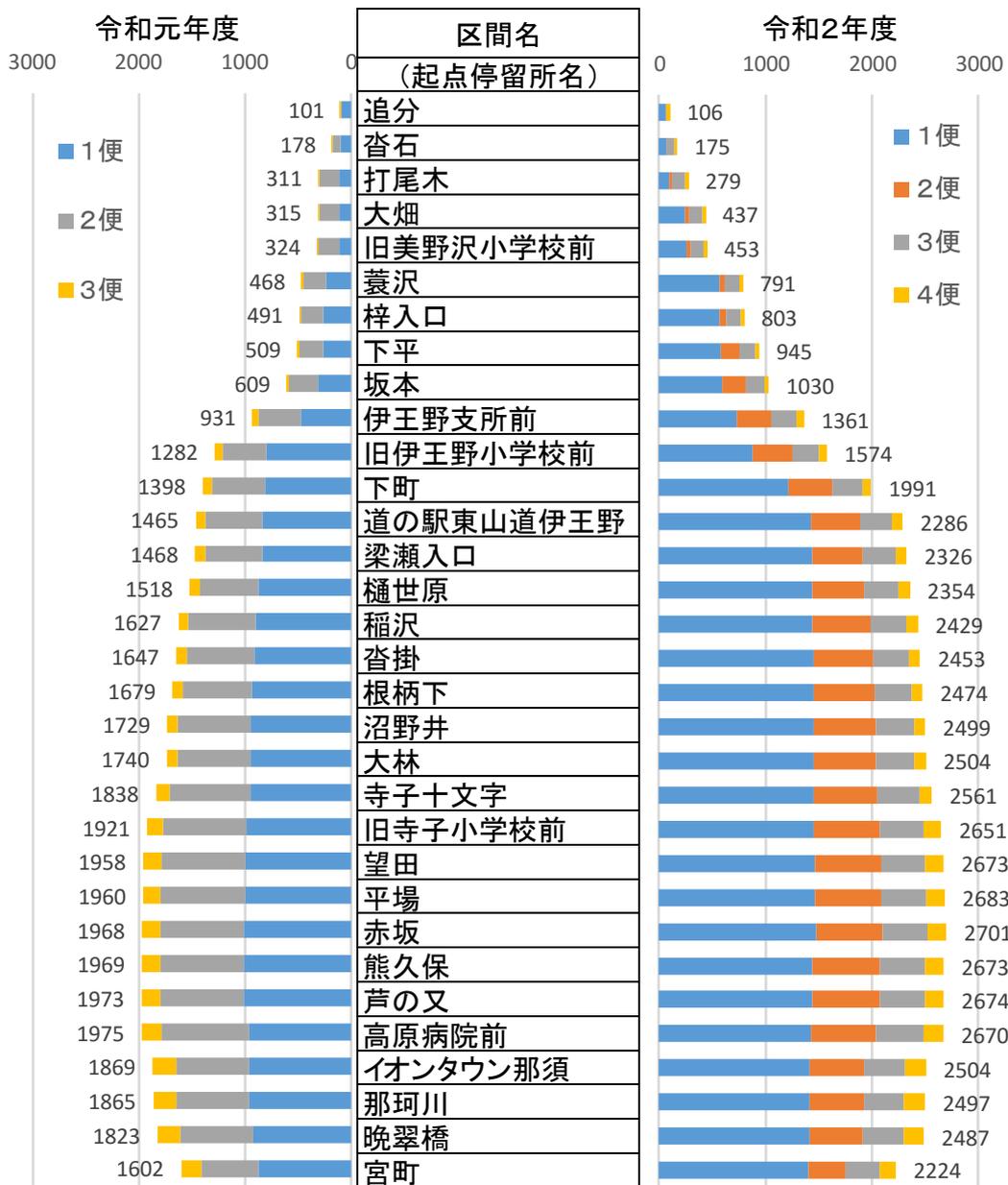
① 上り(追分発)

令和2年度は「追分～道の駅東山道伊王野間」での乗車数が全体の81%を、黒磯駅での降車数が全体の77%を占めており、その傾向は令和元年度と変わっていません。

■停留所別利用者数



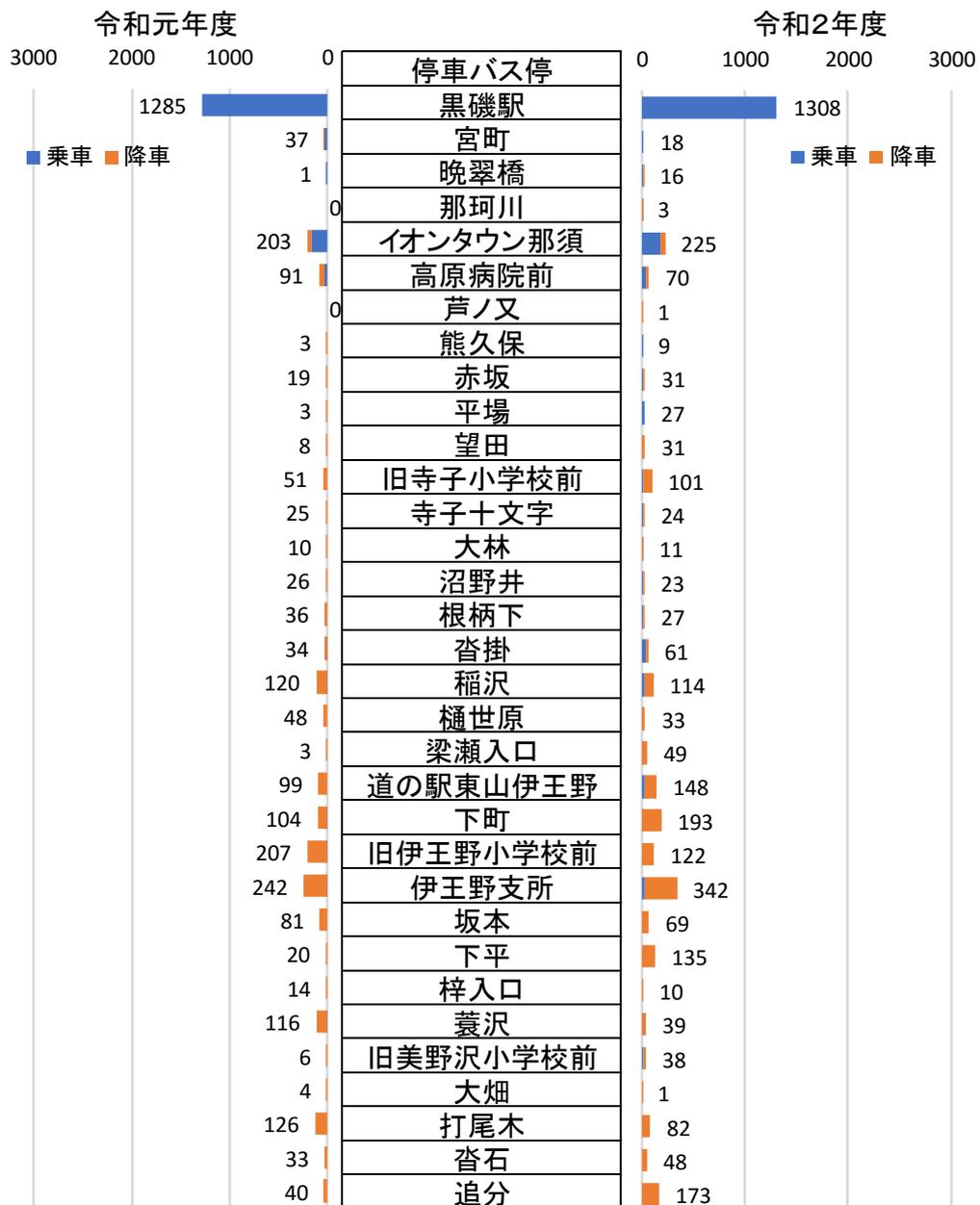
■ 区間別利用者数



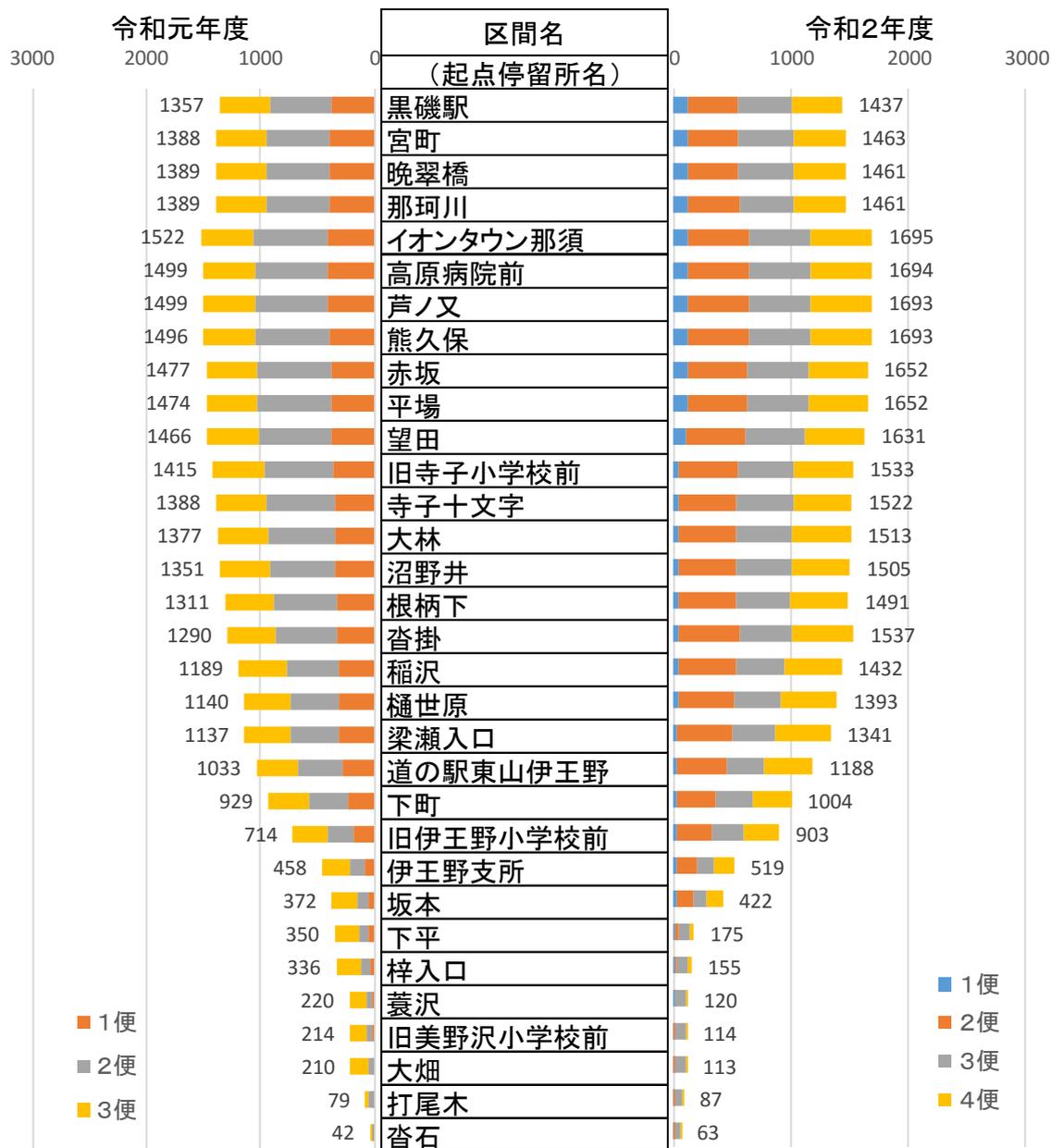
② 下り（黒磯駅発）

上り方向とは逆に、令和2年度は黒磯駅での乗車数が全体の73%を、「道の駅東山道伊王野～追分間」での降車数が全体の75%を占めています。令和元年度は黒磯駅での乗車数の割合が83%であり、令和2年度は黒磯駅以外の複数停留所における乗車数の増加がみられます。

■ 停留所別利用者数



■ 区間別利用者数



2) 湯本線

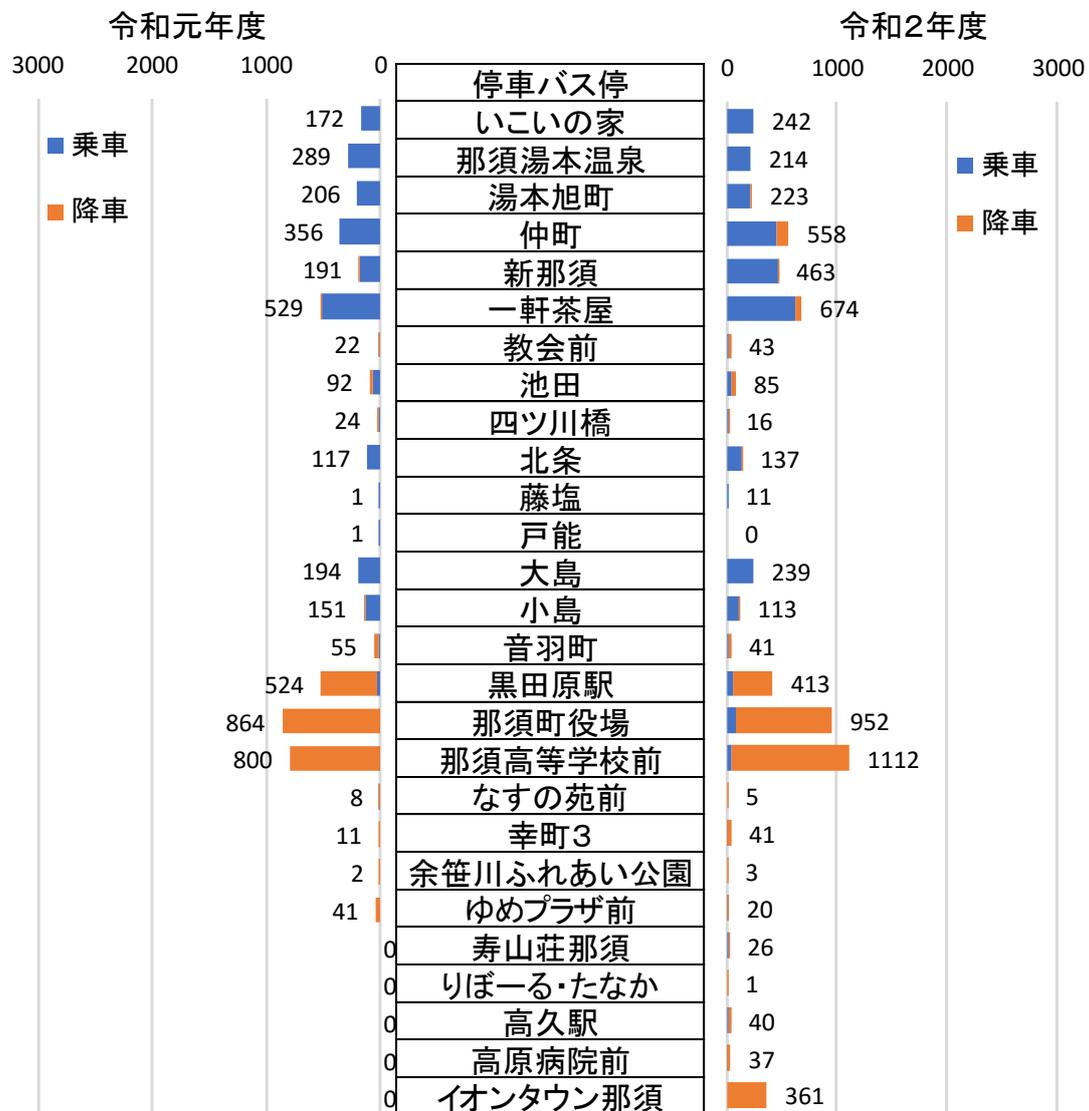
① 上り (いこいの家発)

令和2年度は「いこいの駅～一軒茶屋間」での乗車数が全体の73%を、「黒田原駅～那須高等学校前間」での降車数が全体の76%（※令和元年度は92%・イオンタウン那須等での降車数増加により減少）を占めています。

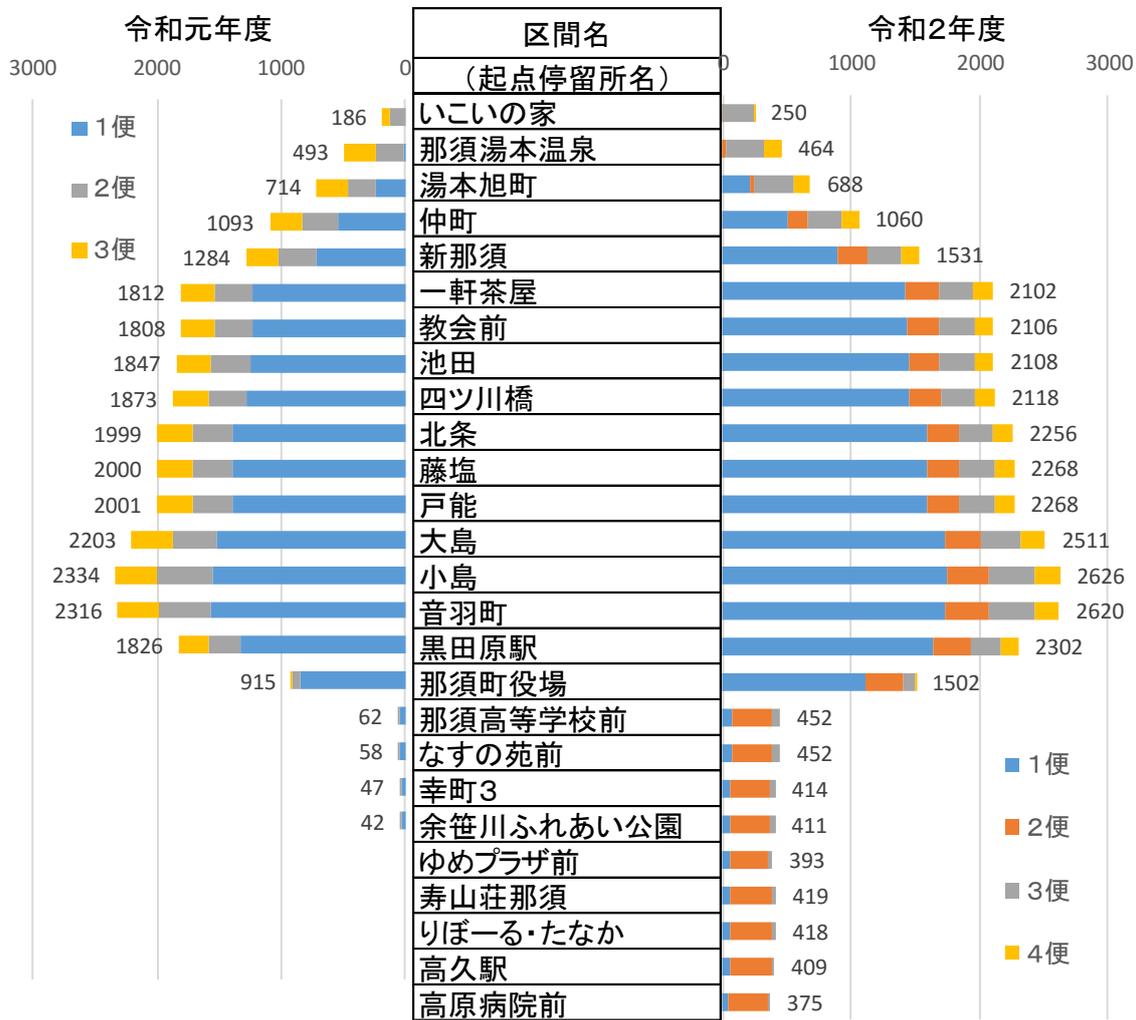
那須高等学校前での降車数はその大半が第1便となっています。

第2便はイオンタウン那須での降車数が多くなっています。

■ 停留所別利用者数



■ 区間別利用者数

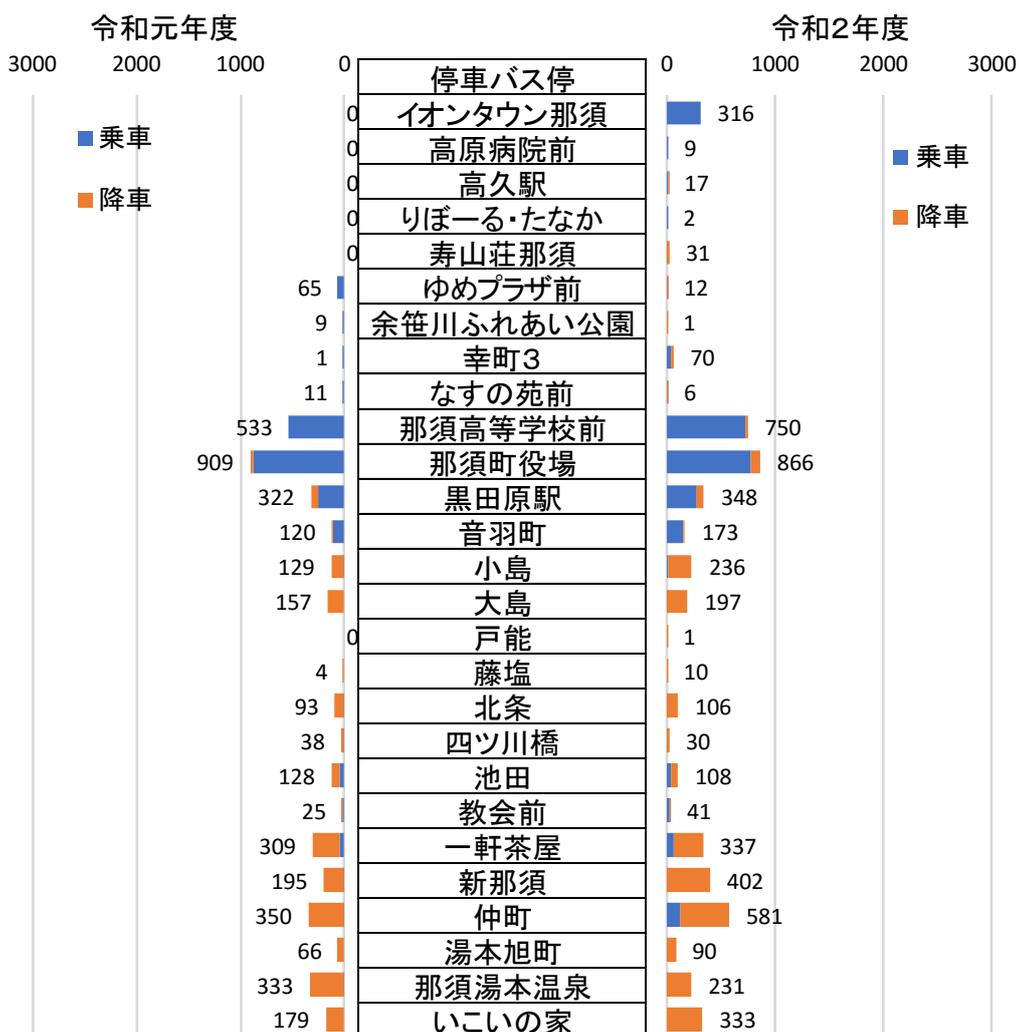


② 下り（イオンタウン那須発）

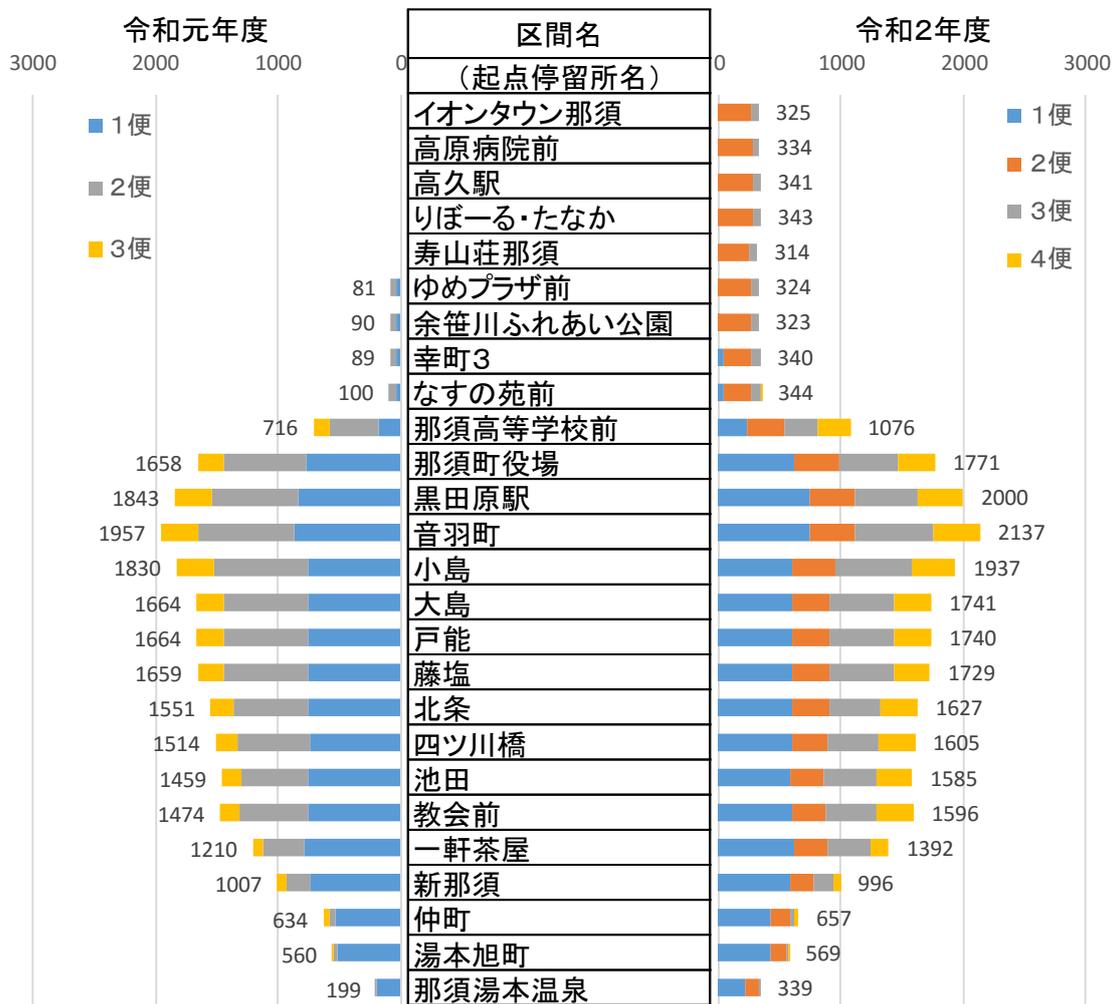
上り方向とは逆に、令和2年度は「那須高等学校前～黒田原駅間」での乗車数が全体の68%（※令和元年度は83%・イオンタウン那須等での乗車数増加により減少）を、「一軒茶屋～いこいの家間」での降車数が全体の67%を占めています。

第2便はイオンタウン那須での乗車数が多くなっています。

■停留所別利用者数



■ 区間別利用者数



(4) 定期券・回数券販売状況

定期券の販売枚数は令和元年度 21 枚が令和 2 年度は 41 枚に倍増しました。特に湯本支所での増加（令和元年度 2 枚→令和 2 年度 19 枚）が目立っています。

回数券の販売枚数は令和元年度 37 枚が令和 2 年度は 143 枚と 3.9 倍に増加しています。特に伊王野支所での増加（令和元年度 0 枚→令和 2 年度 100 枚）が目立っています。伊王野支所での販売券種は大半が学生対象のものですが、高齢者対象も購入されています（令和元年度 0 枚→令和 2 年度 17 枚）。

■定期券・回数券販売状況

	販売箇所	定期券						回数券				
		1ヶ月			3ヶ月			合計	500円 (R1は高校生を含む)	300円		合計
		一般	高校生	小中	一般	高校生	小中			小中高 (R1は小中のみ)	一般	
R1年度	本庁		18			1	19	16		21	37	
	湯本支所		2				2	0			0	
	芦野支所						0				0	
	伊王野支所						0				0	
	合計		20			1	21	16		21	37	
R2年度	本庁		17			5	22		8	33	41	
	湯本支所		19				19		2		2	
	芦野支所						0				0	
	伊王野支所						0		83	17	100	
	合計		36			5	41		93	50	143	

(5) 町民バスの運行概要

■運行路線図



図. 那須町民バス路線図

■運行車両



■運賃（単位：円） ※幼児及び障害者等は無料

利用者	1回乗車	定期券		回数券	
		1カ月	3カ月	500円券	300円券
一般	500	14,000	39,000	5,000	—
高校生	500	7,200	19,800	—	3,000
小中学生	300	7,200	19,800	—	3,000
60歳以上	300	8,400	23,400	—	3,000

■運行ダイヤ

①追分・黒磯駅線

停留所名	1便	2便	3便	4便
追分発	6:45	9:00	12:20	16:00
黒磯駅着	7:39	10:00	13:20	17:00
黒磯駅発	7:54	11:00	14:50	17:30
追分着	8:44	11:50	15:43	18:20

②湯本線

停留所名	1便	2便	3便	4便
いこいの家発	7:40	10:10	14:10	17:00
イオンタウン那須着	8:38	11:08	15:10	17:37*1
イオンタウン那須発	9:00*2	12:46	15:40	17:41*3
いこいの家着	9:41	13:42	16:36	18:16

*1:なすの苑着 *2:ゆめプラザ前発 *3:なすの苑発

表. 令和2年4月の運行内容変更

運行本数の増便	追分・黒磯駅線及び湯本線の2路線とも、現在の3往復から4往復に1往復増便
運行区間等の変更	<p>①追分・黒磯駅線 バス停「上睦家」を廃止し、道の駅東山道伊王野に新たに「東山道伊王野」を、「愛宕前」を廃止し、新たに「イオンタウン那須」を設置。</p> <p>②湯本線 運行区間を、現在の「町営那須いこいの家」から「ゆめプラザ・那須」を、「町営那須いこいの家」から「イオンタウン那須」に延伸する。(寿山荘那須、りぼーる・たなか、高久駅、高原病院前、イオンタウン那須に停留所を設置)</p>
使用料の変更	<p>①高校生の通学用定期券使用料の変更 1か月の定期券を12,000円から7,200円に、3か月の定期券の額を33,000円から19,800円に変更する。(小中学生と同額)</p> <p>②高校生の回数券使用料の変更 11枚つづりの回数券を5,000円から3,000円に変更する。(小中学生と同額) ※高校生の1回の使用料は一般料金の500円のままとする。</p>

1.2.5 デマンド型乗合交通の利用実態

(1) 利用実績の概要

登録者数は2,343人（R3/3/31時点）となっています。

登録者は「60歳以上」が73%、「障害者等」が11%となっています。

停留所の標識設置箇所は微増傾向にあり、実証運行開始当初の2.9倍となっています。

（R3/3/31時点）

実証運行開始後7年半の利用者数は延べ49,782人。北部区域が83%を占めています。

7年半目（直近半年間）の1日平均利用者数は北部区域が黒田原行き18.6人、菅間記念病院行き2.0人、広谷地行き（火・木・土）9.0人、広谷地行き（月・水・金）5.4人、南部区域が黒田原行き6.0人、菅間記念病院行き2.1人となっています。半年間利用者数（全路線計）は前年度同期間と同程度（前年度3,489人→本年度3,359人）となっています。

利用者の71%が「小中学生・60歳以上」、27%が「障害者等」となっています。

■利用実績概要

運行区域	登録者数	停留所数	行き先	項目	利用者数（人）					
					1年目～4年目	5年目	6年目	7年目	7年半目	7年半合計
北部	2,005	303	黒田原 （月水金）	利用者数（人）	14,508	3,907	3,942	3,117	1,448	26,922
				運行日数（日）	626	156	157	157	78	1,174
				日利用者数（人/日）	23.2	25.0	25.1	19.9	18.6	22.9
			菅間記念 病院 （月水金）	利用者数（人）	—	126	208	243	156	733
				運行日数（日）	—	156	157	157	78	548
				日利用者数（人/日）	—	0.8	1.3	1.5	2.0	1.3
			広谷地 （火木土）	利用者数（人）	5,449	1,795	1,729	1,545	703	11,221
				運行日数（日）	470	156	156	157	78	1,017
				日利用者数（人/日）	11.6	11.5	11.1	9.8	9.0	11.0
			広谷地 （月水金）	利用者数（人）	—	687	590	739	420	2,436
				運行日数（日）	—	156	157	157	78	548
				日利用者数（人/日）	—	4.4	3.8	4.7	5.4	4.4
南部	338	110	黒田原 （火木土）	利用者数（人）	3,740	1,244	1,376	1,033	470	7,863
				運行日数（日）	628	156	156	157	78	1,175
				日利用者数（人/日）	6.0	8.0	8.8	6.6	6.0	6.7
			菅間記念 病院 （火木土）	利用者数（人）	—	36	234	175	162	607
				運行日数（日）	—	156	156	157	78	547
				日利用者数（人/日）	—	0.2	1.5	1.1	2.1	1.1
合計	2,343	413	—	利用者数（人）	23,697	7,795	8,079	6,852	3,359	49,782
				運行日数（日）	1,254	312	313	314	156	2,349
				日利用者数（人/日）	18.9	25.0	25.8	21.8	21.5	21.2

※登録者数及び停留所数は令和3年3月31日時点

※1年目～4年目：H25/10/1～H29/9/30、5年目：H29/10/1～H30/9/30、

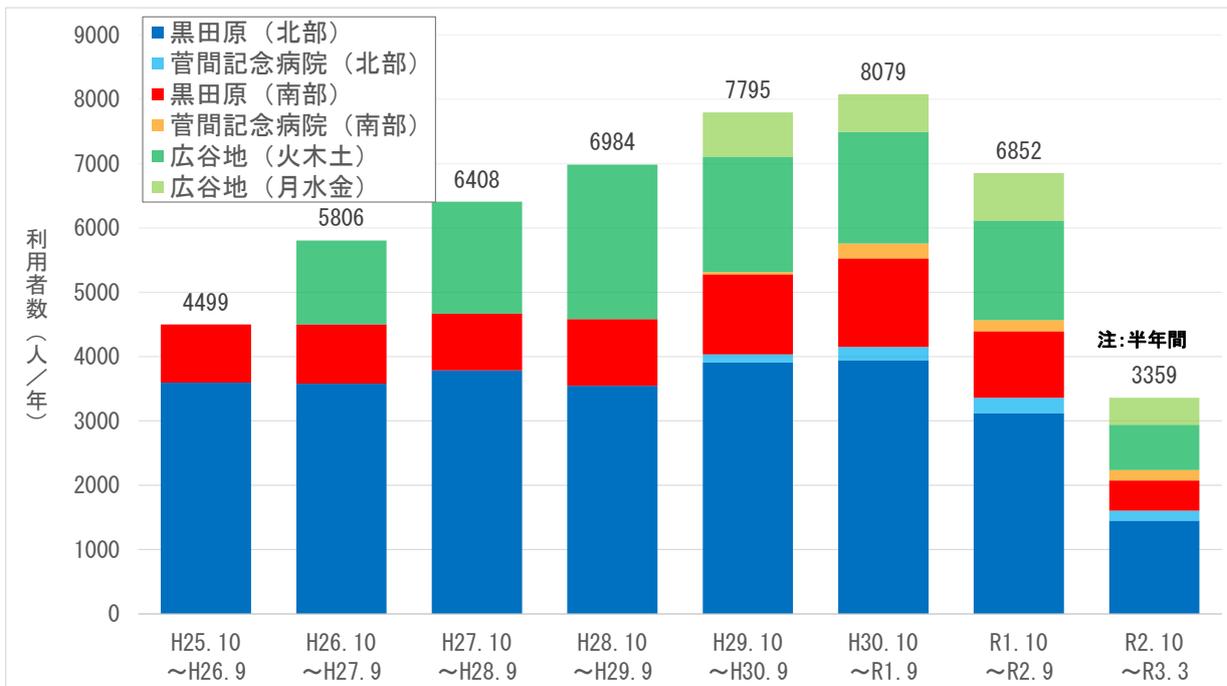
6年目：H30/10/1～R1/9/30、7年目：R1/10/1～R2/9/30、7年半目：R2/10/1～R3/3/31

(2) 利用者数の変化

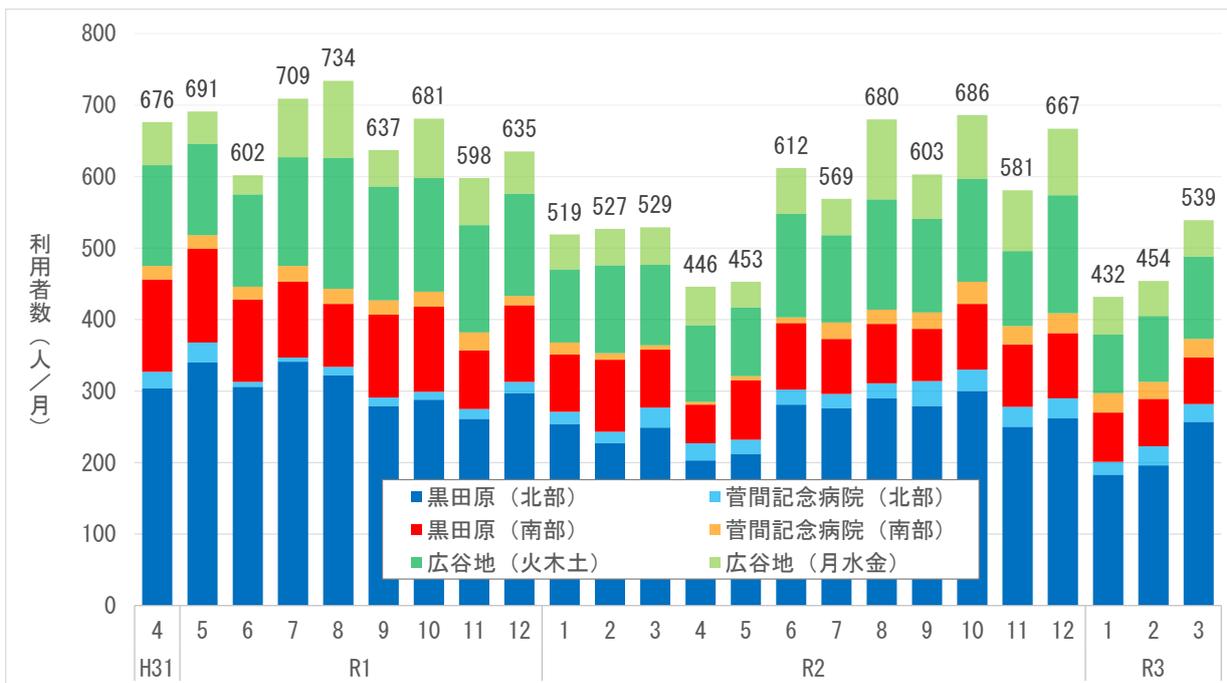
利用者数は年々増加傾向にありましたが、コロナ禍で令和2年度（R1年10月～R2年9月）の利用者数は前年度の85%に減少しました。

利用者数は、夏季に増加、冬季に減少する傾向にあります。令和2年はコロナ禍における緊急事態宣言発令等の影響で4月・5月の利用者数が激減しています。

■年間利用者数の変化



■月間利用者数の変化（※直近2年間のみ）



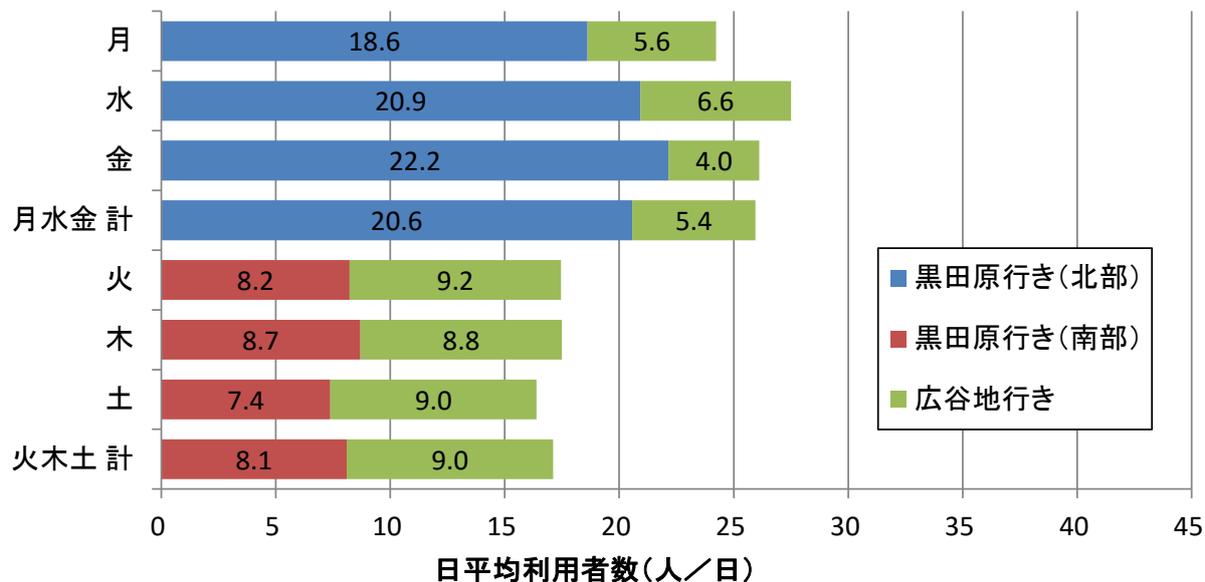
(3) 直近半年 (R2/10/1~R3/3/31) の利用実績

1) 曜日別利用者数

水曜日の利用者数が多く、日平均 28 人/日となっています。

前年度に比べ、月曜日の増加が目立っています。(前年度 20.0 人→本年度 24.2 人)

■曜日別利用者数



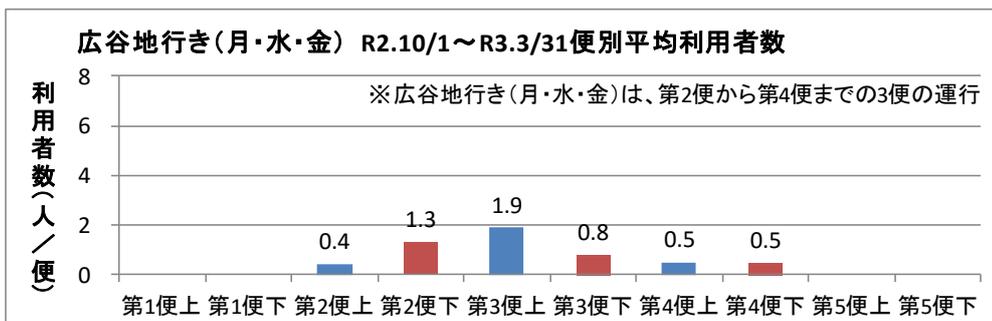
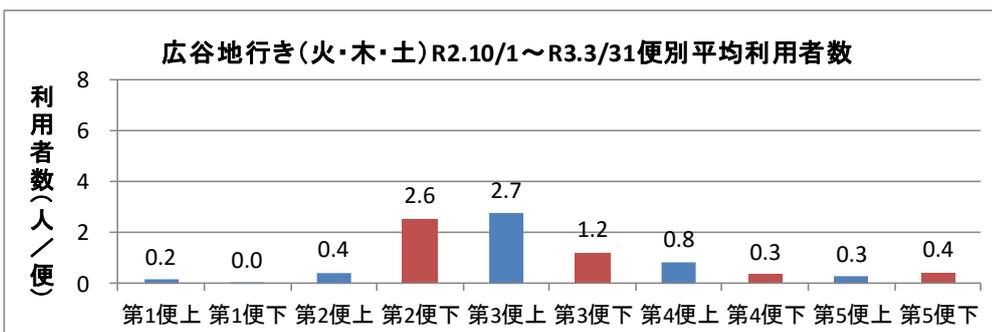
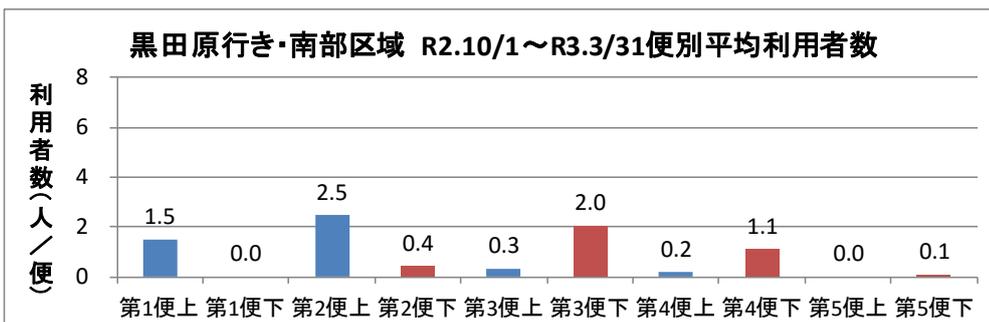
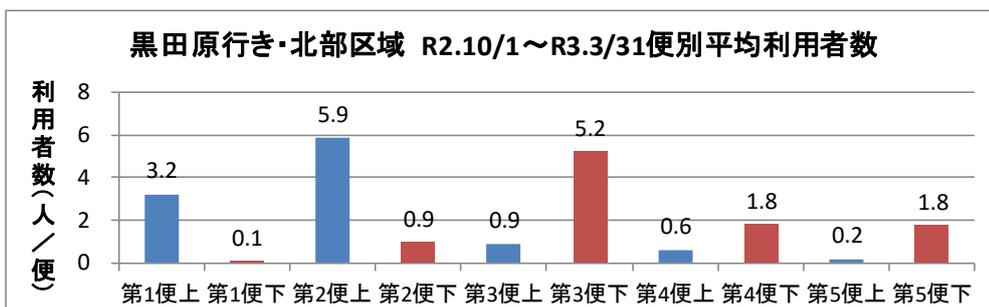
2) 便別利用者数

黒田原行きの上りは両区域とも2便の利用が多くなっています。下りは両地域とも3便の利用が多くなっています。

広谷地行きでは、上りの3便及び下りの2便の利用が多くなっています。

前年同期間に比べ、黒田原行き北部地域の第4便下りの減少が目立っています（前年度2.7人→本年度1.8人）。なお、黒田原行き・南部地域の第4便下りについては増加傾向がみられます（前年度0.5人→本年度1.1人）。

■便別利用者数



3) 方向別利用者数

広谷地行き・火木土以外の便は下りよりも上りの利用者が多くなっています。

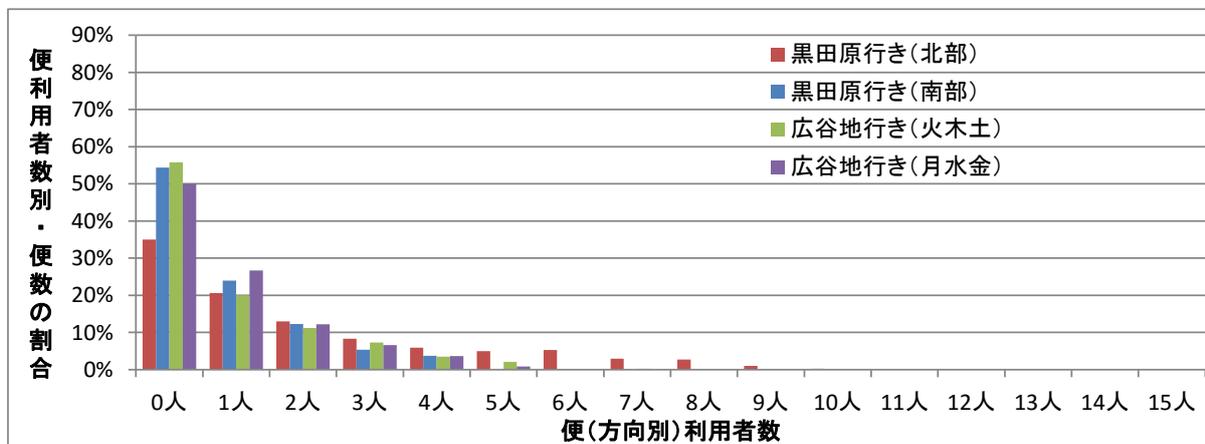
便（方向別）利用者数の度数分布は前年度同時期と同じ傾向です。

車両が2台以上必要となる便（1方向当たり4人以上）の割合は、黒田原行き（北部区域）で23%、黒田原行き（南部区域）で4%、広谷地行き（火木土）で6%、広谷地行き（月水金）で4%となっている。

■方向別利用者数の比較

運行区域	上り	下り	合計	上り／下り
黒田原行き ・北部区域	843	761	1604	1.11
	52.6%	47.4%	100.0%	
黒田原行き ・南部区域	349	283	632	1.23
	55.2%	44.8%	100.0%	
広谷地行き・ 火木土	347	356	703	0.97
	49.4%	50.6%	100.0%	
広谷地行き・ 月水金	218	202	420	1.08
	51.9%	48.1%	100.0%	
合計	1757	1602	3359	1.10
	52.3%	47.7%	100.0%	

■方向別利用者数の度数分布（※「利用者が2人だった便は何便あったか？」等の集計）



※R2.10/1～R3/3/31の各路線の運行日数の全便（78日間×5便/日（10方向/日） ※広谷地行き（月水金）は78日間×3便/日（6方向/日））に占める乗車人数別の便数の割合。方向別に算出しているため、例えば利用者がほとんどいない「1便下り方向」の分もカウントされており、方向に関わらず集計している結果に比べ「利用者数0人」の便数の割合が高くなっています。

4) 稼働率

「稼働便の割合（設定便数に対する稼働便数の割合）」は黒田原行き（北部区域）で94%、黒田原行き（南部区域）で76%、広谷地行き（月水金）で73%、広谷地行き（火木土）で62%となっています。

「稼働率（最大稼働可能台数に対する稼働台数の割合）」は黒田原行き（北部区域）と広谷地行き（月水金）を運行する「月・水・金」曜日で104%（予備車を除く）、黒田原行き（南部区域）と広谷地行き（火木土）を運行する「火・木・土」曜日で67%（予備車を除く）となっています。

便当たり稼働台数は「月・水・金」曜日で2.27台/便、「火・木・土」曜日で1.46台/便となっています。

台当たり利用者数は「月・水・金」曜日で1.66人/台、「火・木・土」曜日で1.70人/台となっています。

■稼働便の割合（設定便数に対する稼働便数の割合）

運行区域	項目	1便	2便	3便	4便	5便	合計
黒田原行き (北部区域)	設定便数(便)	78	78	78	78	78	390
	稼働便数(便)	74	78	78	65	72	367
	稼働便の割合	94.9%	100.0%	100.0%	83.3%	92.3%	94.1%
黒田原行き (南部区域)	設定便数(便)	78	78	78	78	78	390
	稼働便数(便)	78	74	71	69	6	298
	稼働便の割合	100.0%	94.9%	91.0%	88.5%	7.7%	76.4%
広谷地行き (月水金)	設定便数(便)	—	78	78	78	—	234
	稼働便数(便)	—	59	69	43	—	171
	稼働便の割合	—	75.6%	88.5%	55.1%	—	73.1%
広谷地 (火木土)	設定便数(便)	78	78	78	78	78	390
	稼働便数(便)	13	77	76	47	28	241
	稼働便の割合	16.7%	98.7%	97.4%	60.3%	35.9%	61.8%

※稼働便の割合

：集計対象期間に運行が予定された便数（運行日数が157日なら、1日5便なので785便）を「設定便数」とし、利用者が1人でもいた便（＝1台でも稼働した便）の合計を「稼働便数」として、「稼働便数」÷「設定便数」で「稼働便の割合」を算出しました。

■稼働率（最大稼働可能台数に対する稼働台数の割合）

運行日	運行日数 (日)	運行便数 (便/日)	車両台数 (台/便)	最大稼働可 能台数(台)	実稼働台 数(台)	稼働率
月・水・金	78	5	3	1170	1219	104.2%
火・木・土	78	5	3	1170	787	67.3%

※稼働率

：集計対象期間に運行のために待機していた車両の総数（1 便当たり 3 台（予備車を除く）。運行日数が 157 日なら、1 日 5 便なので、1 便当り 3 台の場合 2,355 台）を「最大稼働可能台数」とし、実際に稼働した車両の総数を「実稼働台数」として、「実稼働台数」÷「最大稼働可能台数」で「稼働率」を算出しました。なお、稼働率が 100%を超える分については、予備車にて対応しています。

■便当たり稼働台数・便当たり利用者数・台当たり利用者数

運行日	運行区域	利用者数 (人)	稼働便数 (便)	実稼働数 (台)	便当たり 稼働台数 (台/便)	便当たり 利用者数 (人/便)	台当たり 利用者数 (人/台)
月・水・金	黒田原行き (北部区域)	1,604	367	1,219	2.27	4.37	1.66
	広谷地行き	420	171			2.46	
火・木・土	黒田原行き (南部区域)	632	298	787	1.46	2.12	1.70
	広谷地行き	703	241			2.92	
合計		3,359	1,077	2,006	1.86	3.12	1.67

(4) 停留所別利用者数

1) 黒田原行き (集計期間 : R2/10/1~R3/3/31)

目的地側停留所での降車数は「イオンタウン那須」が最も多く、25%を占めています。「黒田原駅」が21%で次いでいます。

帰りの乗車数は「那須町役場」が30%で最も多く、「イオンタウン那須」が29%で次いでいます。

■目的地側停留所別利用者数

目的地側停留所名	降車数		乗車数	
	実数	割合	実数	割合
黒田原駅	251	21.0%	221	21.2%
那須町役場	229	19.2%	314	30.2%
ゆめプラザ那須	31	2.6%	21	2.0%
那須町ゆうゆうセンター	7	0.6%	0	0.0%
塚原医院	34	2.8%	3	0.3%
田崎医院	4	0.3%	6	0.6%
立花医院	32	2.7%	0	0.0%
塩田医院	2	0.2%	2	0.2%
余笹川ふれあい公園	3	0.3%	0	0.0%
JAなすの那須支店	17	1.4%	17	1.6%
コメリ那須店	4	0.3%	0	0.0%
三田歯科医院	1	0.1%	0	0.0%
塚原歯科医院	7	0.6%	0	0.0%
カワチ薬品黒田原店	55	4.6%	22	2.1%
糸齒科医院	5	0.4%	0	0.0%
なすの苑	0	0.0%	0	0.0%
那須高原病院	25	2.1%	2	0.2%
イオンタウン那須	296	24.8%	306	29.4%
菅間記念病院	192	16.1%	127	12.2%
合計	1195	100.0%	1041	100.0%

■目的地別停留所



2) 広谷地行き（集計期間：R2/10/1～R3/3/31）

■目的地側停留所別利用者数

目的地側停留所名	降車数		乗車数	
	実数	割合	実数	割合
友愛の森	146	25.8%	66	11.8%
友愛の森(路線バス停前)	10	1.8%	1	0.2%
那須郵便局	40	7.1%	3	0.5%
ダイユー那須高原店	243	43.0%	385	69.0%
コメリ那須高原店	15	2.7%	7	1.3%
那須ブックセンター	8	1.4%	4	0.7%
カワチ薬品那須高原店	15	2.7%	46	8.2%
もみの木医院	49	8.7%	22	3.9%
セブンイレブン那須池田店	20	3.5%	7	1.3%
アイビーデンタルクリニック	5	0.9%	4	0.7%
那須高原歯科	14	2.5%	13	2.3%
合計	565	100.0%	558	100.0%

■目的地側停留所



(5) デマンド実利用者集計 (令和2年度)

1) 利用回数と実利用者数

■利用回数

運行区域	利用区分	黒田原行き	広谷地行き	合計
北部	ア(一般)	59	138	197
	イ(高齢者・小中学生)	2266	1653	3,919
	ウ(障害者等)	971	475	1,446
	小計	3,296	2,266	5,562
南部	ア(一般)	0		0
	イ(高齢者・小中学生)	520		520
	ウ(障害者等)	640		640
	小計	1,160		1,160
合計		4,456	2,266	6,722

■実利用者数

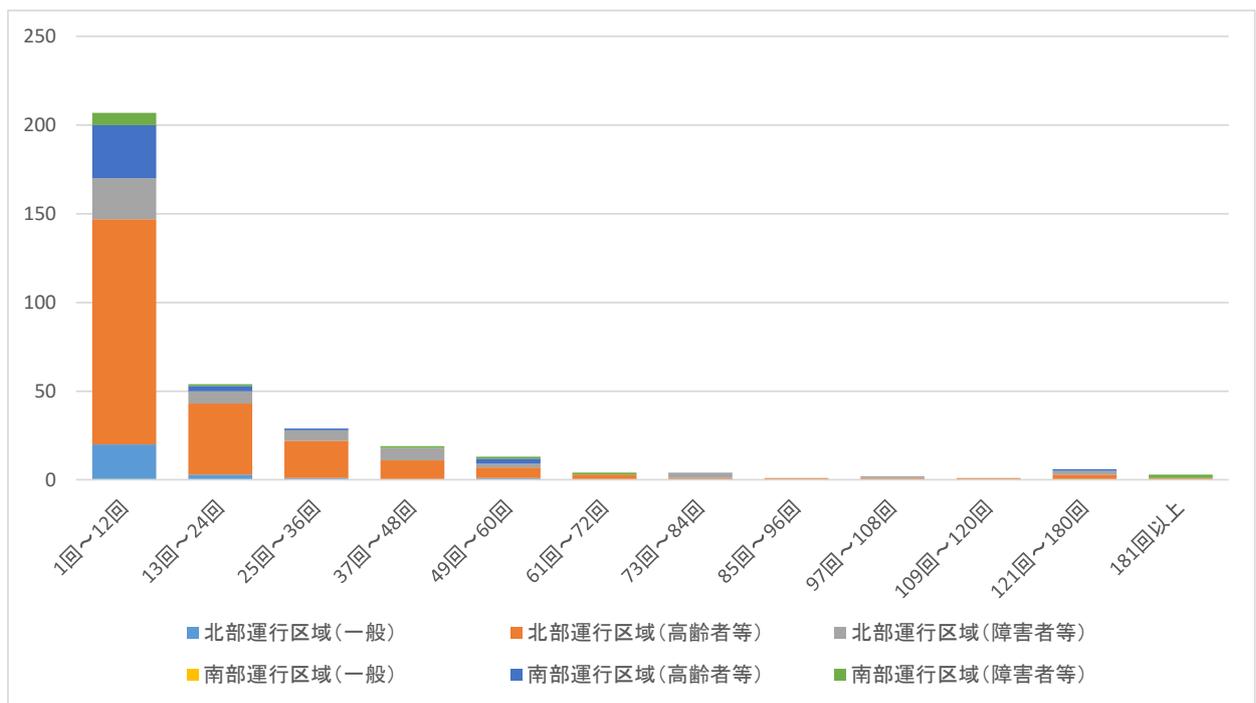
運行区域	利用区分	黒田原行き	広谷地行き	合計
北部	ア(一般)	19	18	25
	イ(高齢者・小中学生)	149	130	216
	ウ(障害者等)	44	28	51
	小計	212	176	292
南部	ア(一般)	0		
	イ(高齢者・小中学生)	38		38
	ウ(障害者等)	13		13
	小計	51		51
合計		263	176	343

■1人当たり利用回数

運行区域	利用区分	黒田原行き	広谷地行き	合計
北部	ア(一般)	3.1	7.7	7.9
	イ(高齢者・小中学生)	15.2	12.7	18.1
	ウ(障害者等)	22.1	17.0	28.4
	小計	15.5	12.9	19.0
南部	ア(一般)	-		-
	イ(高齢者・小中学生)	13.7		13.7
	ウ(障害者等)	49.2		49.2
	小計	22.7		22.7
合計		16.9	12.9	19.6

2) 年間利用回数の度数分布

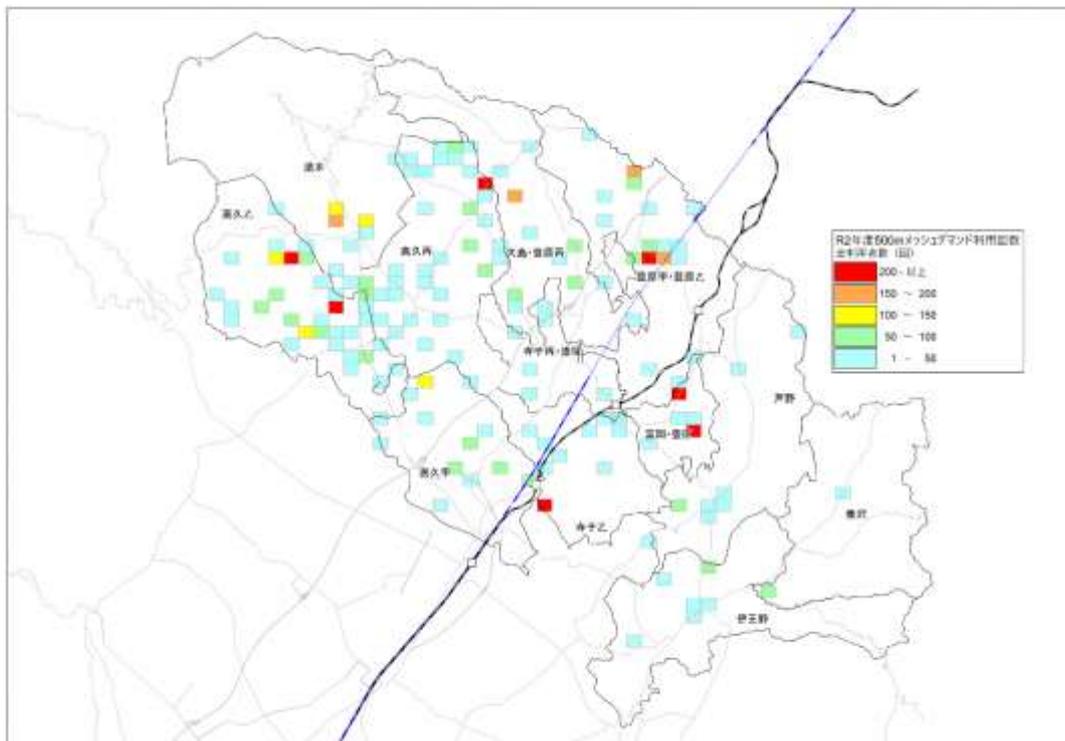
年間利用回数	人数								合計
	北部運行区域				南部運行区域				
	ア(一般)	イ(高齢者・小学生)	ウ(障害者等)	小計	ア(一般)	イ(高齢者・小学生)	ウ(障害者等)	小計	
1回～12回	20	127	23	170		30	7	37	207 (60.3%)
13回～24回	3	40	7	50		3	1	4	54 (15.7%)
25回～36回	1	21	6	28		1		1	29 (8.5%)
37回～48回		11	7	18			1	1	19 (5.5%)
49回～60回	1	6	2	9		3	1	4	13 (3.8%)
61回～72回		3		3			1	1	4 (1.2%)
73回～84回		1	3	4				0	4 (1.2%)
85回～96回		1		1				0	1 (0.3%)
97回～108回		1	1	2				0	2 (0.6%)
109回～120回		1		1				0	1 (0.3%)
121回～180回		3	2	5		1		1	6 (1.7%)
181回以上		1		1			2	2	3 (0.9%)
合計	25	216	51	292		38	13	51	343 (100.0%)



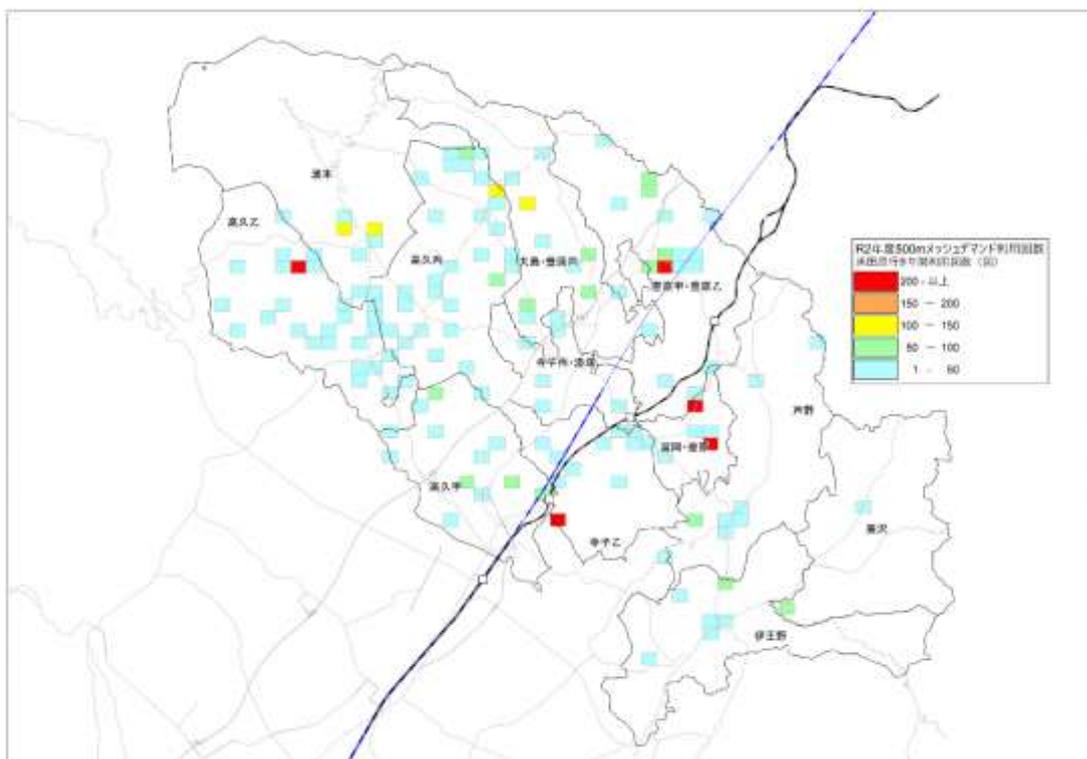
3) 利用者の分布 (500m メッシュ)

① 利用回数

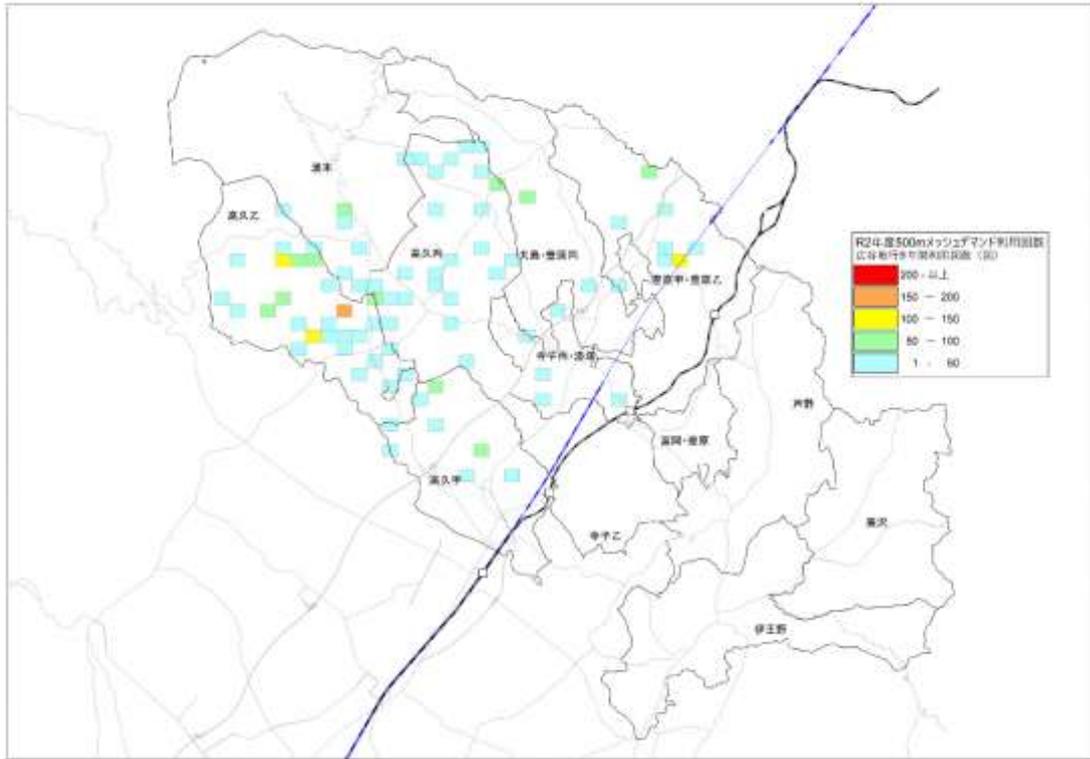
a. 全数



b. 黒田原行き

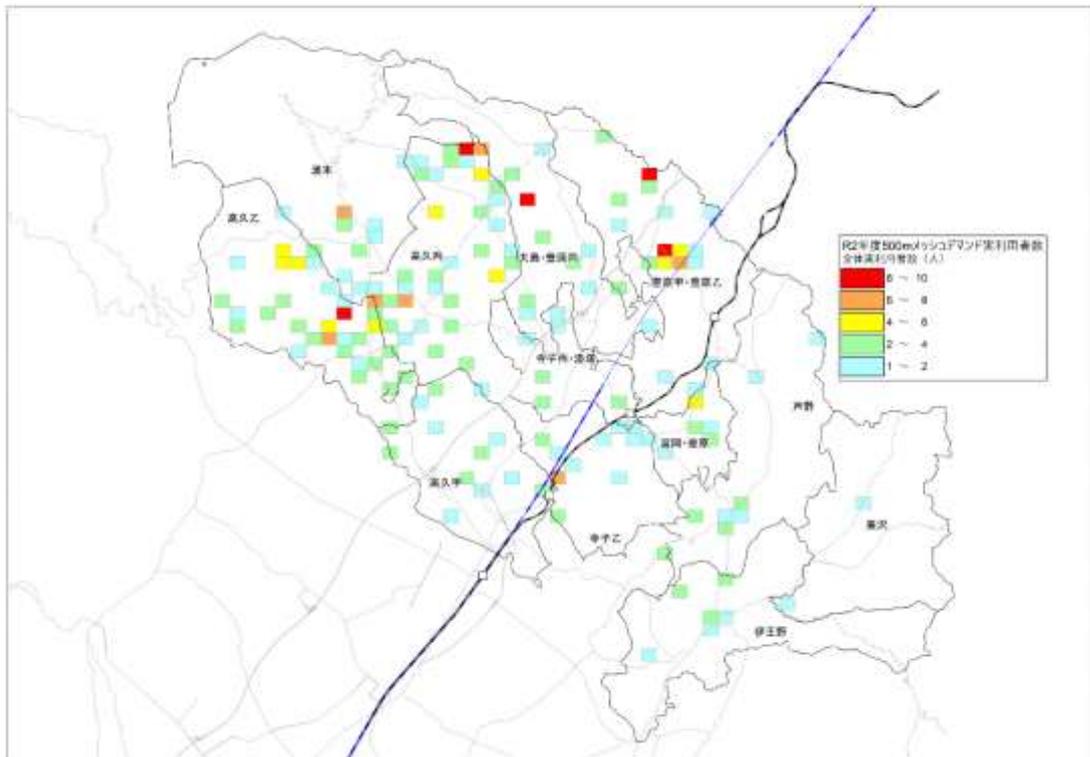


c. 広谷地行き

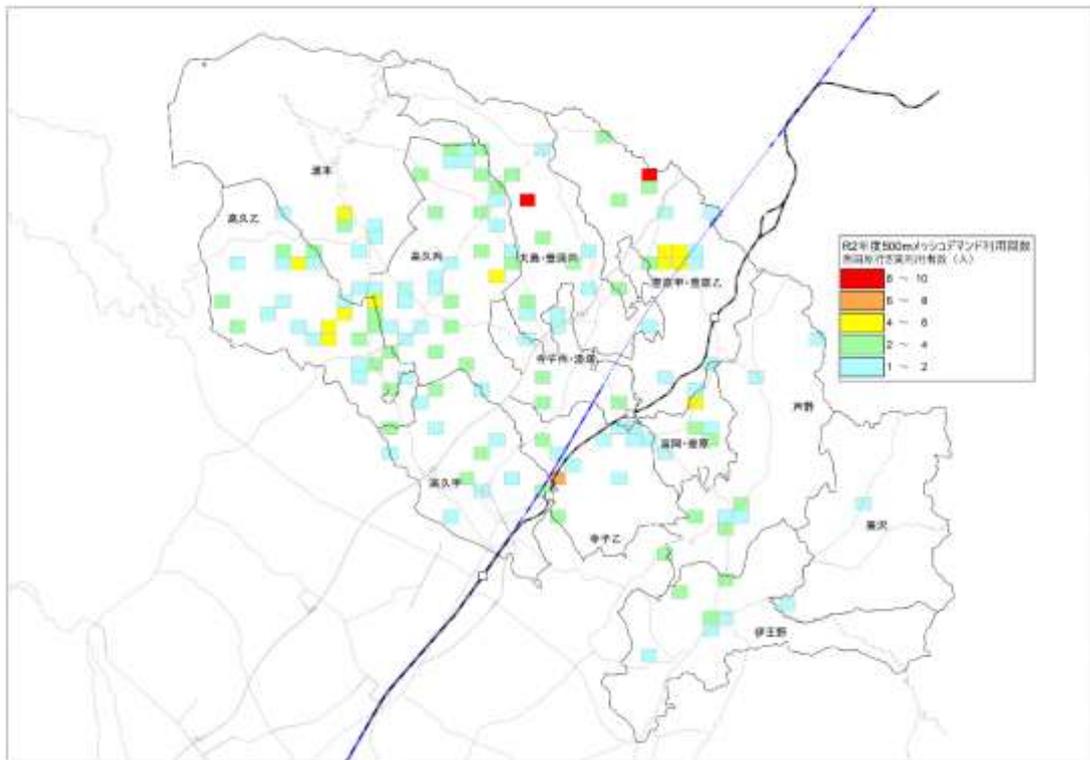


② 実利用者数

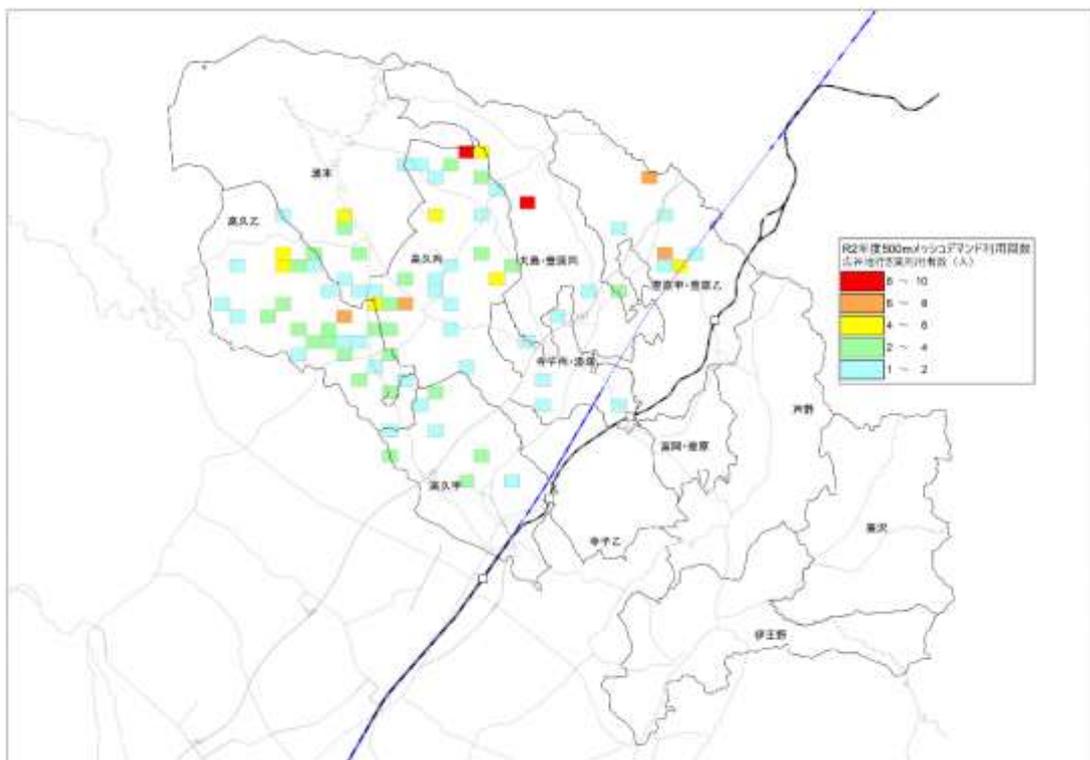
a. 全数



b. 黒田原行き

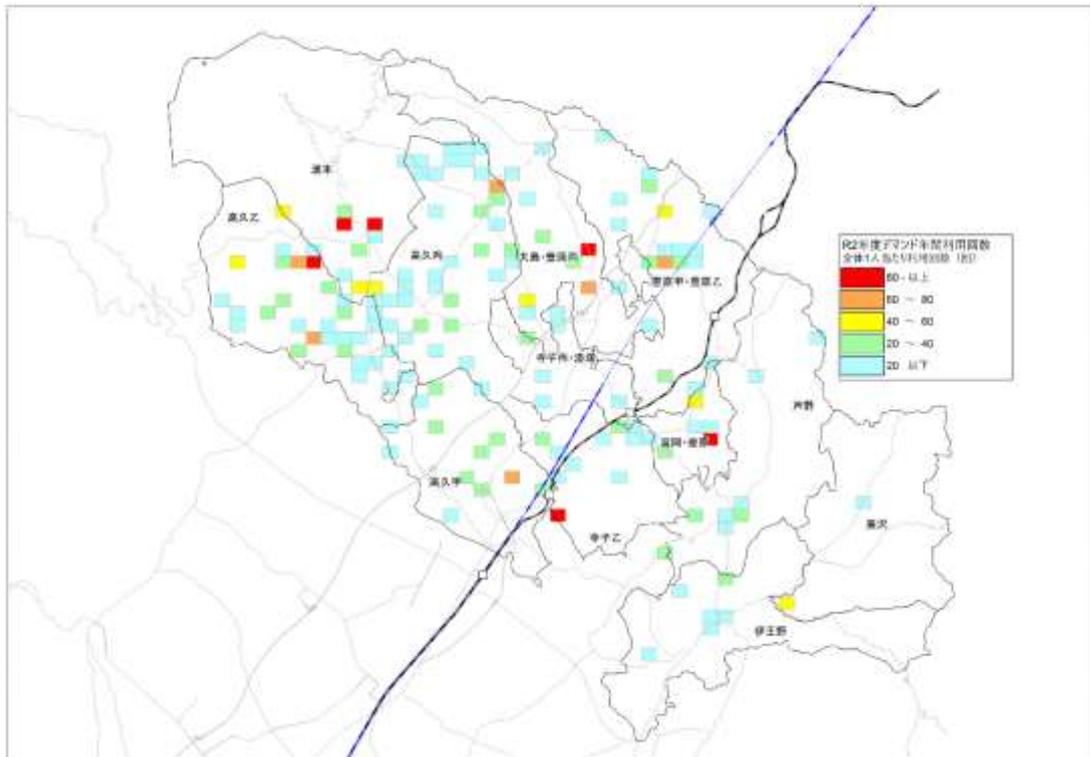


c. 広谷地行き

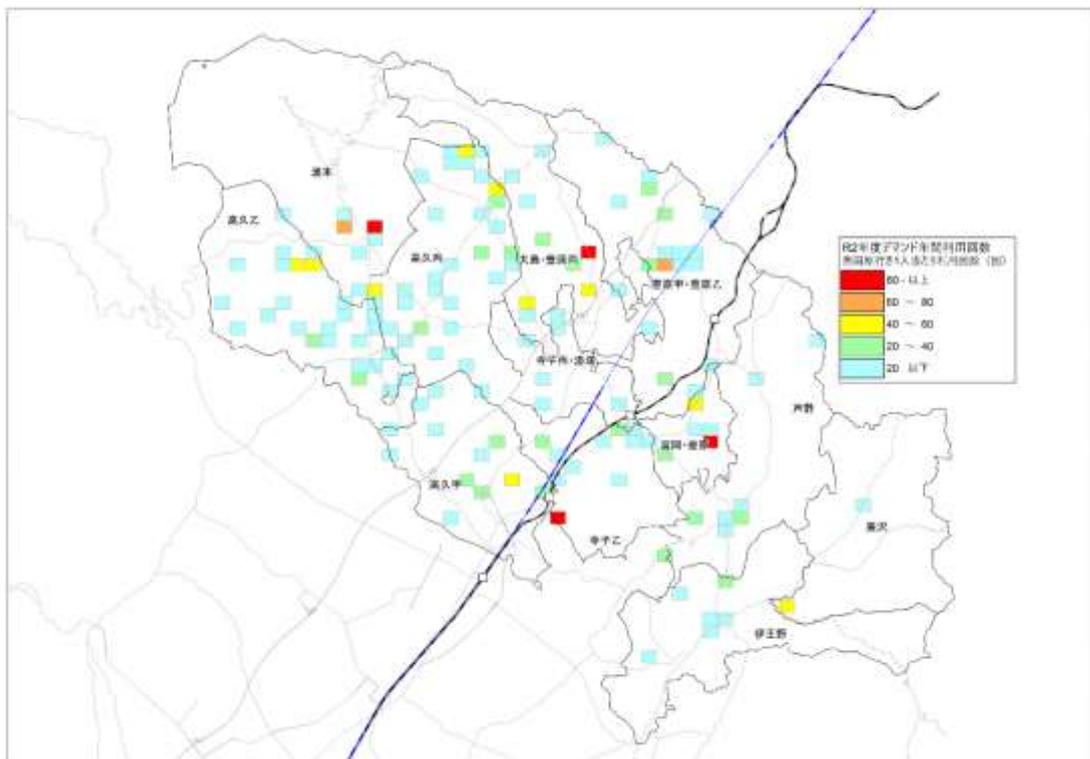


③ 1人当たり利用回数

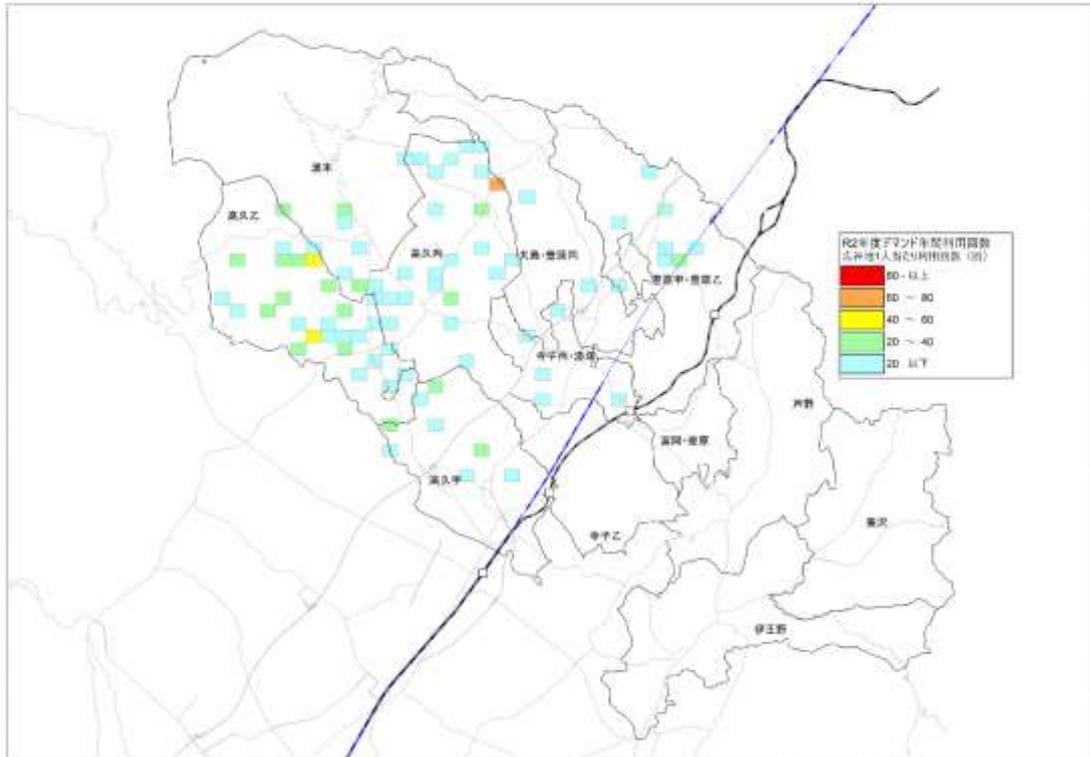
a. 全数



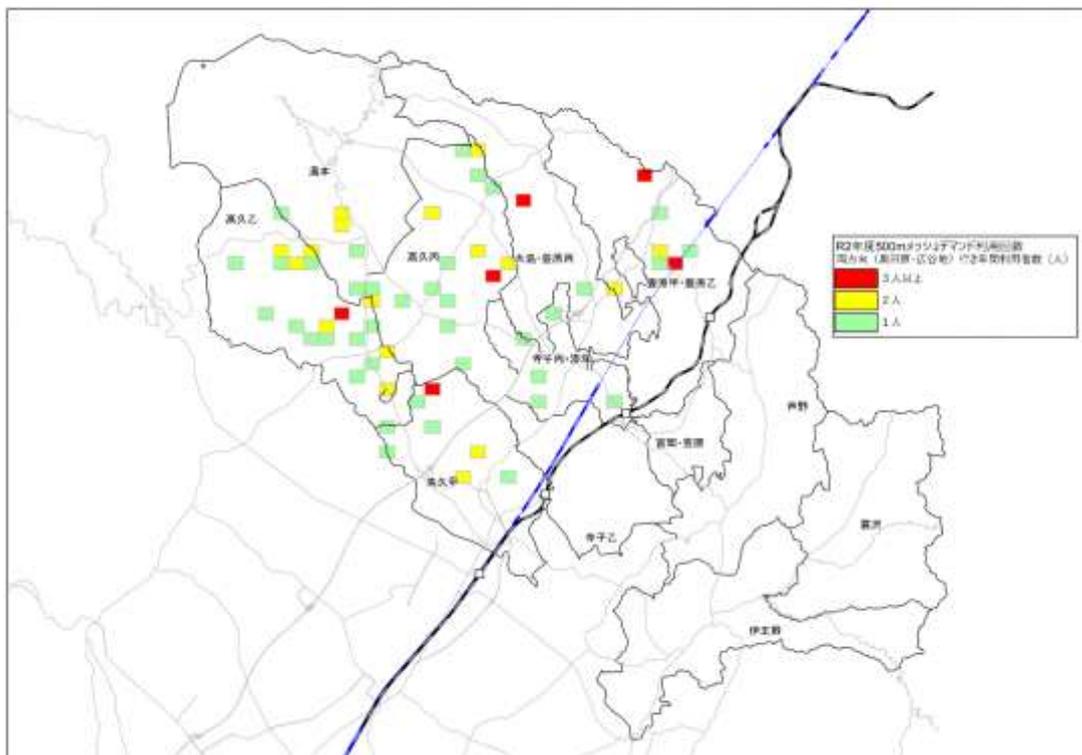
b. 黒田原行き



c. 広谷地行き

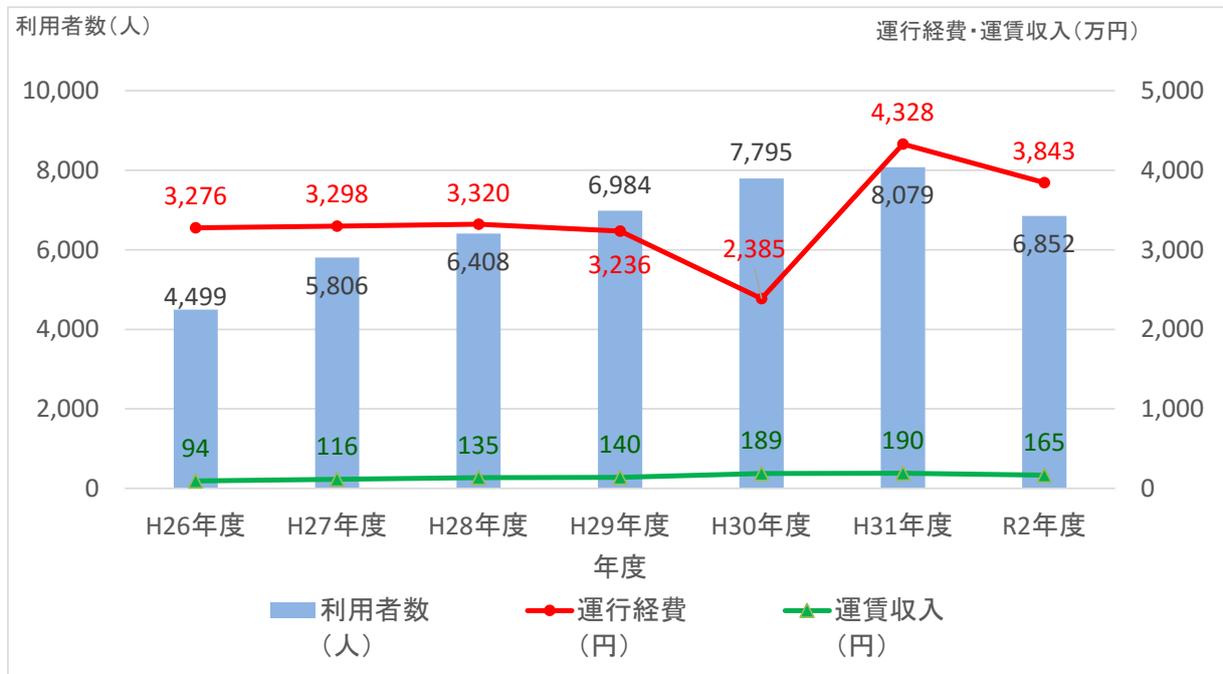


④ 両方向（黒田原行き・広谷地行き）利用者数



(6) 運行収支

令和2年度（事業年度：令和元年10月～令和2年9月）の運行経費は3,843万円、運賃収入が165万円であり、収支率は4%となっています。1人1乗車当たりの運行経費は5,609円、1人1乗車当たりの運賃収入は209円となっています。



※年度は事業年度（前年10月から当年9月）

※運賃収入は補助金を含まない数値

1.2.6 公共交通に関する財政負担額

令和2年度的那須町の公共交通に関する財政負担額は、3,147万円であり、前年度の1,340万円よりも大幅に増加しています。特別地方交付税交付額の減少が主な原因となっています。

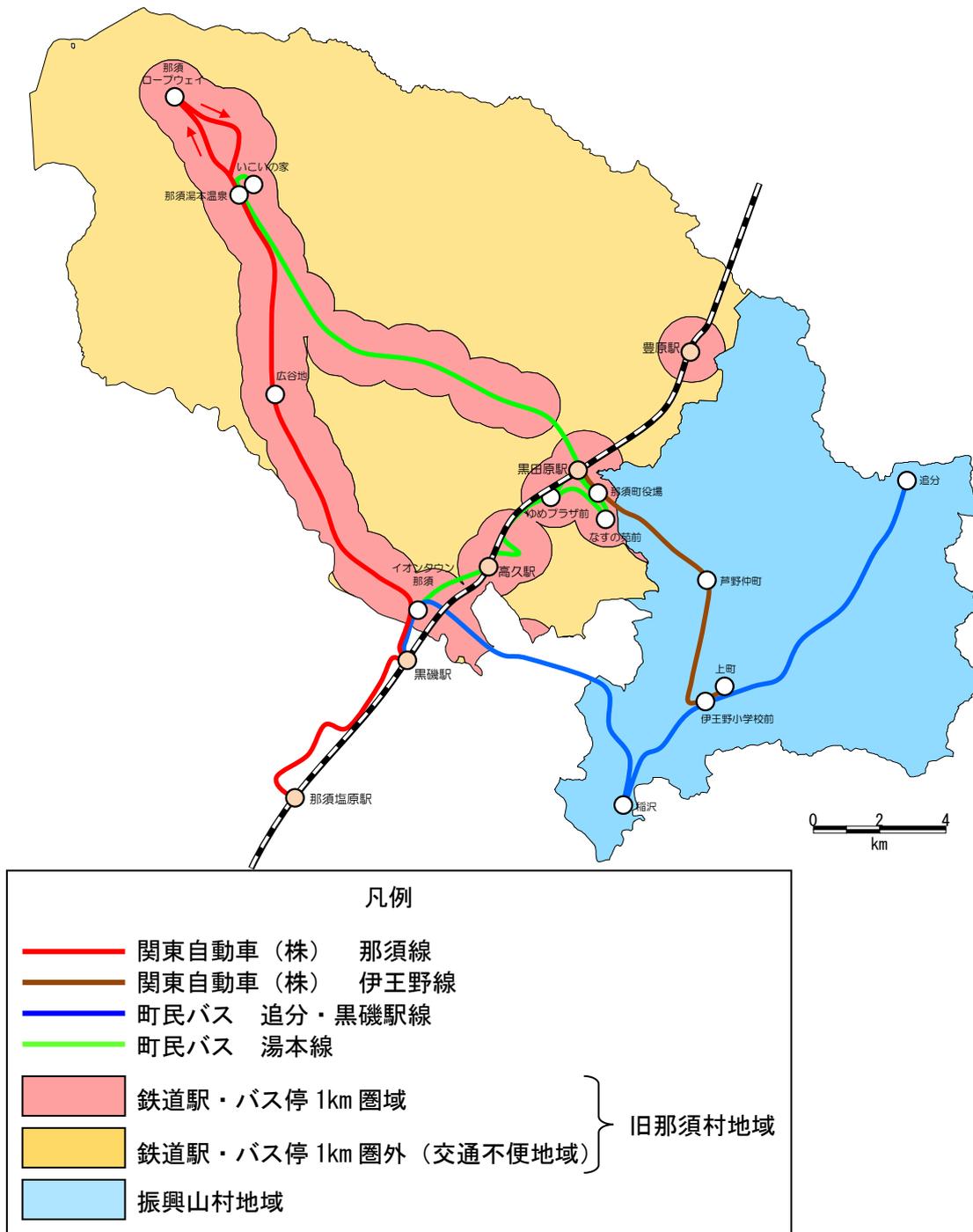
単位:円

	路線		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
民間バスへの補助金	那須線 (那須塩原駅～)	国庫補助額	858,500	3,230,500	7,533,500	12,158,500
		県補助額	2,261,000	6,705,000	8,840,500	12,746,000
		那須町負担額	908,176	2,249,881	846,336	459,634
		那須塩原市負担額	494,324	1,224,619	460,664	304,662
	那須線 (黒磯駅～)	県補助額			2,519,000	
		那須町負担額			3,257,463	
		那須塩原市負担額			268,019	
		赤字額			6,045,303	
		経常費用			11,199,603	
					5,154,300	
	伊王野線	那須町負担額	5,345,000	6,673,000	8,125,000	8,239,000
		赤字額	5,345,605	6,673,015	8,125,820	8,239,527
		経常費用	8,556,217	9,715,745	9,451,304	9,872,985
経常収益		3,210,612	3,042,730	1,325,484	1,633,458	
町民バス		那須町負担額	23,222,152	23,505,477	22,574,470	23,261,338
		運行経費(委託料)	22,586,400	22,586,400	22,938,096	24,275,680
		運行経費(その他)	2,607,488	2,859,642	1,457,597	1,092,960
		運行収入	1,971,736	1,940,565	1,821,223	2,107,302
デマンド型乗合交通		那須町負担額	28,571,987	31,693,597	33,906,268	29,561,545
		赤字額	28,497,700	31,640,000	33,835,366	29,507,279
		運行経費(補助)	35,470,000	39,832,800	45,113,066	39,975,979
		運行経費(その他)	74,287	53,597	70,902	54,266
		運行収入	1,673,300	2,055,800	1,940,700	1,897,700
	国庫補助額	5,299,000	6,137,000	9,337,000	8,571,000	
車両購入 (車両2台、 運賃箱2台)	町民バス	那須町負担額			6,953,474	
那須町 負担額合計		那須町負担額	58,047,315	64,121,955	75,663,011	61,521,517
コロナ交付金					302,300	
特別地方 交付税交付額	地方バス		39,174,000	50,926,000	62,260,000	30,049,000
那須町負担額 (特交控除後)			18,873,315	13,195,955	13,403,011	31,472,517

1.2.7 公共交通空白地域

本町の公共交通空白地域を「バス停から1km圏外かつデマンド型乗合交通運行地域外」と定義した場合、デマンド型乗合交通は町内全域を運行していることから、町内に公共交通空白地域はありません。ただしデマンド型乗合交通は隔日の運行であるため、運行日以外の日には「バス停から1km圏外」の地域が公共交通空白地域となります。

参考として、バス停1km圏域の面積は約131km²（町域の35%）で、バス停1km圏域の人口は7,751人（総人口の31%）となっています。



地域名	面積	人口	バス停1km 圏域内面 積	バス停1km 圏域内圏 域人口	バス停1km 圏域外圏 域人口	バス停1km 圏域人口 比率	バス停1km 圏外人口 比率
湯本	55.0	1,223	18.8	417	806	2%	3%
高久乙	32.1	2,618	6.4	524	2,094	2%	8%
高久丙	34.6	2,941	9.8	830	2,111	3%	9%
大島・豊原丙	34.7	1,504	1.9	81	1,423	0%	6%
豊原甲・豊原乙	39.6	1,588	3.9	155	1,433	1%	6%
寺子丙・漆塚	13.0	2,677	7.7	1,579	1,098	6%	4%
高久甲	27.8	3,731	16.0	2,149	1,582	9%	6%
寺子乙	21.1	3,221	9.0	1,379	1,842	6%	7%
富岡・豊原	8.7	1,060	4.3	522	538	2%	2%
芦野	36.6	1,469	7.3	294	1,175	1%	5%
伊王野	35.0	2,078	19.8	1,175	903	5%	4%
簗沢	34.0	569	12.2	204	365	1%	1%
総計	372.1	24,679	116.9	7,751	16,928	31%	69%

出典：人口は令和3年3月住民基本台帳人口、面積は平成27年国勢調査

1.2.8 福祉タクシー券の配布・利用実績

(1) 那須町福祉タクシー券助成事業について

重度心身障がい者または満年齢75歳以上の高齢者のみで構成されている世帯の方に、タクシー利用券を交付します。乗車1回につき8枚まで利用可能です。

※申請には印鑑と、障がい者の方は身体障害者手帳、療育手帳または精神障害者保健福祉手帳が、高齢者の方は地区民生委員の証明が必要です。

1) 利用条件

- ・身体障害者手帳をお持ちの方で1級および2級の方
- ・療育手帳をお持ちの方でA1、A2、およびAの方
- ・精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方で1級の方
- ・75歳以上の方のみの世帯

2) 助成額

利用券1枚700円

3) 交付枚数

障がい者1人、高齢者一世帯につき年度ごとに最高48枚交付

※利用券の申請をした月により交付枚数が異なります。

4) 利用できるタクシー会社

(有)黒田原タクシー

那須合同自動車(株)

黒磯観光タクシー(株)

藤交通(株)

(有)関東福祉車輛

(有)福祉ネットやわらぎ

(有)那須福祉サービス

那須塩原福祉タクシー

オレンジ福祉タクシー

塩原自動車(株)

福祉タクシー むとう

サクラタクシー

きんちゃん介護タクシー

(株)関東特殊

えにしタクシー
 (有)京橋タクシー
 ほっとステーション那須
 介護支援タクシードライブセンター たいよう

出典：那須町ホームページ

(2) 福祉タクシー券の利用実績

下表は、平成29年度から令和2年度の福祉タクシー利用実績を整理したものです。

総交付枚数は年々増加傾向にありますが、使用枚数は平成30年度以降減少しています。これについては新型コロナウイルス感染拡大が影響していると推察されます。

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
交付区分	高齢	757	788	867	860
	身体	185	174	169	176
	療育	29	31	27	27
	精神	13	15	14	17
総交付済数(冊)		984	1,008	1,077	1,080
交付可能残冊数(冊)		-349	-8	-77	-80
総交付枚数(枚)		45,056	45,296	48,108	49,752
総交付枚数円換算(円)		31,539,200	32,127,200	33,675,600	34,826,400
使用枚数(枚)		24,285	24,434	23,148	22,260
利用額(円)		16,998,100	17,099,420	17,213,150	16,655,230
当初予算額(円)		16,632,000	17,556,000	18,144,000	18,144,000

(3) 平成 29 年度 福祉タクシー券利用状況詳細

1) 分類別・地区別利用状況

平成 29 年度の利用人数・配布枚数は共に平成 24 年度の約 1.5 倍に増加しています。

利用枚数についても平成 29 年度は平成 24 年度に比べ増加していますが、一人当りの利用率は減少しています。

福祉タクシー券を利用可能人数は把握されていませんが、75 歳以上高齢者人口より推定すると、想定対象者数に対する利用者数の割合は全体で 36%程度となっています。この割合は他の地域に比べ湯本地区では高く、伊王野地区で低くなっています。

分類	地区	利用人数	配布枚数	利用枚数	利用率
高齢者	黒田原地区	315	14,408	8,764	60.8%
	高久地区	31	1,396	860	61.6%
	湯本地区	292	13,472	6,921	51.4%
	芦野地区	67	2,984	1,405	47.1%
	伊王野地区	48	2,256	1,197	53.1%
	不明	-	108	60	55.6%
	合計	753	34,624	19,207	55.5%
障害者	合計	227	10,452	5,047	48.3%
合計		980	45,076	24,254	53.8%
対H24増加率		148.5%	150.6%	139.7%	92.8%

【参考】平成 24 年度 福祉タクシー全地区利用状況

分類	地区	利用人数	配布枚数	利用枚数	利用率
高齢者	黒田原地区	145	6,328	4,026	63.6%
	高久地区	93	4,256	2,563	60.2%
	湯本地区	156	7,284	4,622	63.5%
	伊王野地区	75	3,516	1,755	49.9%
	合計	469	21,384	12,966	60.6%
障害者	黒田原地区	58	2,604	1,462	56.1%
	高久地区	47	2,040	1,061	52.0%
	湯本地区	63	2,880	1,254	43.5%
	伊王野地区	23	1,032	617	59.8%
	合計	191	8,556	4,394	51.4%
合計		660	29,940	17,360	58.0%

2) 対象者地区別利用率（※高齢者区分のみ）

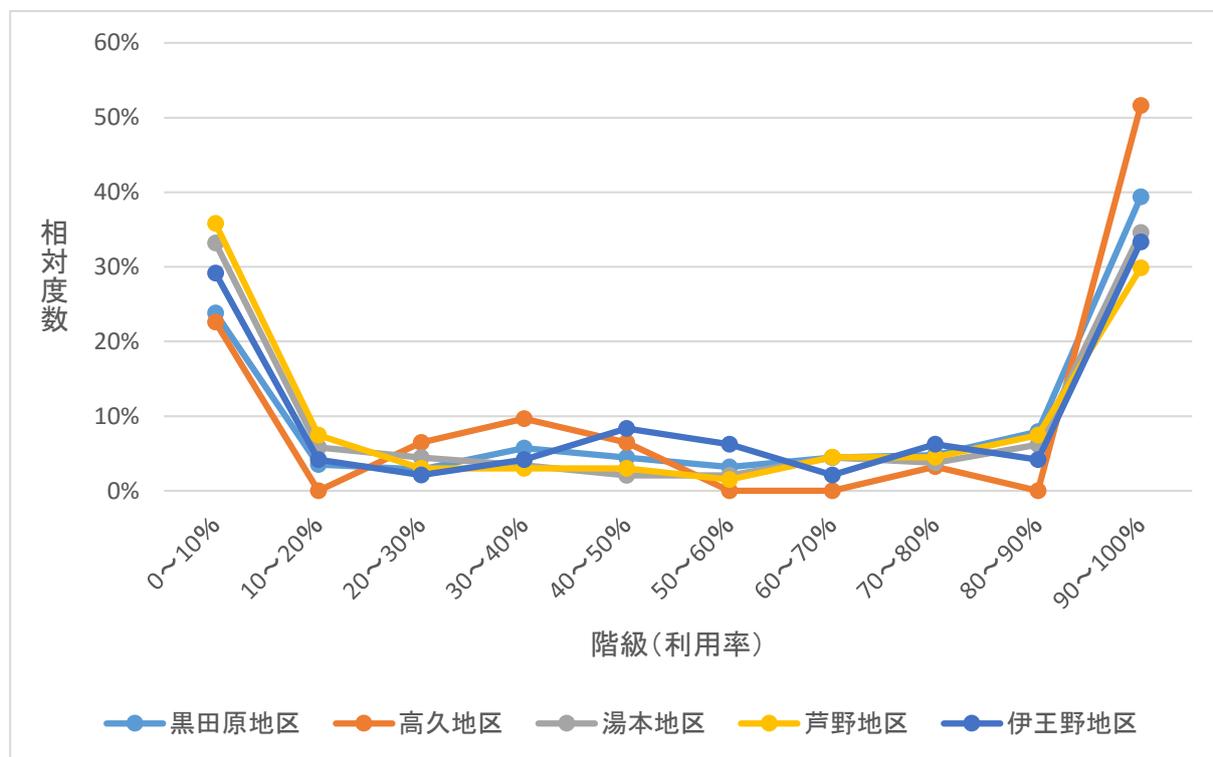
	①	②	②/①	③	④	④/③
地区名	H27 国勢調査 全人口	H27 国勢調査 75歳以上 人口	H27 国勢調査 75歳以上 人口割合	H27 想定 対象者数	H29 利用者数	対象者 利用率
黒田原・高久地区	11,392	1,890	16.6%	945	346	36.6%
湯本地区	7,676	1,268	16.5%	634	292	46.1%
芦野地区	2,576	480	18.6%	240	67	27.9%
伊王野地区	3,260	512	15.7%	256	48	18.8%
合計	24,904	4,150	16.7%	2,075	753	36.3%

※「③H27 対象者数」は、H28 那須町公共交通アンケート調査結果の「75 歳以上回答者に占める 1 人世帯・夫婦 2 人世帯回答者の割合=50%」より算出（②×50%）

3) 利用率の相対度数（※高齢者区分のみ）

利用者の「利用率」は2極化しており、全体で見ると「利用率0%~10%」が29%を、「利用率90%~100%」が37%を占めています。

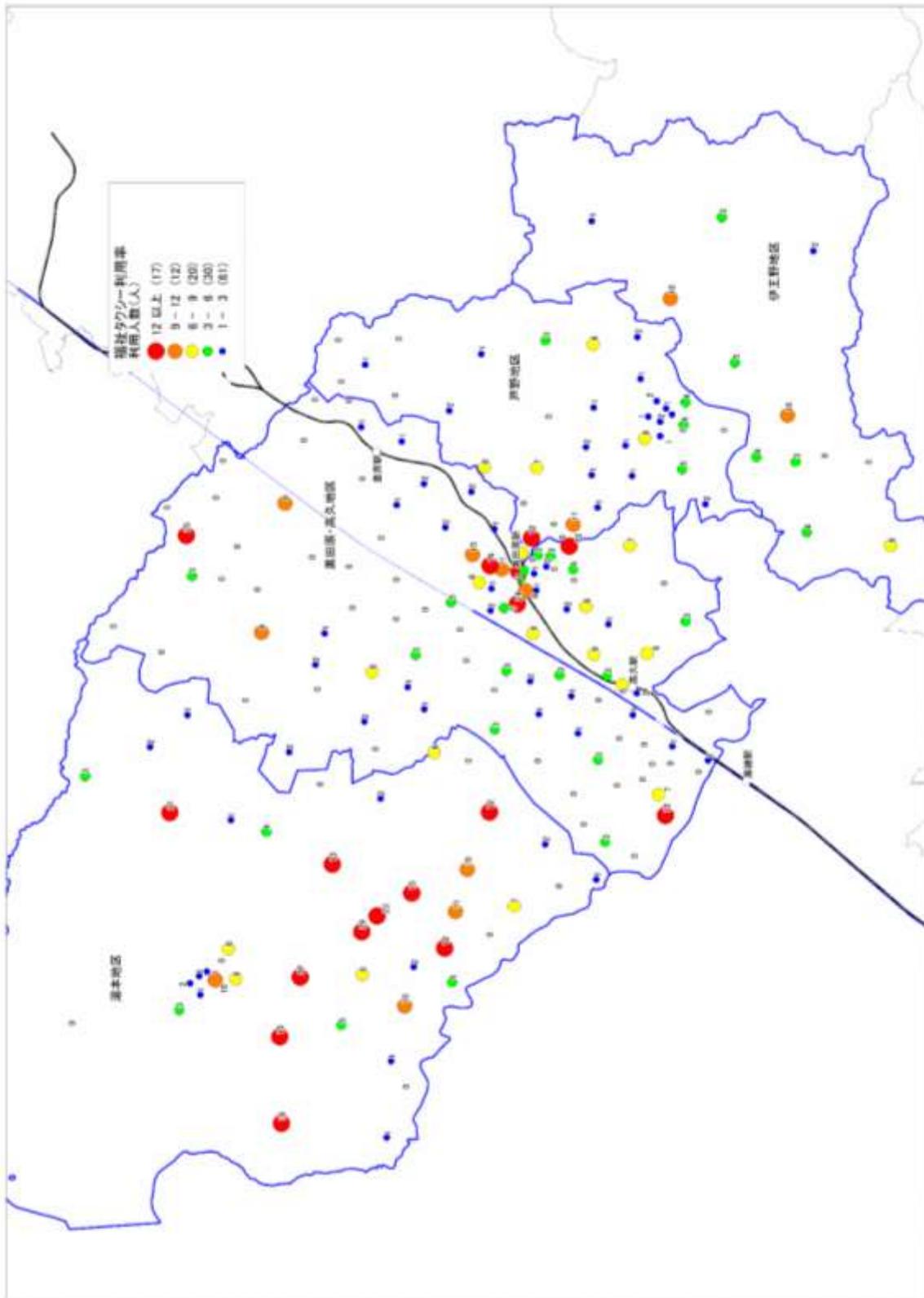
地区名 階級(利用率)	黒田原地区		高久地区		湯本地区		芦野地区		伊王野地区		合計	
	度数	相対 度数	度数	相対 度数	度数	相対 度数	度数	相対 度数	度数	相対 度数	度数	相対 度数
0~10%	75	23.8%	7	22.6%	97	33.2%	24	35.8%	14	29.2%	217	28.8%
10~20%	11	3.5%	0	0.0%	17	5.8%	5	7.5%	2	4.2%	35	4.6%
20~30%	9	2.9%	2	6.5%	13	4.5%	2	3.0%	1	2.1%	27	3.6%
30~40%	18	5.7%	3	9.7%	10	3.4%	2	3.0%	2	4.2%	35	4.6%
40~50%	14	4.4%	2	6.5%	6	2.1%	2	3.0%	4	8.3%	28	3.7%
50~60%	10	3.2%	0	0.0%	6	2.1%	1	1.5%	3	6.3%	20	2.7%
60~70%	14	4.4%	0	0.0%	13	4.5%	3	4.5%	1	2.1%	31	4.1%
70~80%	15	4.8%	1	3.2%	11	3.8%	3	4.5%	3	6.3%	33	4.4%
80~90%	25	7.9%	0	0.0%	18	6.2%	5	7.5%	2	4.2%	50	6.6%
90~100%	124	39.4%	16	51.6%	101	34.6%	20	29.9%	16	33.3%	277	36.8%
合計	315	100.0%	31	100.0%	292	100.0%	67	100.0%	48	100.0%	753	100.0%



※利用率(%) = 利用枚数 / 配布枚数

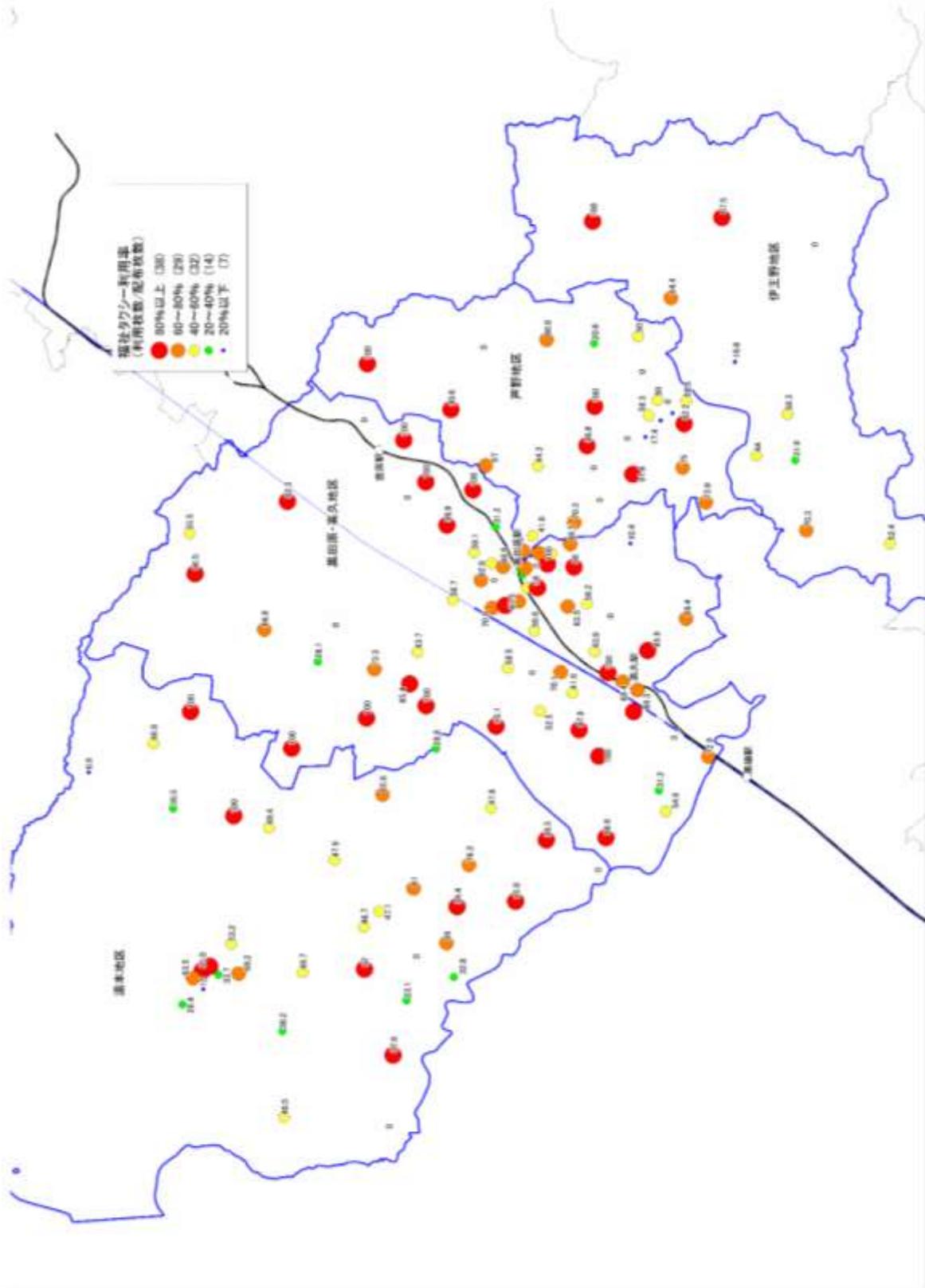
4) 町字別利用人数 (※高齢者区分のみ)

湯本地区における利用者の多さが目立っています。



5) 町字別利用率 (※高齢者区分のみ)

「郊外部の方が利用率が高い」等の顕著な傾向はみられません。



6) 町字別利用率内訳 (※高齢者区分のみ)

① 黒田原地区

地区名	人口	利用者数	交付枚数	使用枚数	利用率
音羽町1	182	11	444	305	68.7%
音羽町2	58	3	144	57	39.6%
音羽町3	78	0	0	0	0.0%
音羽町4	215	24	1072	703	65.6%
幸町1	129	13	604	146	24.2%
幸町2	48	3	144	90	62.5%
幸町3	192	9	324	188	58.0%
本町1	64	1	48	0	0.0%
本町2	42	2	96	96	100.0%
本町3	149	3	144	73	50.7%
相生町1	19	0	0	0	0.0%
相生町2	77	3	144	96	66.7%
相生町3	140	8	384	272	70.8%
新黒田	194	1	48	0	0.0%
新黒田住宅	70	0	0	0	0.0%
旧黒田	220	6	288	181	62.8%
前原	109	2	96	68	70.8%
前原団地	161	5	240	224	93.3%
上ノ原団地1	3	1	48	14	29.2%
上ノ原団地2	10	0	0	0	0.0%
上ノ原団地3	40	3	144	139	96.5%
法師畑	131	7	324	34	10.5%
上ノ原	381	13	624	415	66.5%
塩阿久津上	155	11	520	366	70.4%
小羽入	47	0	0	0	0.0%
立岩	49	1	48	48	100.0%
下川	280	6	288	162	56.3%
新小羽入	208	4	192	169	88.0%
よささ	109	2	96	61	63.5%
松ノ倉	75	2	96	95	99.0%
西田	85	1	48	15	31.3%
茶臼	203	10	480	284	59.2%
旗鉢	35	2	96	96	100.0%
上川	448	6	224	134	59.8%
西大久保	425	12	576	241	41.8%
黒田団地	101	14	668	348	52.1%
時庭	86	3	144	100	69.4%
落合	65	0	0	0	0.0%
田中	135	6	272	261	96.0%
前久保	53	1	48	0	0.0%
秋山沢	339	6	280	123	43.9%
狸久保	71	1	48	20	41.7%
東狸久保	62	3	144	101	70.1%
柏	206	3	144	144	100.0%
高久	137	2	88	61	69.3%
高久団地	43	6	288	200	69.4%
小島1	182	0	0	0	0.0%
小島2	86	5	240	105	43.8%

地区名	人口	利用者数	交付枚数	使用枚数	利用率
大島1	31	1	48	41	85.4%
大島2	110	2	96	96	100.0%
藤塩	44	0	0	0	0.0%
漆塚上	159	0	0	0	0.0%
漆塚下	130	3	140	82	58.6%
善和田	49	0	0	0	0.0%
中原	148	2	96	96	100.0%
山梨子	83	0	0	0	0.0%
大石	76	3	104	99	95.2%
羽原	114	2	64	0	0.0%
新田	78	1	40	21	52.5%
穂積	200	6	288	83	28.8%
戸能	65	1	48	48	100.0%
逃室1	88	0	0	0	0.0%
逃室2	88	0	0	0	0.0%
逃室3	84	0	0	0	0.0%
新逃室	42	0	0	0	0.0%
田島	118	6	248	182	73.4%
豊津	84	2	96	27	28.1%
千振	260	9	432	289	66.9%
千景園	32	1	48	0	0.0%
高津	78	0	0	0	0.0%
針生	135	5	240	141	58.8%
松沼	88	0	0	0	0.0%
吉田上	24	0	0	0	0.0%
吉田下	5	1	36	0	0.0%
柏台	126	0	0	0	0.0%
綱子	52	0	0	0	0.0%
常民夕狩	82	3	144	139	96.5%
新夕狩	170	25	1104	613	55.5%
慈生会	81	0	0	0	0.0%
夕狩	54	0	0	0	0.0%
黒木	6	0	0	0	0.0%
東観	218	9	368	303	82.3%
五十里	40	0	0	0	0.0%
七曲	40	0	0	0	0.0%
柏沼	60	0	0	0	0.0%
二枚橋	76	0	0	0	0.0%
トラピスト	38	0	0	0	0.0%
水原	52	0	0	0	0.0%
木戸	10	0	0	0	0.0%
成沢	75	1	48	0	0.0%
矢ノ目1	67	1	48	29	60.4%
矢ノ目2	52	2	96	96	100.0%
追田原	34	1	48	48	100.0%
弥次郎	21	2	96	96	100.0%
塩阿久津下	96	1	44	0	0.0%
合計	10260	315	14408	8764	60.8%

※人口は平成29年10月1日現在

② 高久地区

地区名	人口	利用者数	交付枚数	使用枚数	利用率
菱喰内	151	0	0	0	0.0%
桜久保	44	1	48	47	97.9%
後藤橋	25	0	0	0	0.0%
弓落	128	3	144	144	100.0%
廻り谷	50	1	36	35	97.2%
渡久保	25	0	0	0	0.0%
上瀬縫	31	0	0	0	0.0%
本郷1	94	0	0	0	0.0%
本郷2	99	1	48	47	97.9%
愛宕前	19	0	0	0	0.0%
あたごハイツ	178	0	0	0	0.0%
橋本町	35	2	48	35	72.9%
茅沼	47	0	0	0	0.0%
薄室	140	0	0	0	0.0%
丸山	152	0	0	0	0.0%
下瀬縫	133	1	48	0	0.0%
芦ノ又	61	0	0	0	0.0%
岡室	74	3	144	142	98.6%
筒地	38	0	0	0	0.0%
新高久	434	7	304	95	31.3%
新西原	215	12	576	315	54.7%
合計	2173	31	1396	860	61.6%

※人口は平成 29 年 10 月 1 日現在

③ 湯本地区

地区名	人口	利用者数	交付枚数	使用枚数	利用率	地区名	人口	利用者数	交付枚数	使用枚数	利用率
松子1	160	1	48	0	0.0%	旭町	87	10	436	147	33.7%
松子2	112	0	0	0	0.0%	東町	192	8	312	166	53.2%
松田	186	2	96	85	88.5%	那須高原	518	27	1188	591	49.7%
田代	273	7	336	322	95.8%	占勝園	171	8	384	266	69.3%
荻ヶ沢	125	0	0	0	0.0%	西町	207	15	720	261	36.3%
喰木原	268	11	528	446	84.5%	元湯町	34	2	96	61	63.5%
大日向	354	10	448	342	76.3%	奥那須	39	0	0	0	0.0%
広谷地	462	12	576	392	68.1%	湯本仲町	36	0	0	0	0.0%
守子	312	29	1392	651	46.8%	川向町	17	1	48	47	97.9%
伊藤台	305	8	372	324	87.1%	北条	170	2	96	63	65.6%
大同	482	12	548	262	47.8%	長南寺	55	0	0	0	0.0%
上半俵	194	10	432	100	23.1%	池田	680	13	624	299	47.9%
下半俵	217	2	96	0	0.0%	ロイヤルバレー	234	23	1080	509	47.1%
蕪中	83	4	192	63	32.8%	小深堀	87	4	192	95	49.5%
室野井	75	1	48	47	97.9%	一ツ縦	308	15	652	398	61.0%
宇田島	29	0	0	0	0.0%	大沢	493	21	992	382	38.5%
六斗地	34	1	8	0	0.0%	大深堀	53	1	48	48	100.0%
横沢	306	5	240	0	0.0%	北沢	36	2	96	45	46.9%
遅山町	331	16	744	361	48.5%	荻久保	69	1	48	48	100.0%
湯本本町	76	1	20	3	15.0%	大谷	311	3	144	10	6.9%
大町	18	1	48	46	95.8%	合計	8296	292	13472	6921	51.4%
見晴町	97	3	144	41	28.5%						

※人口は平成 29 年 10 月 1 日現在

④ 芦野地区

地区名	人口	利用者数	交付枚数	使用枚数	利用率
下芦野	138	0	0	0	0.0%
唐木田	40	4	176	103	58.5%
上野町	63	4	192	158	82.3%
川原町	66	0	0	0	0.0%
仲町上	50	1	48	0	0.0%
仲町中	56	2	96	10	10.4%
仲町下	49	2	96	4	4.2%
横町上	61	8	384	67	17.4%
横町下	71	1	48	0	0.0%
新道	42	1	24	0	0.0%
芦野団地	18	1	48	28	58.3%
新町上	63	1	44	0	0.0%
新町下	69	2	96	48	50.0%
大ヶ谷	15	2	96	48	50.0%
峯岸	71	1	48	48	100.0%
板屋	79	6	276	57	20.7%
高瀬	108	3	144	96	66.7%
寄居本郷	127	2	96	87	90.6%
明神	20	0	0	0	0.0%
三ヶ村	72	1	48	0	0.0%
豆沢	27	0	0	0	0.0%
山中	32	1	48	48	100.0%
寄居大久保	12	0	0	0	0.0%
中重	11	0	0	0	0.0%
白井	60	2	96	93	96.9%
吉ノ目	45	0	0	0	0.0%
上下田	87	7	320	142	44.4%
大平	35	1	48	0	0.0%
石住	90	6	288	193	67.0%
水塩大久保	71	0	0	0	0.0%
西坂	108	5	80	60	75.0%
黒川	44	2	96	71	74.0%
中の川	45	1	48	44	91.7%
合計	1945	67	2984	1405	47.1%

※人口は平成 29 年 10 月 1 日現在

⑤ 伊王野地区

地区名	人口	利用者数	交付枚数	使用枚数	利用率
下町	459	3	144	46	31.9%
上町	624	10	480	280	58.3%
上郷	125	5	240	40	16.7%
大和須	156	2	96	0	0.0%
梓	183	3	144	126	87.5%
蓑沢	195	10	472	304	64.4%
大畑	166	1	48	48	100.0%
睦家	95	0	0	0	0.0%
梁瀬	90	0	0	0	0.0%
沼野井	318	4	192	135	70.3%
稲沢	347	6	288	151	52.4%
東岩崎	164	4	152	67	44.1%
合計	2922	48	2256	1197	53.1%

※人口は平成 29 年 10 月 1 日現在

1.2.9 スクールバス

那須町では全ての小中学校にてスクールバスが運行されており、令和3年度は26台の車両が運用されています。スクールバスは登下校時以外に学校行事にも活用される他、休校日にも部活動を行う児童・生徒のために運行する場合があります。

(1) 車両台数（令和3年6月22日～）

No.	利用学校	定員	補助席	乗車予定人数	型式
1	東陽小（美野沢）	22	6	13	マイクロ
2	東陽小（伊王野A）	22	6	20	マイクロ
3	東陽小（伊王野B）	21	7	15	マイクロ
4	東陽小（伊王野C）	37	6	24	中型
5	東陽小（芦野A）	37		29	中型
6	東陽小（芦野B）	13		10	ハイエース
7	田代友愛小（A）那須中	37	6	23	中型
8	田代友愛小（B）那須中	41	20	56	中型
9	学びの森小（A）	37		31	中型
10	学びの森小（B）	37		21	中型
11	黒田原小（A）	37	8	28	中型
12	黒田原小（B）	21	7	13	マイクロ
13	那須中（大谷方面A）	42	18	42	大型
14	那須中（大谷方面B）	21	7	16	マイクロ
15	那須中（高久A）	21	7	15	マイクロ
16	那須中（高久B）	38	8	38	中型
17	那須中央中（黒田原）	33		23	中型
18	那須中央中（芦野コース）	37		14	中型
19	那須中央中（伊王野Aコース）	18	7	15	マイクロ
20	那須中央中（伊王野Bコース）	37	8	26	中型
21	那須中央中（美野沢Aコース）	14		8	ハイエース
22	那須中央中（美野沢Bコース）	22	6	10	マイクロ
23	那須高原小（那須小中A）	33	6	28	中型
24	那須高原小（那須小中B）	22	6	19	マイクロ
25	予備車	41	9		中型
26	予備車	33	7		中型

(2) 公費負担額

スクールバスに関する公費負担額について、令和2年度は年間約1.8億円でした。令和2年度の車両台数は26台であり、車両1台当たりの公費負担額は682万円でした。（※地方交付税措置あり）

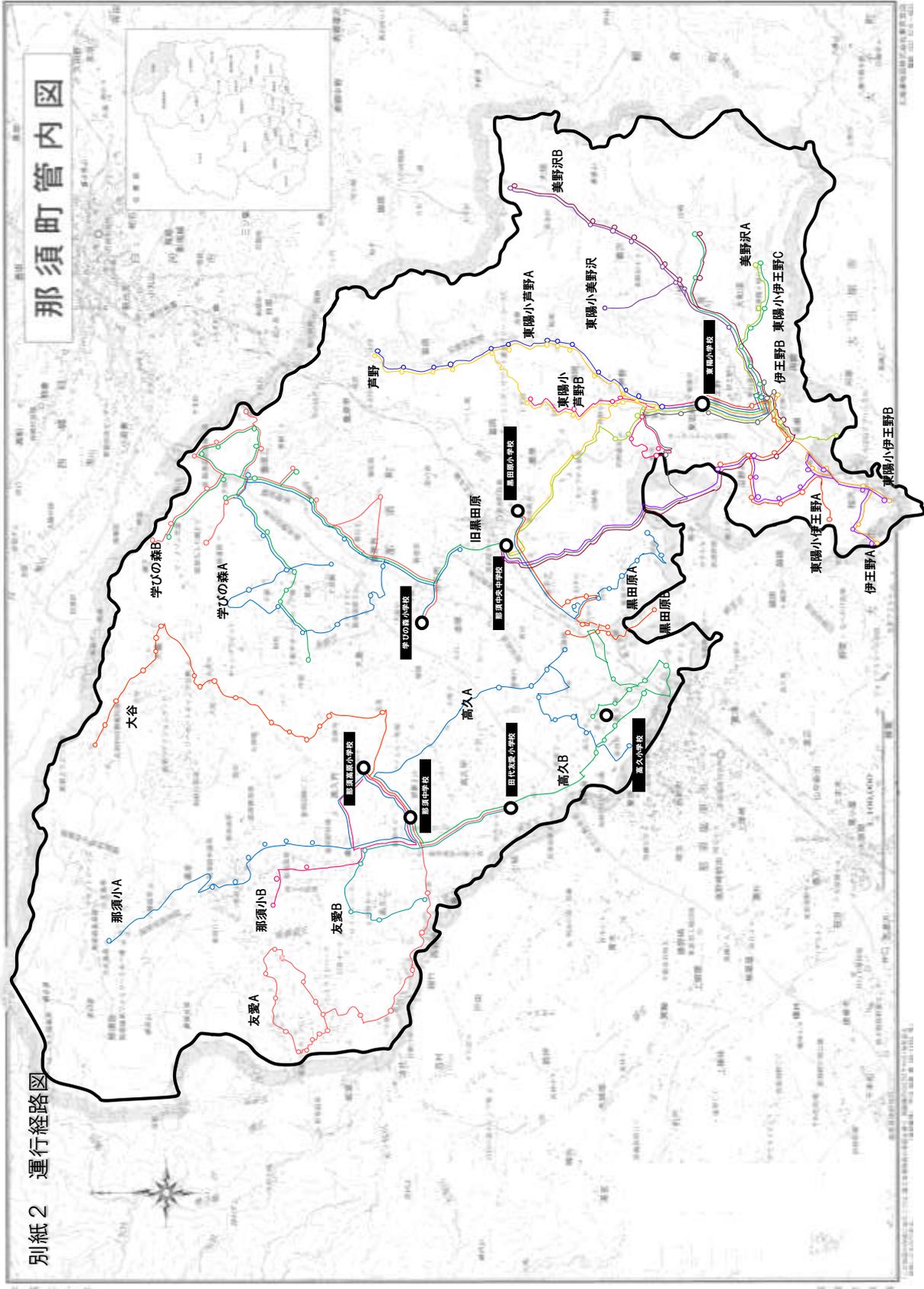
年度	小学校	中学校	合計
平成29年度	64,745,419	61,654,364	126,399,783
平成30年度	71,402,650	65,862,117	137,264,767
令和元年度	98,797,694	73,990,914	172,788,608
令和2年度	-	-	177,250,390

※令和2年度は合計金額のみ

(3) ルート一覧

利用学校	ルート	走行場所	登校便		下校1便		下校2便		下校3便		その他
			発	着	発	着	発	着	発	着	
東陽小	美野沢	追分～打尾木～吉野目～東陽小	7:15	7:50	15:25	16:00	16:20	16:55	18:05	18:40	水曜便15:00発
	伊王野A	沼野井～大秋津～伊王野車庫～東陽小	7:30	7:50	15:25	15:45	16:20	16:40	18:05	18:25	水曜便15:00発
	伊王野B	矢組2～沓掛～赤坂～東陽小	7:26	7:50	15:25	15:49	16:20	16:50	18:05	18:29	水曜便15:00発
	伊王野C	梓～大和須～伊王野支所前～東陽小	7:20	7:50	15:25	15:55	16:20	16:50	18:05	18:35	水曜便15:00発
	芦野A	山中～新町～東陽小	7:27	7:50	15:25	15:48	16:20	16:44	18:05	18:28	水曜便15:00発
	芦野B	白井～芦野支所～芦野温泉～東陽小	7:31	7:50	15:25	15:44	16:20	16:39	18:05	18:24	水曜便15:00発
田代友愛小	Aコース	あけぼの平～ハイランド入口～室野井～那須中学校～田代友愛小	7:13	7:58	15:20 月14:20	15:56 月14:56	16:10 水木 15:20	17:08 水木 16:08	18:00 4～9月 18:20	18:38 4～9月 18:58	下校2便B～Aコース 月・学年により時刻様々
	B	旧室井小～横沢～那須中学校～田代友愛小	7:30	7:58	15:20 月14:20	15:56 月14:56	16:10 水木 15:20	17:08 水木 16:08	18:00 4～9月 18:20	18:38 4～9月 18:58	
学びの森小	A	吉田～千景園～千振保育園前～田島～学びの森小	7:08	7:54	15:20 特別日課 14:30	16:04 特別日課 15:14	16:20 特別日課 15:30	17:04	18:10 10・3月 17:40	18:54 10・3月 18:24	
	B	綱子～七曲～夕狩～松沼～学びの森小	7:05	7:55	15:20 特別日課 14:30	16:11 特別日課 15:21	16:20	17:11	18:10 10～3月 17:40	19:01 10～3月 18:31	
黒田原小	A	松浦宅(寺子乙)～落合公民館前～グリーンハイツ公園前～黒田原小学校	7:20	7:50	15:25 月水 14:35		16:15 月15:25		18:15		11～2月の3便・17:40発・着時間不明
	B	鹿野宅前～高久駅前～柏岡地公園前～黒田原小学校	7:20	7:50	15:25 月水 14:35		16:15 月15:25		18:15		11～2月の3便・17:40発・着時間不明
那須中	田代友愛A	あけぼの平～ハイランド入口～室野井～那須中学校	7:13	7:48	16:45 水 15:05	17:27 水 16:08	10月・3月 18:00 4～9月 18:20	10月・3月 18:38 4～9月 18:58			B～Aコースや月・曜日により時刻様々
	田代友愛B	旧室井小～横沢～那須中学校	7:30	7:48	16:45 水 15:05	17:27 水 16:08	10月・3月 18:00 4～9月 18:11	10月・3月 18:38 4～9月 18:31			B～Aコースや月・曜日により時刻様々
	大谷方面	大谷やすらぎ前～大谷入口～パークションランド～那須高原小～那須中学校	7:15	8:00	16:45 月16:30	17:33 月17:13	4～10月 18:20 10、3月 18:00	4～10月 19:03 10、3月 18:43			水・15:05発 15:51着
	高久A	新西原～菱喰内～那須中	7:25	7:53	16:45 月16:30	17:14 月16:59	4～10月 18:20 10、3月 18:00	4～10月 18:49 10、3月 18:29			水・15:05発 15:34着・長期休業中の部活便あり
	高久B	高久中～芦ノ又～那須中			7:20	7:55	16:45 月16:30	17:20 月17:05	4～10月 18:20 10、3月 18:00	4～10月 18:55 10、3月 18:35	
	那須小中A	大丸温泉～那須小～那須中	7:20	7:50	16:45 月16:30	17:22 月17:02	4～9月 18:20 10、3月 18:00	4～9月 18:52 10、3月 18:32			水・15:05発 15:42着
	那須小中B	大丸温泉～那須小～那須中	7:20	7:50	16:45 月16:30	17:22 月17:02	4～9月 18:20 10、3月 18:00	4～9月 18:52 10、3月 18:32			水・15:05発 15:42着
	那須中央中	旧黒田原	中原公民館～ダム入口～二枚橋～七曲～那須中央中	7:15	8:00	16:20	17:12				
芦野コース		白井～寄居本郷～板屋～旧東陽小～那須中央中	7:25	8:01	16:20	17:19					
伊王野Aコース		矢組～稲沢～沼野井～那須中央中	7:20	8:00	16:20	17:00					
伊王野Bコース		伊王野支所前～伊王野車庫～東陽小学校～那須中央中	7:22	8:00	16:20	17:00					
美野沢Aコース		棚橋～芦野温泉～那須中央中	7:25	8:00	16:20	16:55					
美野沢Bコース	沓石～木下入口～山崎～那須中央中	7:22	8:00	16:20	16:56						
那須高原小	那須小中A	大丸温泉～那須小～那須中～那須高原小	7:20	7:55	15:15 水14:10	15:42 水14:37	16:55 水15:15	17:22 水15:42	4～9月 18:25 10、3月 18:05	4～9月 18:52 10、3月 18:32	月曜2便16:20発17:02着
	那須小中B	平和郷管理事務所～南ヶ丘牧場～那須中学校～那須小学校	7:35	7:56	15:15 水14:10	15:29 水14:24	16:55 月16:20	17:09 月16:46	4～9月 18:25 10、3月 18:05	4～9月 18:39 10、3月 18:19	
	大谷方面	大谷やすらぎ前～大谷入口～パークションランド～那須高原小	7:15	7:55	15:15	15:53	16:55 月16:20	17:33 月17:13	4～10月 18:25 10、3月 18:05	4～10月 19:03 10、3月 18:43	水・14:10発 14:46着 /15:15発 15:51着

那須町管内図



別紙2 運行経路図

1.2.10 高齢者サロン

那須町には概ね65歳以上の高齢者が気軽に集うことができる「生きがいサロン」をはじめ、社会福祉協議会やボランティア団体が運営する高齢者サロンが複数存在しています。令和3年度時点における開催状況は以下のとおりです。

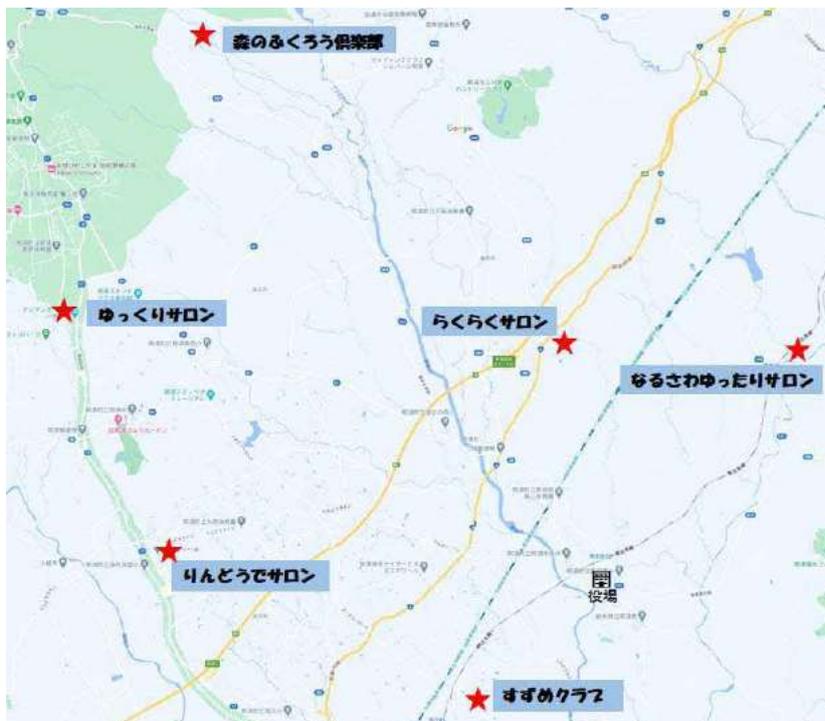
(1) 那須町生きがいサロン

生きがいサロンってどんなところ？

生きがいサロンとは、おおむね65歳以上の高齢者が気軽に集うことができる建物等のスペースで、介護予防や健康づくり、趣味の活動などを行う、地域交流の場となるところです。

町では、地域住民等が主体となった「地域交流の場」が、各地区に開設されるよう、地域住民等の地域活動を支援しています。

「最近外出が減ってきたなあ」「一人暮らしで寂しいなあ」という方は、気軽にご連絡ください。また「時間に余裕があるからお手伝いしたいなあ」という方も是非ご連絡ください。



出典：那須町保健福祉課資料

■那須町生きがいサロン一覧

サロン名	場所	開催日	開催時間	参加費等	活動内容等
ゆっくりサロン	湯本	毎週 月～金曜日	10時～16時	年会費:個人3,000円、 家族5,000円 ランチ:会員500円、一 般600円 その他実費負担あり 送迎要相談	健康体操、編物、習 字、エコクラフト、レ ザークラフト、手織り、 そば打ち体験、カラオ ケなど
なるさわ ゆったりサロン	成沢地区 集落センター	毎月 第4水曜日	10時～13時	参加費:200円	健康運動、体操、輪 投げ、ペンタク、食事 会など
すずめクラブ	りぼーる・たなか	毎週 月曜日・ 金曜日	9時～17時	会費:500円	健康麻雀 ランチ提供あり
りんどうで サロン	高久乙	毎週 水曜日	10時～14時	会費:300円 (昼食代含む)	ストレッチ&体操、脳 トレ、料理、囲碁、合 唱、手芸、ゲーム、お しゃべり会、野外活動 など
らくらくサロン	那須まちづくり 広場内	毎週 木曜日	10時～14時	参加費:100円(初回 300円) 送迎1チケット(600円/ 往復)	ウォーキング、健康体 操、輪投げ、大人の ぬりえ絵、ゲーム(オ セロやトランプなど)、 家事(掃除・料理な ど)の学習、円滑なコ ミュニケーションスキ ルなど
森のふくろう 倶楽部	相鉄那須別荘内 白雲台	毎週 火曜日 水曜日	9時半～12 時半	参加費:500円(お茶・ 菓子代含む)その他実 費負担あり	健康体操、絵手紙教 室、唄歌、エンディン グノート、フラワーア レンジメント「江戸しぐ さ」講座、アフタヌーン ティーなど

※令和3年4月現在

※らくらくサロンは休止中

(2) 地区社協主体のふれあいルーム等

名称(地区社協名)	開催場所	開催日	時間	内容	開催状況
師津原地区サロン(黒田原)	上ノ原公民館	第2、4水曜日	10時～12時	体操・脳トレ等	▲
旧黒田地区ふれあいルーム(黒田原)	旧黒田公民館	第1木曜日	13時半～15時	体操・イベント	▲
田中地区おしゃべりサロン(田中)	りぼーる・たなか	第2、4金曜日	9時半～12時	体操・ゲーム等	▲
滝の野本地区茶話会(高久)	滝の野本地区集落センター	15日開催	13時半～15時	茶話会・映画鑑賞等	令和2年度2回
本郷地区茶話会(高久)	本郷公民館	不定期	不定期	茶話会	▲
弓落地区茶話会(高久)	弓落公民館	不定期	不定期	茶話会	▲
田代地区ふれあいルーム(田代)	大同集落センター	不定期	不定期	体操・輪投げ等	▲
「炬ばた」ふれあいルーム(田代)	田代地区構造改善センター	第2、4金曜日	10時～12時	レクリエーション・体操等	▲
室野井地区ふれあいルーム(室野井)	横沢公民館	不定期	不定期	輪投げ・体操等	▲
湯本地区ふれあいルーム(湯本)	高原公民館	不定期	不定期	体操・茶話会等	▲
高原地区サロン(湯本)	高原地区構造改善センター	第4火曜日	10時～12時	体操・茶話会等	▲
池田地区ふれあいルーム(池田)	池田地区農村センター	不定期	不定期	体操・イベント	▲
大沢地区健康セミナー(大沢)	旧大谷保育園	第2、4木曜日	10時～12時	体操・茶話会等	▲
大島地区ふれあいルーム(大島)	大島地区コミュニティセンター	第2、4木曜日	10時～12時	体操・脳トレ等	▲
千振地区ふれあいルーム(遼室)	千振公民館	第3水曜日	10時～12時	体操・ゲーム等	▲
なるさわゆったりサロン(成沢)	成沢地区集落センター	月末火曜日	10時～12時	体操・食事会等	▲
芦野地区ふれあいルーム(芦野)	芦野公民館	第3火曜日	10時～11時	体操	令和3年度2回
寄居地区ふれあいルーム(寄居)	寄居地区集落センター	第4水曜日	10時～11時半	体操・レクリエーション等	▲
富岡地区ふれあいルーム(富岡)	富岡地区集落センター	第3木曜日	10時～12時	体操・茶話会等	▲
伊王野地区ふれあいルーム(伊王野)	旧伊王野小学校体育館	月1回程度	10時～11時	ニュースポーツ体験等	令和2年度3回 令和3年度4回
東岩崎地区ふれあいルーム(伊王野)	池ヶ谷氏宅	月1回程度	不定期	茶話会	×
美野沢地区ふれあいルーム(美野沢)	養沢生活改善センター	不定期	不定期	茶話会	▲
稲沢地区ふれあいルーム(稲沢)	稲沢地区ふれあいルーム	不定期	不定期	体操・茶話会	▲

※開催地区にお住まいの方が対象となります。

※開催日時と内容については令和元年度のものになります。

※開催状況▲：新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度から現在までの間、開催できていない。

※開催状況×：新型コロナウイルス感染症の影響により、解散するとの報告あり。

※令和3年8月現在

(3) ボランティア等主体のサロン

ふれあいルーム等の名称(地区社協名)	開催場所	開催日	時間	内容	開催状況
手話サロン	みんなの居場所ゆっくりサロン内	月2回	不定期	手話での交流	△
サンタサロン	サンタ食堂内	毎週土曜日	10時～15時	茶話会等 ※カラオケも楽しめるが休止	△

※町内在住の方であれば、どなたでも参加できます。

※開催状況△：新型コロナウイルス感染症の状況を見て開催。

※令和3年8月現在

2. 上位関連計画

上位・関連計画として、以下の計画を対象に概要（交通関連記載事項）を整理しました。

上位・関連計画	計画期間
(1) 第7次那須町振興計画	基本構想：平成28年度～令和7年度 基本計画：前期 平成28年度～令和2年度 後期 令和3年度～令和7年度
(2) まち・ひと・しごと創生・総合戦略	計画期間：令和2年度～令和6年度
(3) 那須町都市計画マスタープラン	基準年次：令和2年度 中間年次：令和12年度 目標年次：令和22年度
(4) 八溝山周辺地域定住自立圏共生ビジョン	令和元年度～令和5年度
(5) 那須地域定住自立圏共生ビジョン	令和2年度～令和6年度
(6) 那須地域定住自立圏地域公共交通網形成計画	平成30年度～令和4年度
(7) 第4期那須町地域福祉計画・地域福祉活動計画	令和3年度～令和7年度
(8) 第2次那須町環境基本計画（改訂版）	令和3年度～令和7年度
(9) 那須町観光振興基本計画	平成29年度～令和3年度

2.1 第7次那須町振興計画

項目	内容
計画期間	基本構想：平成28年度～平成37年度 計画期間：前期 平成28年度～平成32年度 後期：令和3年度～令和7年度
交通体系の整備の方針	<p>【基本方針】</p> <p>01 国内外からの誘客促進</p> <p>⑧地域間交流の拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ○那須高原・黒田原・芦野・伊王野などの町内の観光拠点を結ぶ広域観光周遊ルートの形成・強化を図ります。 ○インバウンド観光推進のため、二次交通の整備充実を図ります。 <p>02 公共交通の整備</p> <p>①路線バス運行支援と町民バスの運行</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域の生活の足である民間バス路線について、事業者と連携し、路線維持に努めます。 ○町民バスの運行については、既存公共交通機関とのアクセスや通勤通学等の住民ニーズを的確に捉え、運行ダイヤの工夫に努めます。 <p>②デマンド型乗合交通の運行</p> <ul style="list-style-type: none"> ○高齢者などの交通手段の確保を図るため、町内を広範囲にカバーするデマンド型乗合交通の運行を行うとともに、他の交通機関とのネットワーク整備を進め、更なる利便性向上を目指します。 <p>③那須高原の渋滞対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ○那須高原の渋滞緩和と、観光客の周遊性向上、環境負荷の軽減を図るため、那須高原パークアンドバスライド社会実験の結果を踏まえ、交通情報の提供等による渋滞対策を推進します。 <p>④JR宇都宮線の利便性向上への取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ○JR宇都宮線の白河駅までの延伸要望活動を行い、運行本数の増加による利便性の向上を目指します。

2.2 まち・ひと・しごと創生・那須町総合戦略

項目	内容
計画期間	令和2年度～令和6年度
基本的な視点	<p>【視点1】人口減少の克服と地域経済の活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> ①那須町に住み、働き、豊かな生活を送りたい人の希望を実現する。 ②若い世代の就労・結婚・子育ての希望を実現する。 ③地域の課題を解決する。 <p>【視点2】まち・ひと・しごとの創生と好循環の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> ①地域経済の活性化、産業の高付加価値等による「しごとの創生」 ②地方就労の促進や移住定住の促進等による「ひとの創生」 ③安心できる暮らしの確保や町のコンパクト化、広域連携等による「まち創生」
交通体系の整備の方針	<p>【戦略目標1】産業振興による活力ある地域戦略</p> <p>インバウンド観光の受け入れ態勢整備として、二次交通の整備を加速化させ、外国人観光客がストレスなく町内を周遊する環境を整える。</p> <p>【戦略目標2】「那須」の魅力を最大限活用した地域戦略</p> <p>町内にある2つの道の駅について、情報発信機能や交通ハブ機能を強化するとともに、インバウンド対応も強化していく。</p> <p>【戦略目標4】安心で確かな暮らしを営む地域戦略</p> <p>町民バス、デマンド型乗合交通等の利用により、外出困難地域や買い物難民を解消する。</p>

2.3 那須町都市計画マスタープラン

項目	内容
計画期間	基準年次：令和2年度 中間年次：令和12年度 目標年次：令和22年度
計画の基本方針	<p>(1) 土地利用計画の確立</p> <p>(2) 交通ネットワークの構築</p> <p>(3) 居住環境・都市基盤の整備</p> <p>(4) 環境保全と有効活用</p> <p>(5) 安全の確保</p> <p>(6) 観光・レクリエーションの拠点形成支援</p>
都市施設整備の基本構想・基本計画	<p>公共交通ネットワーク等</p> <p>道路網とともに、バス・鉄道などの公共交通とのネットワークを考慮した交通網の形成を図るものとします。</p> <p>(1) 町民バス。鉄道駅周辺等</p> <p>生活交通として、町民バス、デマンド型乗合交通、民間路線バス、那須高原観光周遊バス、生活及び広域交通として鉄道による公共交通網が形成されている。</p> <p>今後これらの運行を維持するとともに、土地利用や拠点形成の動向・方針と整合させながら、公共交通ネットワーク形成を図る。</p> <p>また、湯本地区・那須高原地区における観光活動支援や居住地としての利便性向上のため次のような方策を検討。</p> <p>1) 民間バス路線は、事業者と連携し、路線維持に努め、町民バスについては、既存公共交通機関とのアクセスや、通勤通学等の住民ニーズを的確に捉え、路線や運行ダイヤの工夫に努めます。</p> <p>2) 那須高原地区の渋滞解消と観光客の周遊性向上、環境負荷の軽減を図るため、様々な渋滞対策の結果を踏まえ、課題を抽出し、地域連携による新たな交通体系の構築を検討します。</p> <p>3) 首都圏からの高速バスについては、広域的な観光動線を観光振興の軸であるとともに、本町の魅力を知ってもらうことで移住・定住の誘導への波及効果が期待される軸として有効活用を図る。</p>

2.4 八溝山周辺地域定住自立圏共生ビジョン

項目	内容
計画期間	令和元年度～令和5年度
取組	<p>【生活機能の強化】 保健医療、福祉、教育、産業振興、環境、防災消防、その他</p> <p>【結びつきやネットワークの強化】 地域公共交通、インフラ整備に関する要望活動等、圏域内の交流促進、文化・芸術等の連携</p> <p>【圏域マネジメント能力の強化】 人材育成、外部からの人材確保、コンピュータシステムの共同利用等、地域人材の活用</p>
公共交通 関連	<p>地域公共交通は「結びつきやネットワークの強化に係わる政策分野」に位置付けられていて、取組方針や事業などは以下のとおりとなります。</p> <p>【取組方針】 圏域内住民の移動手段の確保と利便性の向上を図るため、地域公共交通の維持・確保や整備など、県境、市町境を越えた運行可能な形態の検証、検討を行う必要があることから、圏域全体における地域公共交通について調査研究等を行います。特に、バス事業については、路線バスの近隣市町への相互乗り入れや、市町間における路線バスの乗り継ぎの強化などが喫緊の課題となっていることから、運行可能な形態の検証、検討を行っていきます。</p> <p>【事業】 広域的な地域公共交通の研究事業として、路線バスの相互乗り入れ、市町間における路線バスの乗り継ぎの強化など、運行可能な形態の検証と検討します。</p>

2.5 那須地域定住自立圏共生ビジョン

項目	内容
計画期間	令和2年度～令和6年度
取組	<p>本圏域の将来像を実現するため、重点テーマを「地域内のエネルギー・食料等の自給構造の確立」と「他地域との差別化による交流人口・定住人口増」に設定します。</p> <p>【地域内のエネルギー・食料等の自給構造の確立】</p> <p>地域内のエネルギー・食料等の地産地消</p> <p>地域住民が中心となって、地域内で人材・資源・資金が循環する仕組みの創設</p> <p>【他地域との差別化による交流人口・定住人口増】</p> <p>本圏域の観光資源および交通拠点施設（新幹線駅、高速 IC 等）を活用した交流ネットワークの構築</p> <p>観光戦略、公共交通根とワークの拡充、地域プロモーション等</p>
公共交通 関連	<p>地域公共交通は「結びつきやネットワークの強化に係わる政策分野」に位置付けられていて、取組方針や事業などは以下となります。</p> <p>【目指すべき方向性】</p> <p>地域内外の往来を活発化し、日常生活圏の拡大や利便性の向上を図るためのバス路線の再編等の支援、その他の地域公共交通サービスの提供等に向けた連携を図ります。</p> <p>【形成協定】</p> <p>公共交通のネットワーク化を図り、利用者の利便性を向上させることにより、公共交通の利用を促進し、圏域内の交流の活性化を図ります。</p> <p>【事業】</p> <p>那須地域定住自立圏の公共交通をネットワーク化し、圏域内の交流の活性化を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共交通マップの作成 ・路線により異なるバス停名称の統一 ・バス路線番号の設定 <p style="text-align: right;">等</p>

2.6 那須地域定住自立圏地域公共交通網形成計画

項目	内容
計画期間	平成30年度～令和4年度
基本方針	<ul style="list-style-type: none"> (1) 2市2町の行政界を越えた「通勤」「通学」「通院」「買物」に利用できる公共交通網の形成。 (2) 来訪者の「観光」「ビジネス」はもちろん、温泉等への住民の気軽な「おでかけ」にも利用できる公共交通網の形成。 (3) いつまでも安心して「定住」できる環境を支える持続可能な公共交通網の形成。
課題	<ul style="list-style-type: none"> (1) 幹線系統の確保・維持 (2) シームレスな公共交通体系の実現 (3) 行政界を越えた移動ニーズへの対応 (4) 持続可能なフィーダー交通への転換とタクシーの確保・維持 (5) バス・タクシーの利便性向上による需要喚起
計画目標	<ul style="list-style-type: none"> (1) 広域拠点及び生活拠点へのシームレスな公共交通網を実現。 <ul style="list-style-type: none"> 1) 幹線区間サービス目標の設定と達成に向けた事業展開 2) 対象路線の運賃体系の見直し 3) 共通乗車券の発行 (2) 地域住民だけでなく来訪者にとっても「分かりやすい公共交通」を実現し、新たな人の流れをつくる。 <ul style="list-style-type: none"> 1) 那須地域公共交通マップの作成・配布 2) バス停名称の統一 3) バス路線番号の設定 4) バスのりば案内板の設置 5) 行政界を越え観光地間を結ぶ路線運行 (3) 持続可能な公共交通基盤を構築。 <ul style="list-style-type: none"> 1) 民間バス路線の利用促進支援 2) タクシーの利用促進支援

2.7 第4期那須町地域福祉計画・地域福祉活動計画

項目	内容
計画期間	令和3年度～令和7年度
基本方針	基本目標Ⅰ 方針2 移動支援の拡充及び住宅確保の支援
現状と課題	本町の公共交通は、JR及び町民・民間路線バスが運行されていますが、運行本数や路線本数が少ない状況にあり、その改善に向けてデマンド型乗合交通の充実が図られてきました。しかし、車がないと生活が困難な今日、高齢者や障がい者に限らず、移動が困難な方は増加傾向にあります。デマンド型乗合交通等のさらなる利用の向上を図るとともに、新たな移動手段の確保に向けた取り組みが望まれます。
町の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> (1) 移動困難者や日常生活に必要な交通手段を確保するため、デマンド型乗合交通の利便性の向上を図ります。 (2) 高齢者や障がい者を対象としたデマンド型乗合交通等の利用促進のために説明会を実施します。 (3) NPO法人や福祉事業者に対し、福祉有償運送の実施を支援します。 (4) 条件を満たした高齢者や障がい者等に、町営住宅の優先入居を実施します。 (5) 地域住民などのボランティアが移動支援に参画しやすい環境づくりを行います。
社会福祉協議会や民間団体の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> (1) デマンド型乗合交通の利用促進に参画します。 (2) ボランティア・NPO等の活動により、移動支援の取り組みに参加・協力します。
住民の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> (1) デマンド型乗合交通を利用し、改善点を提案します。 (2) ボランティアを通じて、移動支援の取り組みに参加・協力します。

2.8 第2次那須町環境基本計画（改訂版）

項目	内容
計画期間	令和3年度～令和7年度
課題	交通渋滞の緩和と公共交通機関や自転車の利用促進
環境基本方針・目標	<p>環境目標3 快適で健やかに暮らせるまち</p> <p>(1) 生活環境の保全</p> <p>那須高原では季節的に交通渋滞が発生しており、交通渋滞の緩和に向けた施策を推進するとともに、自動車による周辺環境への影響を低減するための対策を推進します。</p> <p>5) 道路交通対策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・那須高原の渋滞緩和と観光客の周遊性向上、環境負荷の低減を図るため、パークアイランドバスライド社会実験の結果を踏まえ、交通情報等による渋滞対策を推進します。 ・那須町地域公共交通網形成計画に元好き、那須町にあった持続可能な公共交通システムを構築するとともに、公共交通機関の利用促進を図ります。 <p>環境目標5 環境への負荷が少なく地球にやさしいまち</p> <p>(1) 地球温暖化対策の推進</p> <p>温室効果ガス排出量の削減に向けた取り組みを推進します。</p> <p>1) 温室効果ガス排出量削減対策の推進</p> <p>公共交通機関や自転車の利用を促進します。</p>

2.9 那須町観光振興基本計画

項目	内容
計画期間	平成 29 年度～令和 3 年度
那須町の概要	<p>【交通】</p> <p>交通は JR 東北本線、JR 東北新幹線、東北自動車道、国道 4 号、同 294 号が基幹的なアクセスの基盤となっています。中心市街地黒田原の活性化や芦野・伊王野方面への玄関口として、また、高齢社会における公共交通の重要性から、その利活用を考える必要があります。</p> <p>バスによるアクセスでは、高速バス那須・塩原号運行されていますが、その他の交通手段は那須塩原市からの路線バス、レンタカーとなっており利便性はよくありません。また、那須野が原の域内交通(二次交通)のシステムが未整備で、アクセス交通手段と域内公共交通手段への乗り換えなどの利便性は低いものがあります。</p> <p>交通アクセスでは、土日・祝日の道路混雑が激しく、道路交通運用対策(情報対策)が必要と考えられます。新たな交通システムの導入の検討と、総合的な渋滞緩和対策が大きな課題となっています。</p>
施策展開	<p>国内外からの誘客促進</p> <p>(2) 外国人観光客誘致の促進</p> <p>数多くの地域資源と交通の利便性などを向上し、海外に向けた情報発信を強化する。外国人観光客が不便を感じることなく町内を周遊・滞在できる環境を整えます。</p> <p>(4) 観光交流拠点の整備促進</p> <p>公共交通機関と連携し、黒田原地域を芦野・伊王野地域への旅の玄関口として位置づけます。</p> <p>(8) 地域間交流の拡大</p> <p>那須高原・黒田原・芦野・伊王野などの町内の観光拠点を結ぶ広域観光周遊ルートの形成・強化を図ります。</p> <p>国内・国外からの観光誘客推進のため、二次交通の整備充実を図ります。</p>

3. 既定計画の検証

那須町地域公共交通網形成計画について、策定時における地域公共交通の課題、基本方針、目標、事業は以下のとおりです。

■既定計画策定時の「那須町が抱える地域公共交通の課題」

①幹線バスは観光需要への対応を目的に比較的高い運行頻度が保たれているが、幹線バス停へのアクセス手段が不十分であることなどから町民が過度に自動車に依存せざるを得ない状況にあり、町民の足として有効に活用されていない。観光資源を活かした活力あるまちづくりに向け、幹線バスを軸とした持続的な公共交通体系の構築が必要。

②鉄道・幹線バスとデマンド型乗合交通の組合せで通院・買物する場合、乗り継ぎ回数が多く、乗り継ぎにおける物理的・時間的なバリアも存在している。住みやすいまちづくりに向け、乗り継ぎ利用の利便性向上が必要。

③町民の地域公共交通に対する認知度が低く、特定の人への利用に留まっている。また観光客に対する公共交通情報の提供も十分とは言えない。安心して過ごし暮らせるまちづくりに向け、公共交通ネットワークをわかりやすく知らせる方策づくりが必要。



■既定計画の基本方針

①交通軸（鉄道・幹線バス）を活かした利便性の高い公共交通網の構築

- ・鉄道（東北本線）及び幹線バス（那須線）に接続するフィーダー交通（町民バス及びデマンド型乗合交通など）の利便性向上を図るとともに、交通結節点（乗り継ぎ拠点）における乗り継ぎ利便性向上に向けた取り組みを実施します。

②通院・買物・通学に利用できる持続可能な公共交通網の構築

- ・自動車を利用できない人の日常生活に利用できる公共交通を確保・維持します。
- ・持続性の確保に向け「公共交通活性化の担い手づくり」にも取り組みます。

③町民及び来訪者の交流促進に資する公共交通網の構築

- ・運行事業者や観光協会等と連携し、観光交流促進に向けた取り組みを実施します。
- ・町内における交流施設整備を踏まえ、アクセス手段を整備します。

■ 目標と事業

計画目標		数値目標	事業
目標1：「くらしの足」として利用できる有機的な公共交通網の構築			
1-1	町内フィーダー交通*の利便性向上	町内フィーダー交通の利用者数	町民バス及びデマンド型乗合交通の改善
1-2	デマンド型乗合交通の相乗り利用の促進	車両1台当り利用者数	相乗り利用促進に向けた運賃制度の導入
目標2：町民だけでなく観光客も利用できる「おでかけの足（交流の足）」の確保			
2-1	交流促進に向けた公共交通ネットワーク機能の向上	交流促進に向けた新設・見直し路線数	「おでかけの足」となる路線の新設・既存路線の見直し
2-2	乗り継ぎ抵抗軽減による公共交通の利便性向上	乗り継ぎ抵抗軽減に向けた取組の実施	民間路線バス・那須町デマンド型乗合交通の乗り継ぎ割引券発行
目標3：利用の「きっかけづくり」による公共交通利用者数の増加			
3-1	情報提供による公共交通利用しやすさの向上	公共交通おでかけマップの作成・情報提供	公共交通マップの作成と定期的な発行
3-2	公共交通利用啓発に向けた企画の実施	きっかけづくりの取り組みの実施回数	きっかけづくりイベントの実施
3-3	公共交通活性化に向けた担い手づくり	住民協働スキームの構築	住民協働スキームの構築

*フィーダー交通：公共交通網において、幹線と接続して支線の役割をもって運行される交通

町民バス及びデマンド型乗合交通の改善事業により町内の公共交通体系を再構築し、目標値は達成できなかったものの、利用者数を増加させることができました。また、おでかけマップの発行や「きっかけづくり」のイベント開催を通じて、公共交通の認知度向上を図ることができました。一方で「デマンド交通の相乗り利用促進」及び「乗り継ぎ割引の発行」については予算確保上等の問題で事業自体の実施にいたっておらず、「住民協働スキームの構築」については勉強会により一歩を踏み出すことができたものの、具体的な取り組み実施には至りませんでした。前計画の検証結果は下表のとおりです。

事業	実施	目標			地域公共交通網形成計画の 目標達成状況の評価		
		指標	現状	目標値 (H33)			
目標1 関連施策	【1-1】 町民バス及び デマンド型乗 合交通の改善	△	町内フィー ダー交通の 利用者数	16,892 人 (H27) 町民バス： 10,918 人 デマンド： 5,974 人	22,600 人 町民バス： 14,600 人 デマンド： 8,000 人	△	17,217 人 (R02) 「伊王野行き」等を実 施できず、目標値には 至らなかったが、デマ ンドは H30 年度に 8,150 人を達成し た。
	【1-2】 相乗り利用促 進に向けた運 賃制度の導入	×	車両 1 台当 りの利用者 数	1.76 人/台 (H26.10.1～ H27.9.30)	2.00 人/台	×	1.67 人/台 (R03) ワゴン車両を導入でき ず、目標値を達成する ことができなかった。
目標2 関連施策	【2-1】 おでかけの 足」となる路 線の新設・既 存路線の見直 し	○	交流促進に 向けた新 設・見直し 路線数	未実施 (H28)	実施	○	いずれも季節運行であ るが、観光協会が H30 から H31 にか けて「道の駅シャトル バス」及び「日光・那 須満喫ライナー」を運 行した。
	【2-2】 民間路線バ ス・那須町デ マンド型乗合 交通の乗り継 ぎ割引券発行	×	乗り継ぎ抵 抗軽減に向 けた取り組 みの実施	未実施 (H28)	実施	×	実施に向けた予算確保 ができず、発行に至ら なかった。
目標3 関連施策	【3-1】 公共交通マッ プの作成と定 期的な発行	○	公共交通お でかけマッ プの作成・ 情報提供	未実施 (H28)	実施	○	住民とのワークショッ プにてマップを検討 し、H30 に作成・配 布した。
	【3-2】 きっかけづ くりイベントの 実施	○	きっかけづ くりの取り 組み実施回 数	0 回 (H28)	通算 8 回以 上 (年 2 回 以上)	○	9 回 デマンド乗車体験(3 回)、出前講座(2 回)、 バス乗り方教室(4 回) を実施した。
	【3-3】 住民協働スキ ームの構築	○	住民協働ス キームの構 築	未実施 (H28)	実施	△	勉強会を計 6 回開催し たが取り組み実施には 至っていない。